
京田辺市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
(小学生の保護者)
報告書

令和6（2024）年8月

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の実施について.....	1
3. 調査票の回収状況.....	1
4. 留意点.....	1
II 調査結果	2
1. お子さんとご家族について.....	2
2. ご家族の生活状況について.....	6
3. お子さんの育ちをめぐる状況について.....	8
4. お子さんの保護者の就労状況について.....	17
5. 留守家庭児童会の利用について.....	26
6. お子さんの病気の際の対応について.....	40
7. お子さんの不定期の事業利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	44
8. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	51
9. 子育てのストレスについて.....	53
10. 子育て支援対策の全般について	57
III 調査結果からの分析	61
1. ご家族の生活状況について.....	61
2. お子さんの育ちをめぐる状況について.....	61
3. お子さんの保護者の就労状況について.....	61
4. 留守家庭児童会の利用について.....	62
5. お子さんの病気の際の対応について.....	62
6. お子さんの不定期の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について ..	62
7. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	62
8. 子育てのストレスについて.....	63
9. 子育て支援対策の全般について	63

I 調査概要

1. 調査の目的

「(仮称) 京田辺市こども計画」の策定に向け、京田辺市の実態を把握し、新たな計画期間の「量の見込み」や「確保方策」などを設定する必要があるため、「子ども・子育て支援に関するアンケート調査（小学生の保護者）」を実施しました。

2. 調査の実施について

調査対象者	小学生の保護者（無作為抽出）
調査期間	令和6（2024）年2月22日（木）～令和6（2024）年3月7日（木）
調査方法	郵送による配布、郵送・Webによる回答

3. 調査票の回収状況

調査票	調査対象者数（配布数）	有効回収数	有効回収率
小学生の保護者	1,500世帯	735件	49.0%

4. 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下のとおりとなっています。

- ① 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- ② 単数回答の場合、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- ③ 複数回答の場合、図中にMA（Multiple Answer=いくつでも）、3LA（3 Limited Answer=3つまで）と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
- ④ 表内において、全体・属性ごとに最も高い項目を紺色、2番目に高い項目を水色としています。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号をつけています。

II 調査結果

1. お子さんとご家族について

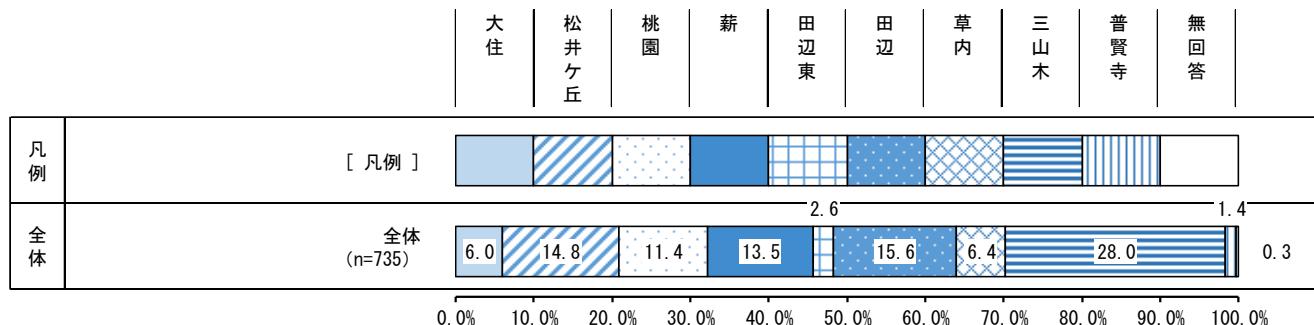
(1) 小学校区

問1 宛名のお子さんのお住まいの小学校区はどこですか。

【全体】

- 小学校区について、「三山木」が 28.0%で最も多く、次いで「田辺」が 15.6%、「松井ヶ丘」が 14.8%となっています。

【小学校区】

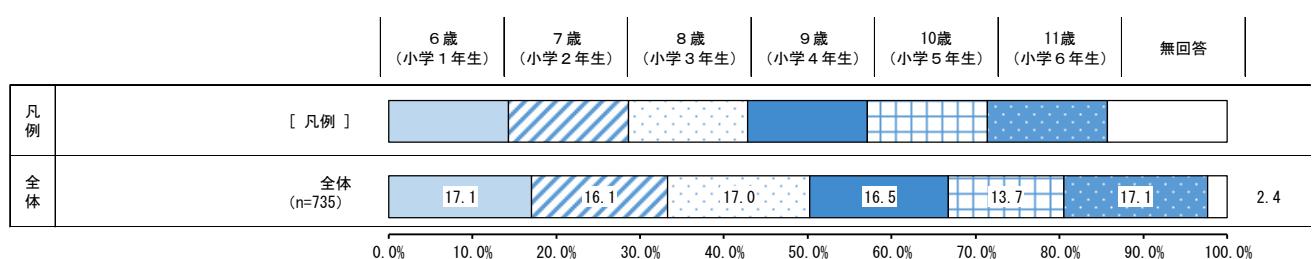


問2 宛名のお子さんの生年月をお答えください。

【全体】

- お子さんの年齢について、「6歳（小学1年生）」「11歳（小学6年生）」が 17.1%で最も多く、次いで「8歳（小学3年生）」が 17.0%、「9歳（小学4年生）」が 16.5%となっています。

【お子さんの年齢】

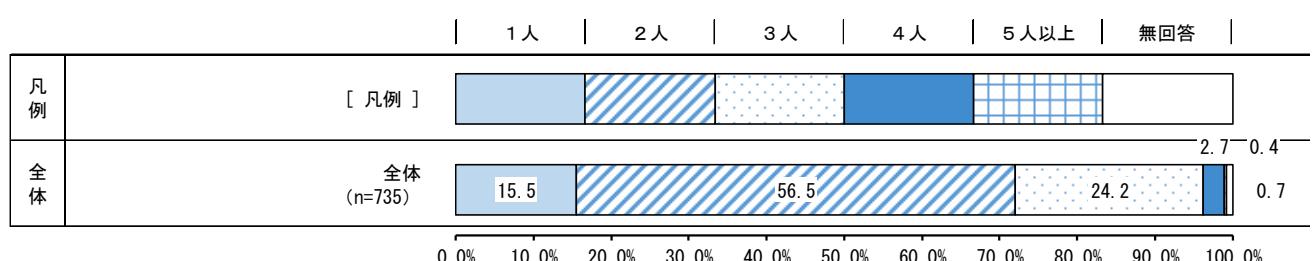


問3-1 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人ですか。

【全体】

- きょうだいの人数について、「2人」が 56.5%で最も多く、次いで「3人」が 24.2%、「1人」が 15.5%となっています。

【きょうだいの人数】

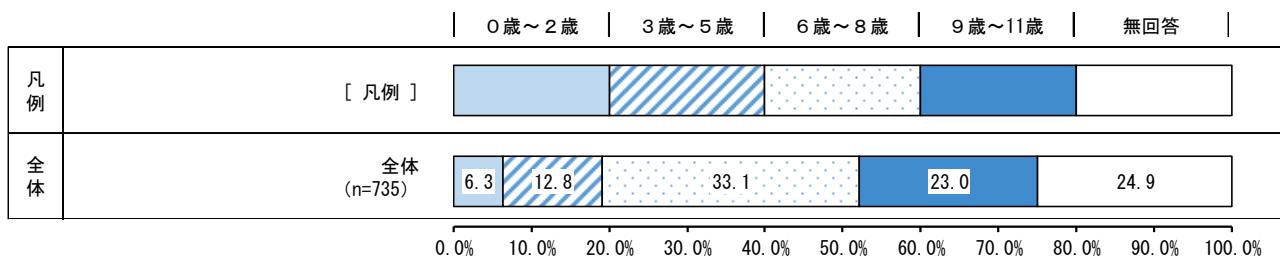


問3-2 2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をお答えください。

【全体】

- 末子の年齢について、「6歳～8歳」が33.1%で最も多く、次いで「9歳～11歳」が23.0%、「3歳～5歳」が12.8%となっています。

【末子の年齢】

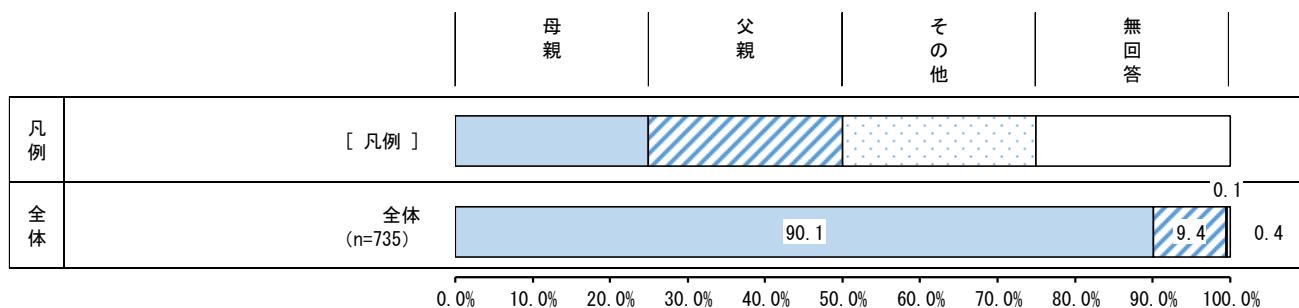


問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。

【全体】

- 回答者について、「母親」が90.1%で最も多く、次いで「父親」が9.4%、「その他」が0.1%となっています。

【回答者】

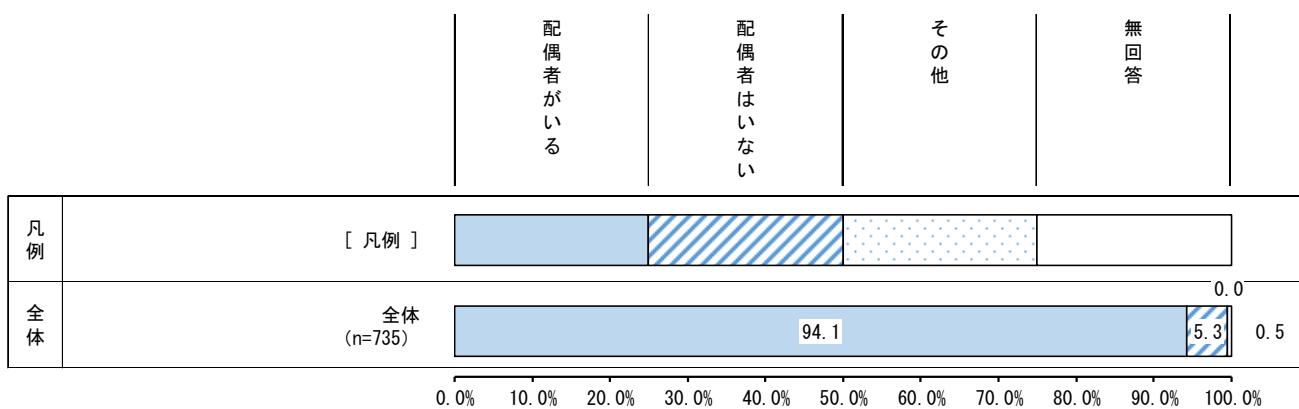


問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

【全体】

- 配偶関係について、「配偶者がいる」が94.1%で最も多く、次いで「配偶者はいない」が5.3%となっています。

【配偶関係】

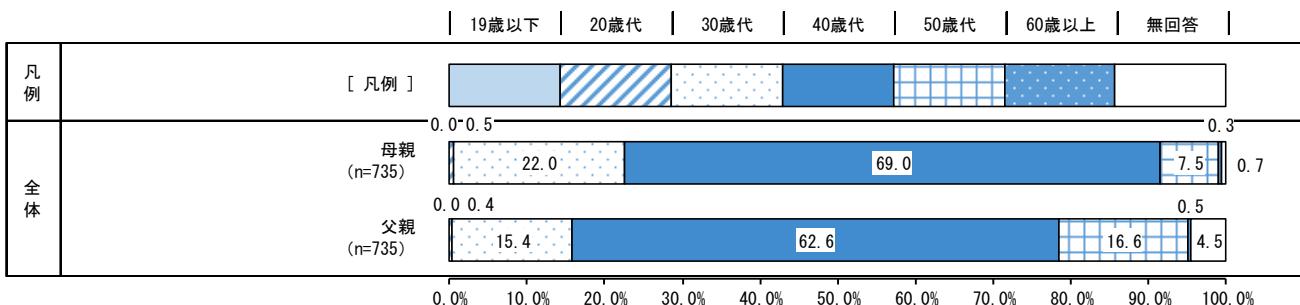


問6 該当する年齢階層についてお答えください。

【全体】

- 年齢階層について、母親、父親ともに「40歳代」が最も多くなっています。次いで、母親は「30歳代」が22.0%、「50歳代」が7.5%となっているのに対し、父親は「50歳代」が16.6%、「30歳代」が15.4%となっています。

【年齢階層】

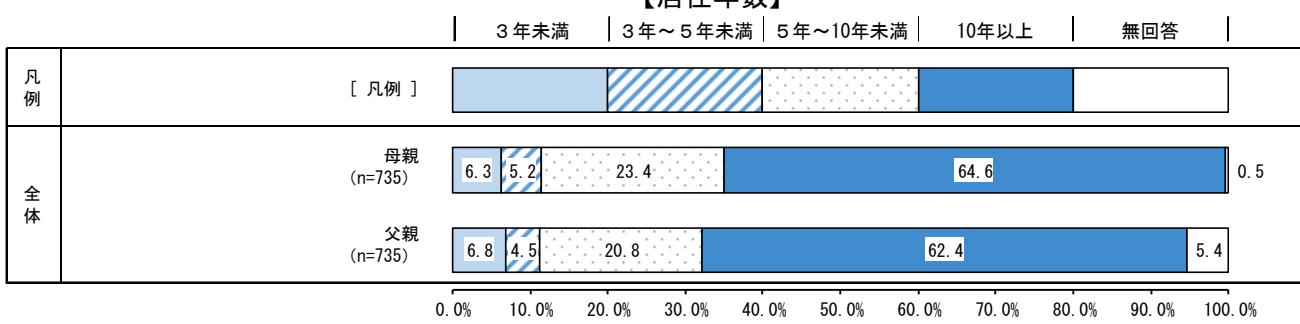


問7 本市での居住年数をお答えください。

【全体】

- 居住年数について、母親、父親ともに「10年以上」が最も多く、次いで「5年～10年未満」、「3年未満」となっています。

【居住年数】

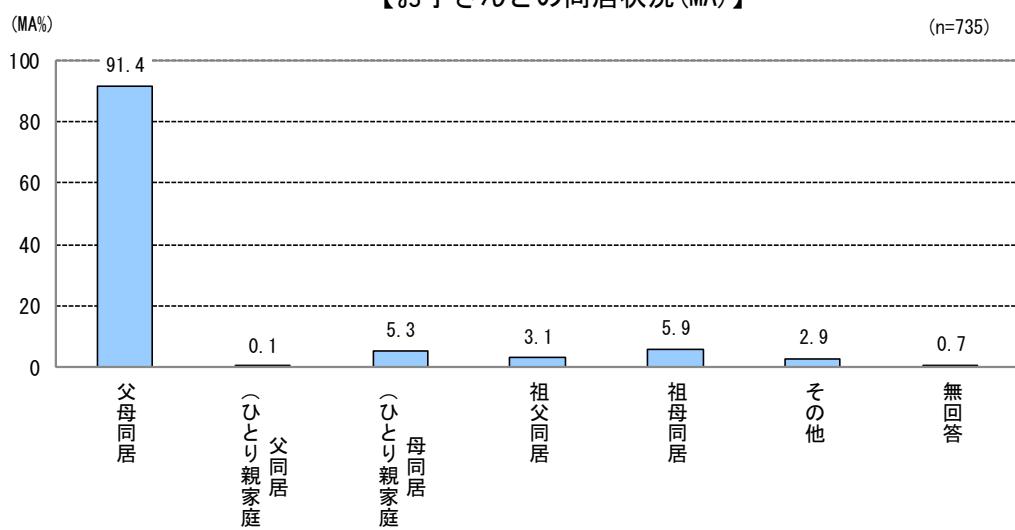


問8 お子さんとの同居の状況についてお答えください。(MA)

【全体】

- お子さんとの同居状況について、「父母同居」が91.4%で最も多く、次いで「祖母同居」が5.9%、「母同居(ひとり親家庭)」が5.3%となっています。
- その他の内訳として、父別居(単身赴任)(12件)、きょうだい(3件)、父別居(その他)(1件)、伯父・伯母(1件)、曾祖母(1件)となっています。

【お子さんとの同居状況(MA)】

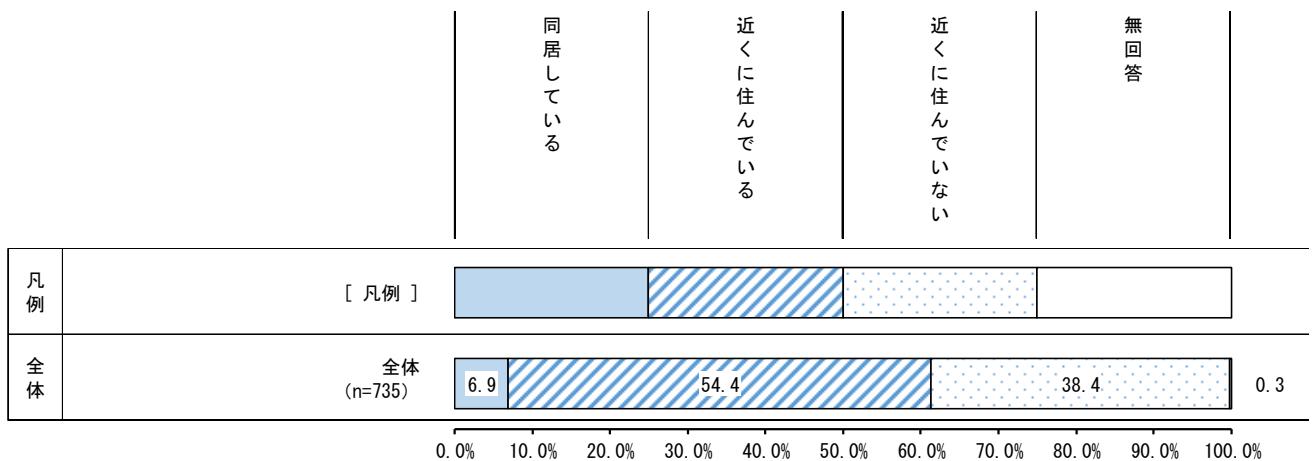


問9 お子さんの祖父母が近くにお住まいですか。

【全体】

- 祖父母の居住先について、「近くに住んでいる」が 54.4%で最も多く、次いで「近くに住んでいない」が 38.4%、「同居している」が 6.9%となっています。

【祖父母の居住先】

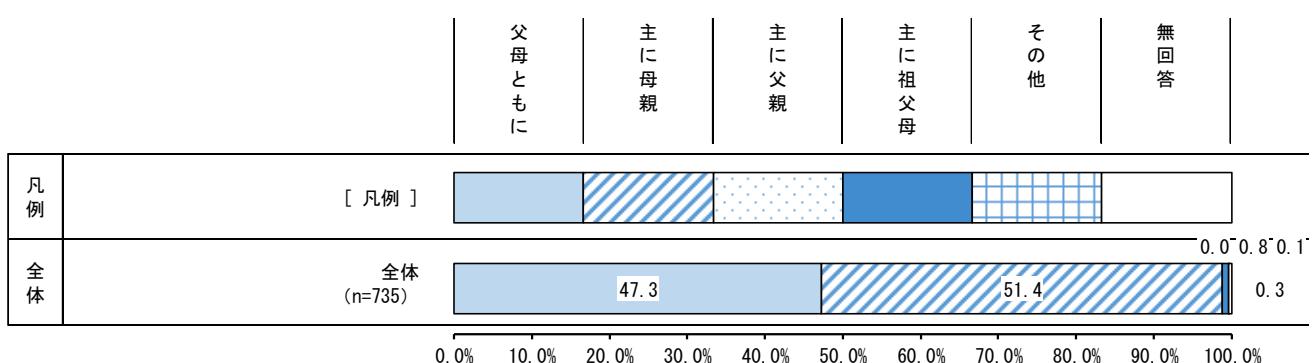


問10 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。

【全体】

- 子育てを主に行っている人について、「主に母親」が 51.4%で最も多く、次いで「父母ともに」が 47.3%、「主に祖父母」が 0.8%となっています。

【子育てを主に行っている人】



2. ご家族の生活状況について

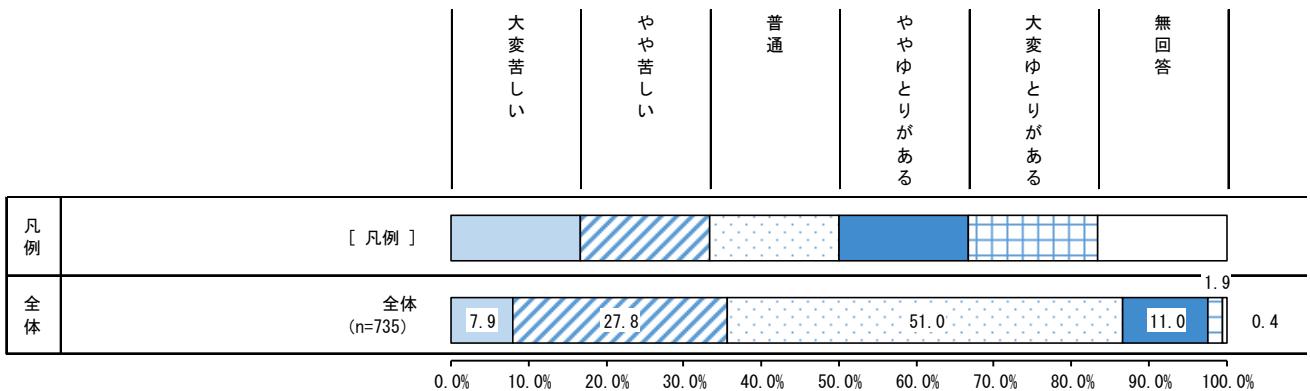
(1) 暮らしの状況についての認識

問11 あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

【全体】

- 現在の暮らしの状況で感じることについて、「普通」が 51.0%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 27.8%、「ややゆとりがある」が 11.0%となっています。
- 「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた「苦しい人」は 35.7%となっています。

【現在の暮らしの状況で感じること】

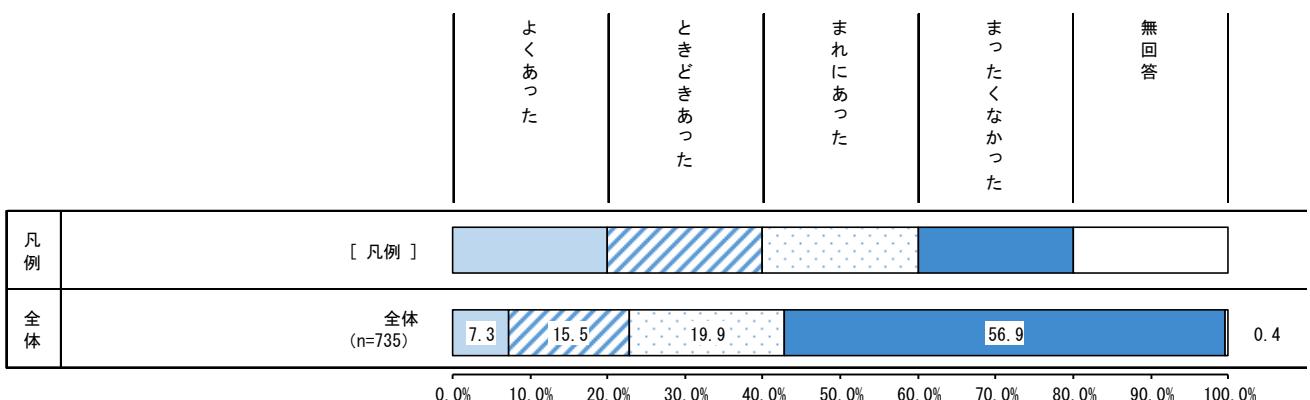


問12 あなたの世帯では、過去1年の中に、急な出費などで家計のやりくりができないことがありましたか。

【全体】

- 家計のやりくりができなかつたことについて、「まったくなかった」が 56.9%で最も多く、次いで「まれにあった」が 19.9%、「ときどきあつた」が 15.5%となっています。

【家計のやりくりができないかったこと】

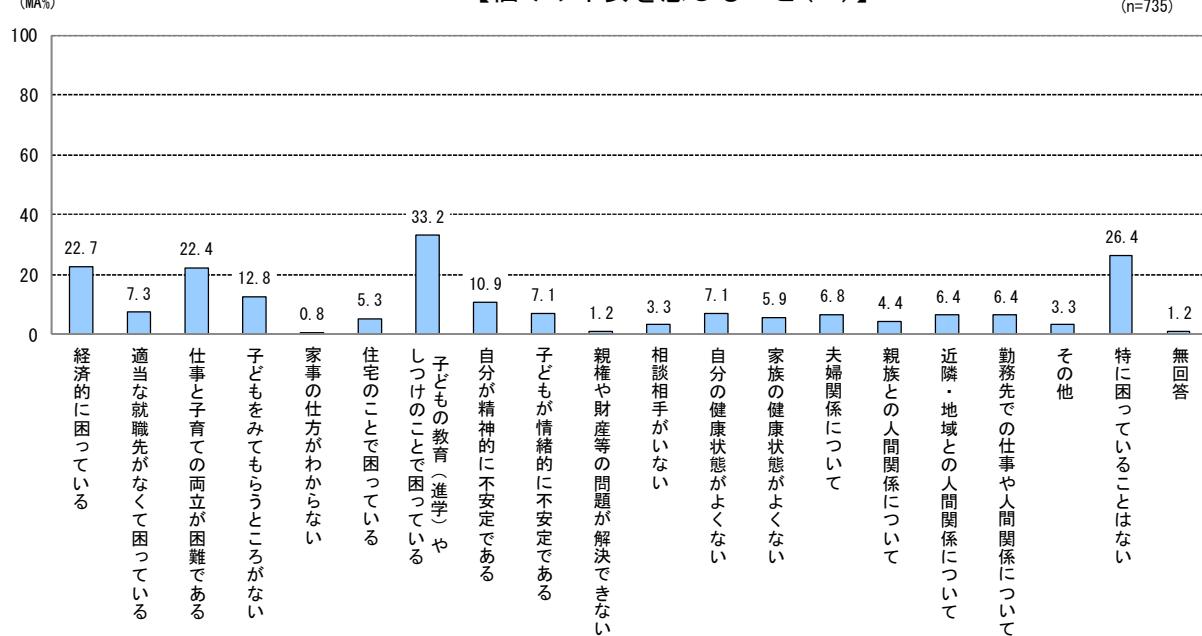


問13 あなたは、現在、どのような悩みや不安を感じていますか。(MA)

【全体】

- 悩みや不安を感じることについて、「子どもの教育（進学）やしつけのことで困っている」が 33.2%で最も多く、次いで「特に困っていることはない」が 26.4%、「経済的に困っている」が 22.7%となっています。
- その他の内訳として、子供について（7件）、将来について（3件）、家庭環境・家事（3件）、仕事（3件）、介護（2件）、学校・教育（2件）、経済（2件）、人間関係（1件）、医療（1件）となっています。

【悩みや不安を感じること(MA)】



（2）子育て支援

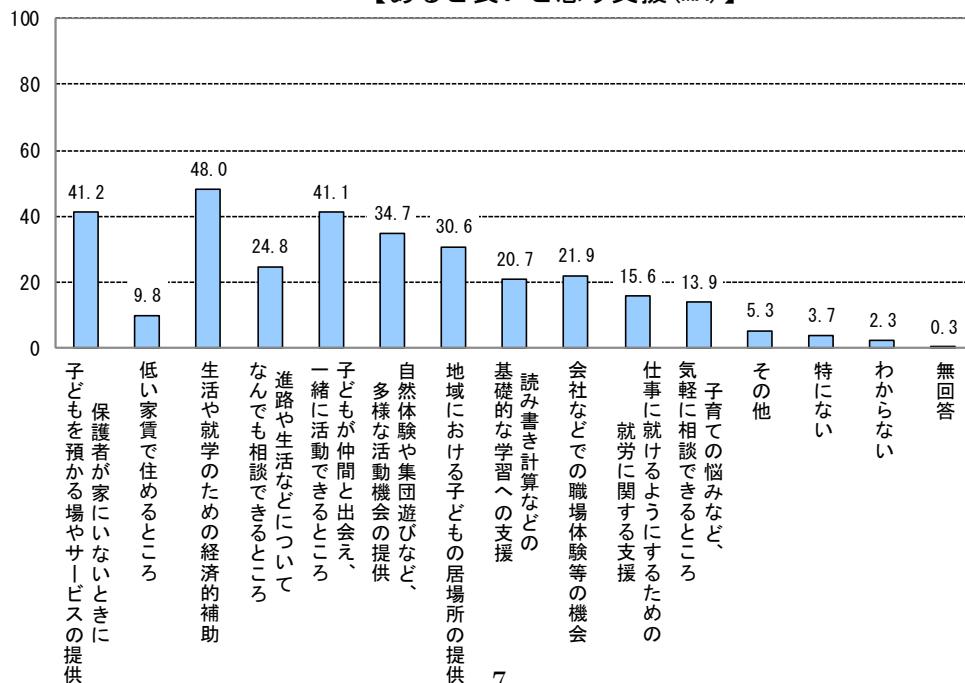
問14 子どもや保護者にとって、現在または将来的に、どのような支援があると良いと思います。

(MA)

【全体】

- あると良いと思う支援について、「生活や就学のための経済的補助」が 48.0%で最も多く、次いで「保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供」が 41.2%、「子どもが仲間と一緒に活動できるところ」が 41.1%となっています。
- その他の内訳として、学費（9件）、教育・学習（8件）、移動（7件）、経済・金銭的支援（5件）、就労（5件）、子どもの遊び場（3件）、相談先（2件）、市政（2件）となっています。また、相互理解、介護、行事や役員の廃止、地域や学校間の関わり、物的支援、テーマパークへの招待などの意見も挙がっています。

【あると良いと思う支援(MA)】



3. お子さんの育ちをめぐる状況について

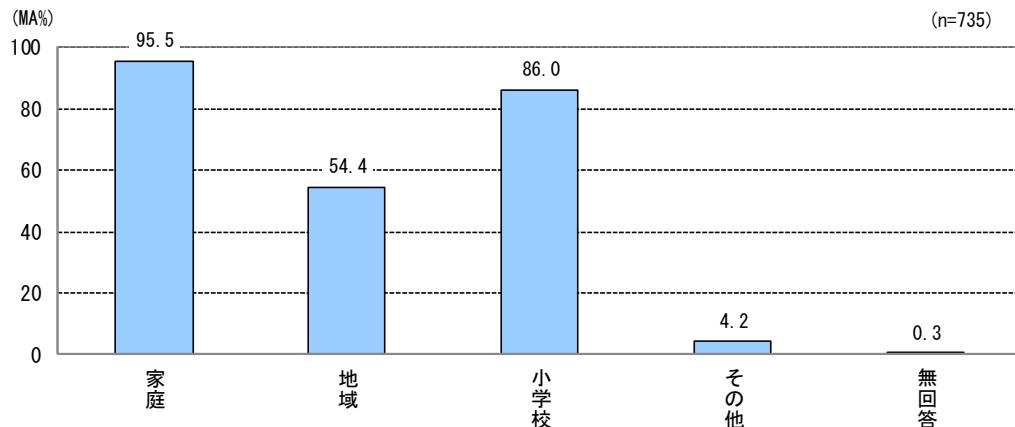
(1) 子育てに影響する環境

問15 お子さんの子育てに大きく影響すると思われる環境についてお答えください。(MA)

【全体】

- 子育てに大きく影響すると思われる環境について、「家庭」が 95.5%で最も多く、次いで「小学校」が 86.0%、「地域」が 54.4%となっています。
- その他の内訳として、習い事（13件）、友人（7件）、学校・教育（3件）、経済（2件）、学童（2件）となっています。また、地球環境、周囲の大人、家族という意見も挙がっています。

【子育てに大きく影響すると思われる環境(MA)】



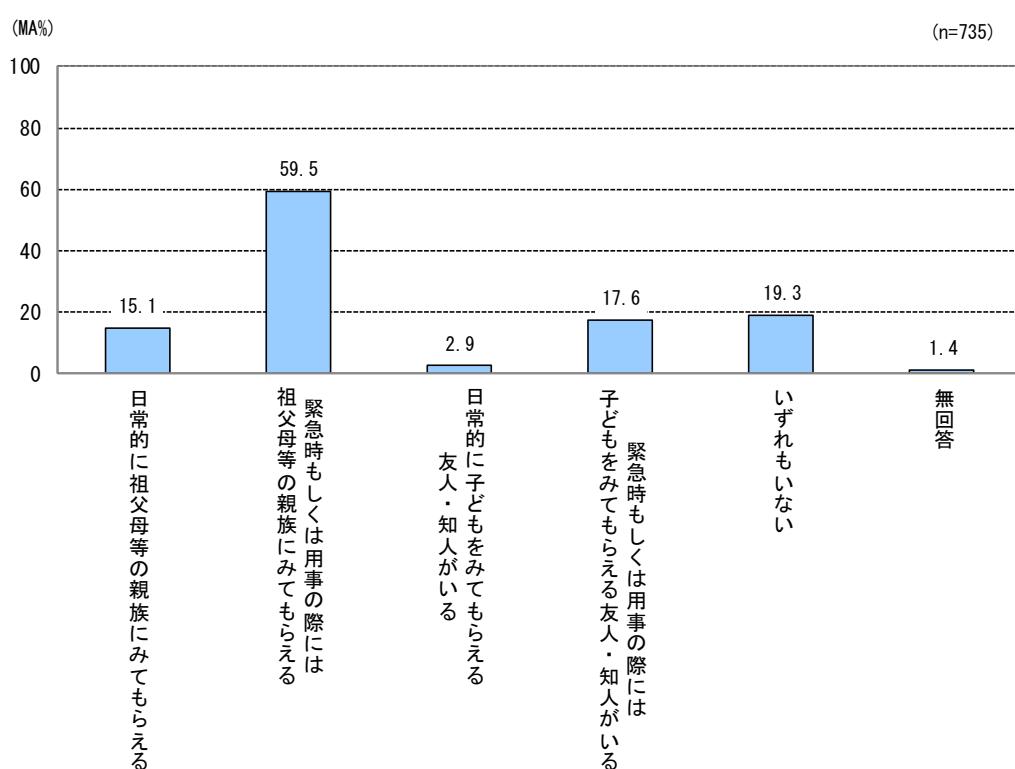
(2) お子さんをみてもらえる環境

問16 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(MA)

【全体】

- お子さんをみてもらえる親族・知人の有無について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 59.5%で最も多く、次いで「いずれもいない」が 19.3%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 17.6%となっています。

【お子さんをみてもらえる親族・知人の有無(MA)】

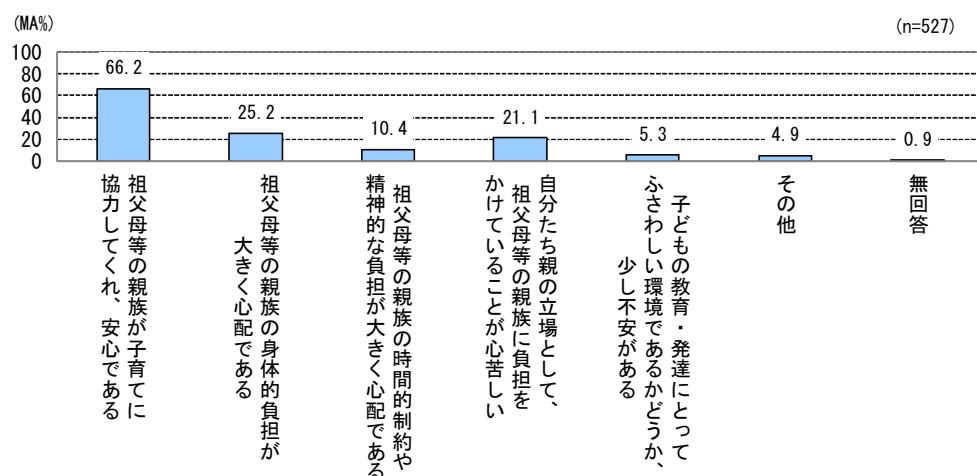


問16-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(MA)
 (問16で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」のいずれかを選んだ方)

【全体】

- 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、「祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、安心である」が 66.2% で最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が 25.2%、「自分たち親の立場として、祖父母等の親族に負担をかけていることが心苦しい」が 21.1% となっています。
- その他の内訳として、あまり頼めない・気を遣う（10 件）、利用は少ない（ない）（4 件）、送迎が不安（3 件）、高齢のため不安（2 件）、子どもと祖父母の関係（1 件）となっています。

【祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況(MA)】

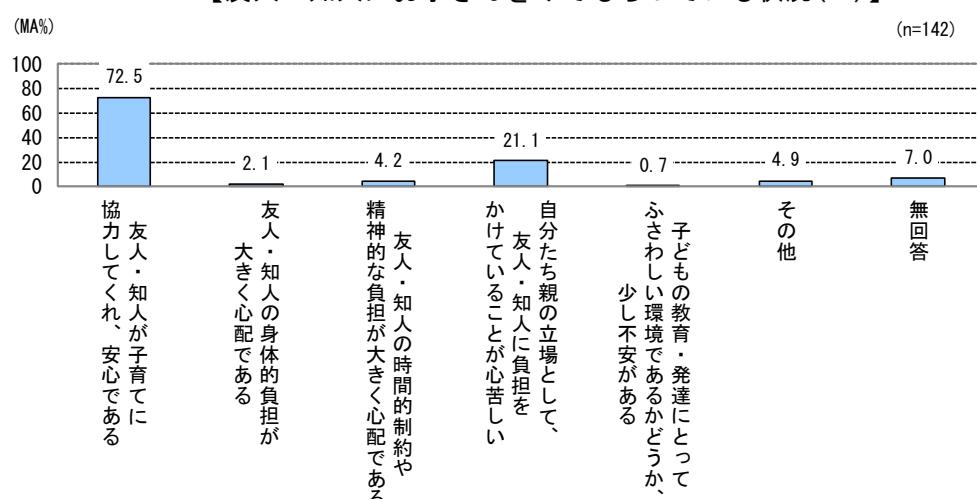


問16-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(MA) (問16で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」のいずれかを選んだ方)

【全体】

- 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、「友人・知人が子育てに協力してくれ、安心である」が 72.5% で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」が 21.1%、「その他」が 4.9% となっています。

【友人・知人にお子さんをみてもらっている状況(MA)】



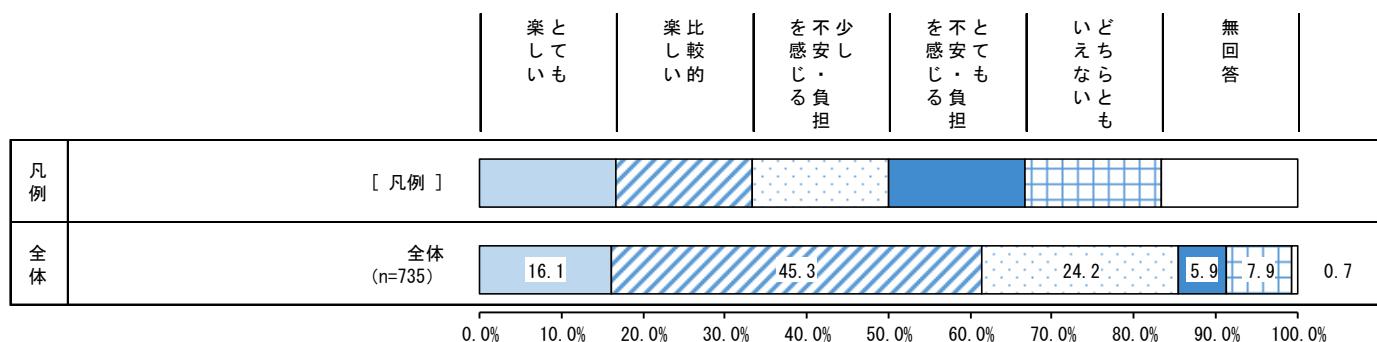
(3) 子育てへの気持ち

問17 子育てについて、今のお気持ちで一番近いものをお答えください。

【全体】

- 子育てについての今の気持ちについて、「比較的楽しい」が 45.3%で最も多く、次いで「少し不安・負担を感じる」が 24.2%、「とても楽しい」が 16.1%となっています。

【子育てについての今の気持ち】



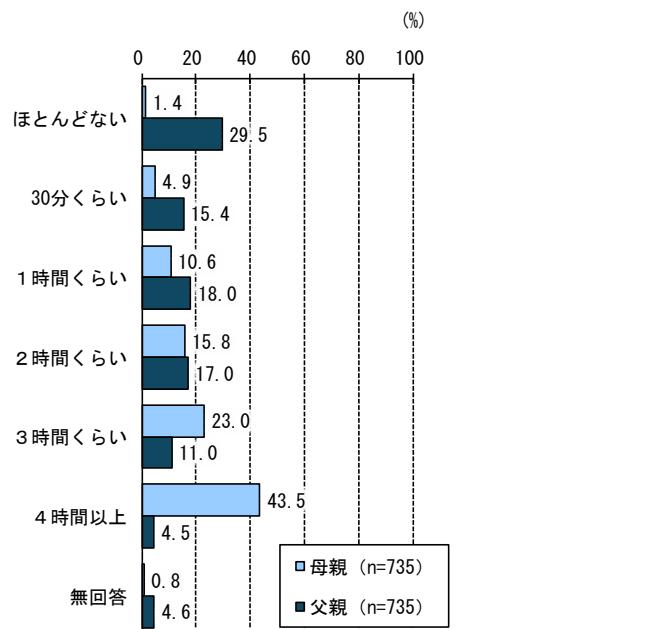
(4) お子さんと関わる時間

問18-1 宛名のお子さんと平日に関わる時間（会話、食事、一緒にテレビを見る、一緒に遊ぶ、風呂に入る、身の回りの世話、勉強を見るなど）はだいたいどのくらいありますか。

【全体】

- 母親のお子さんと平日に関わる時間について、「4時間以上」が 43.5%で最も多く、次いで「3時間くらい」が 23.0%、「2時間くらい」が 15.8%となっています。
- 父親のお子さんと平日に関わる時間について、「ほとんどない」が 29.5%で最も多く、次いで「1時間くらい」が 18.0%、「2時間くらい」が 17.0%となっています。

【お子さんと平日に関わる時間】

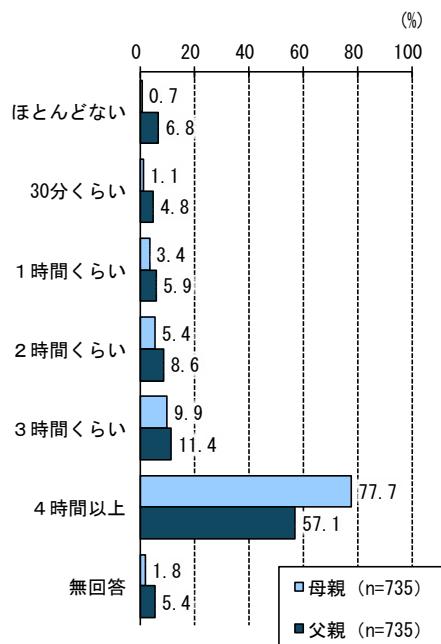


問18-2 宛名のお子さんと休日に関わる時間（会話、食事、一緒にテレビを見る、一緒に遊ぶ、風呂に入る、身の回りの世話、勉強を見るなど）はだいたいどのくらいありますか。

【全体】

- お子さんと休日に関わる時間について、母親、父親ともに「4時間以上」が最も多く、次いで「3時間くらい」、「2時間くらい」となっています。

【お子さんと休日に関わる時間】



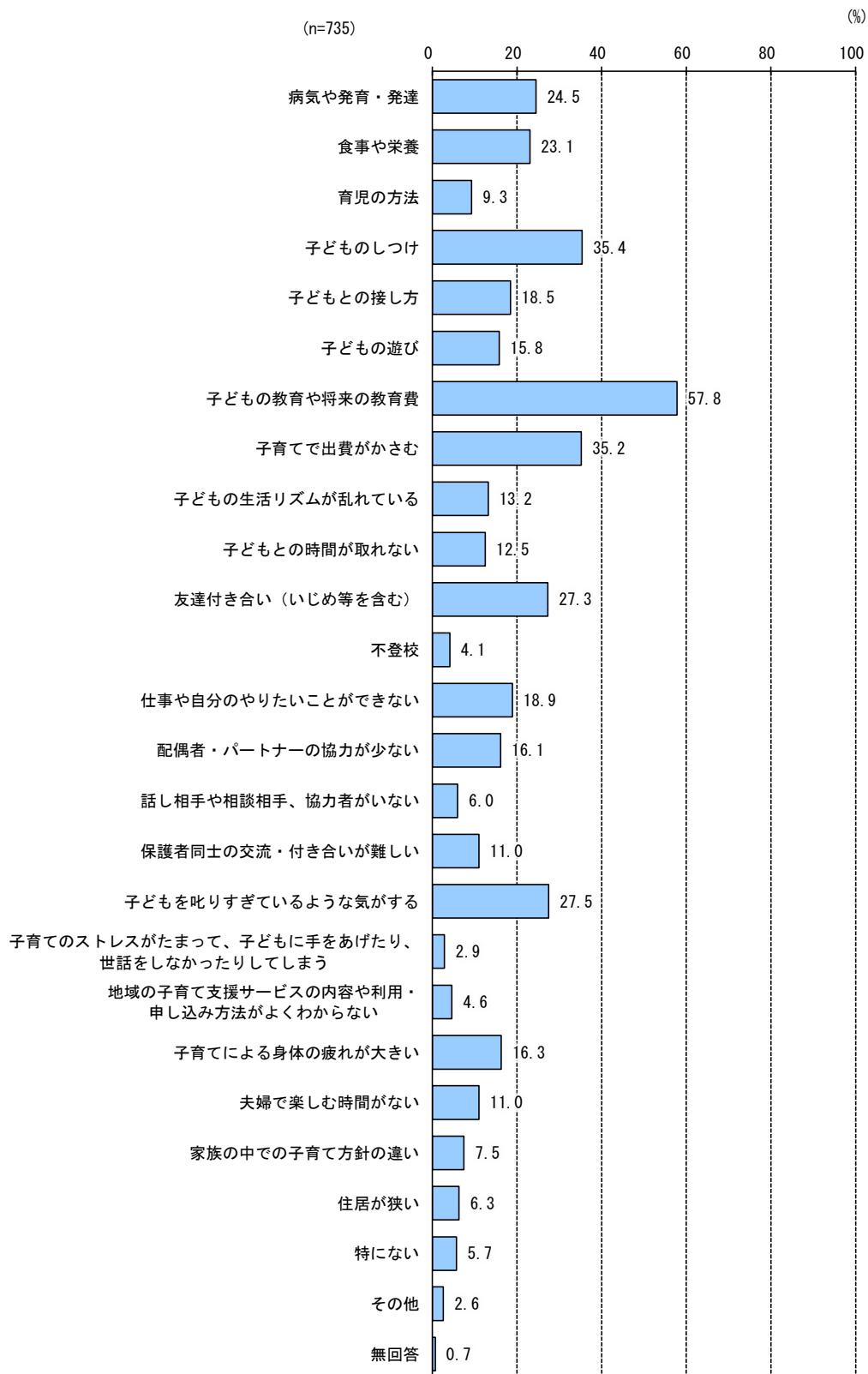
(5) 子育てへの不安

問19 お子さんを育てていて、あなたが日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。(MA)

【全体】

- 悩んでいることや不安に感じることについて、「子どもの教育や将来の教育費」が 57.8%で最も多く、次いで「子どものしつけ」が 35.4%、「子育てで出費がかさむ」が 35.2%となっています。
- その他の内訳として、自身の病気・体調（4件）、子育て（3件）、子どもとの時間（3件）、仕事・就労（2件）、教育（2件）となっています。また、子供の将来、金銭面・経済、地域格差、親の状況などの意見も挙がっています。

【悩んでいることや不安に感じること(MA)】



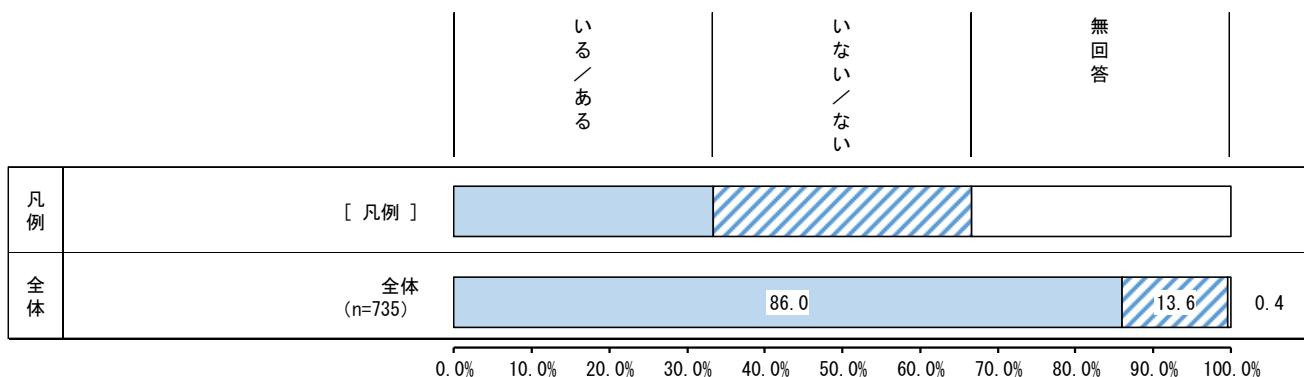
(6) 相談できる人・場所

問20 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。

【全体】

- 相談できる人や場所の有無について、「いる／ある」が 86.0%、「いない／ない」が 13.6%となっています。

【相談できる人や場所の有無】

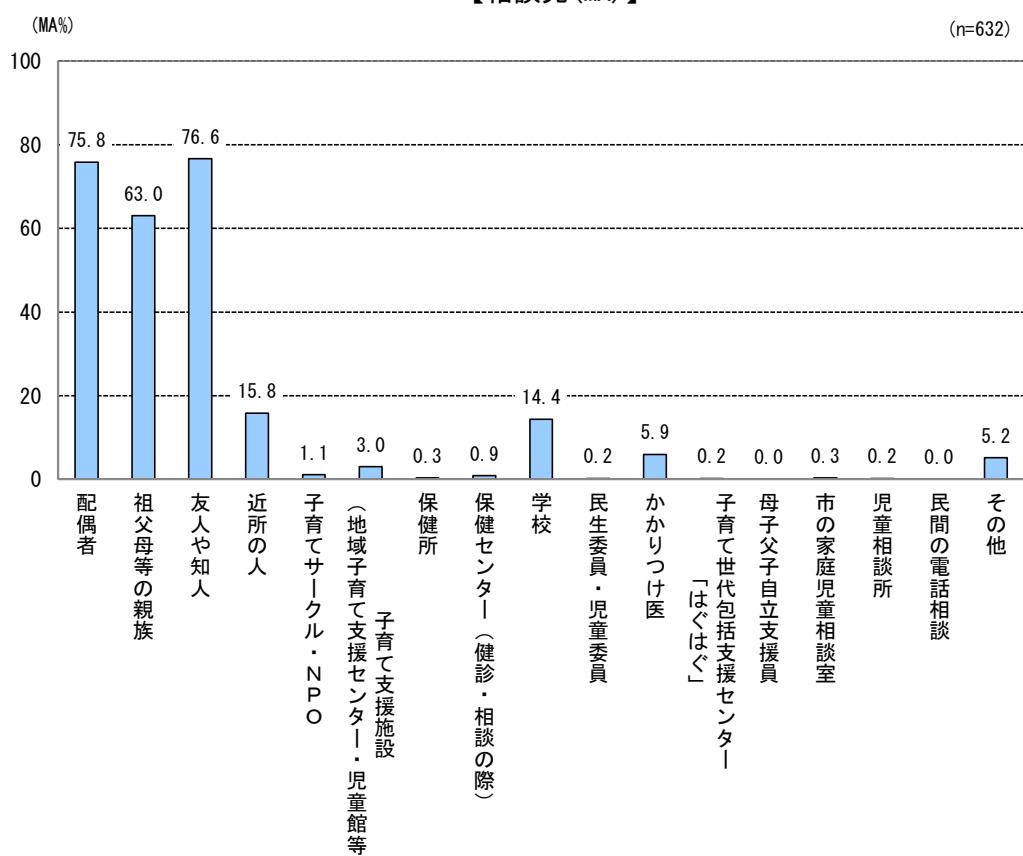


問20-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（MA）（問20で「1. いる／ある」を選んだ方）

【全体】

- 相談先について、「友人や知人」が 76.6%で最も多く、次いで「配偶者」が 75.8%、「祖父母等の親族」が 63.0%となっています。
- その他の内訳として、職場（8件）、学童・教育機関・団体（8件）、福祉事業所（3件）、専門機関（療育も含む）（3件）、家族・親族（3件）、助産師（1件）、カウンセラー（1件）となっています。

【相談先 (MA)】

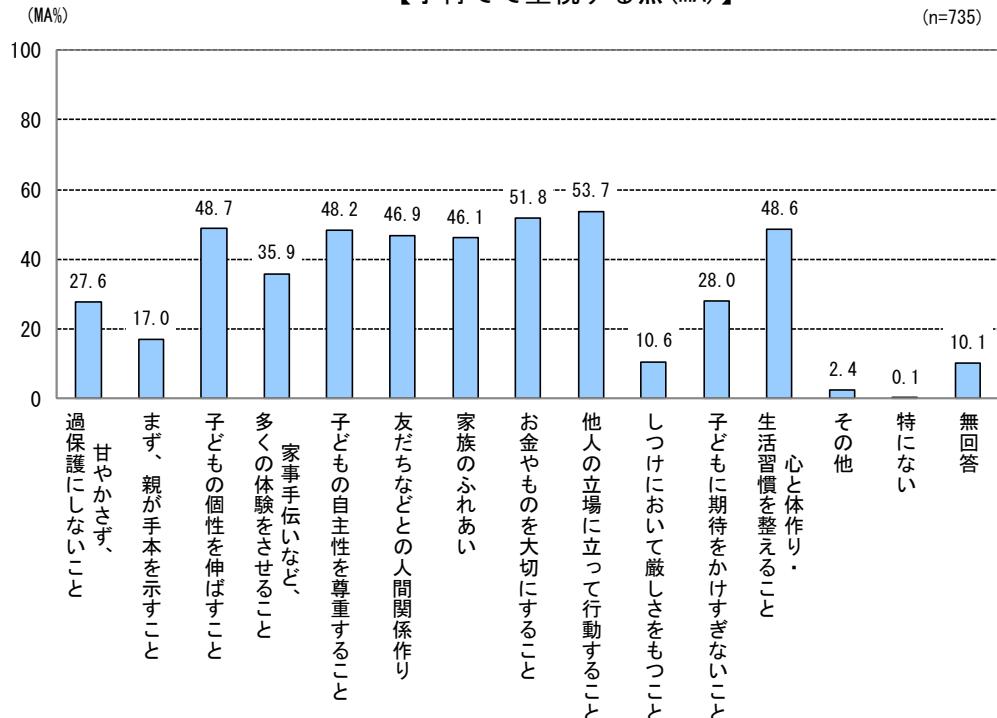


問20-2 あなたの家庭では、どのような点を重視して教育していますか。 (MA)

【全体】

- 子育てで重視する点について、「他人の立場に立って行動すること」が 53.7%で最も多く、次いで「お金やものを大切にすること」が 51.8%、「子どもの個性を伸ばすこと」が 48.7%となっています。
- その他の内訳としては、感謝の気持ち（3件）、食事（3件）、自立（2件）、経験（2件）、共感・思いやり（2件）、あいさつ（2件）、多様性（2件）、自己肯定感（2件）、意見を言う（2件）となっています。また、きょうだいの平等性、甘えられる関係、スキンシップ、継続心、デジタル機器に触れすぎない、ほめるなどの意見も挙がっています。

【子育てで重視する点(MA)】



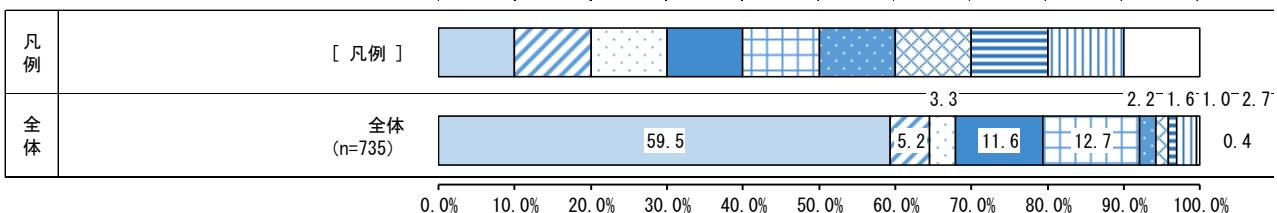
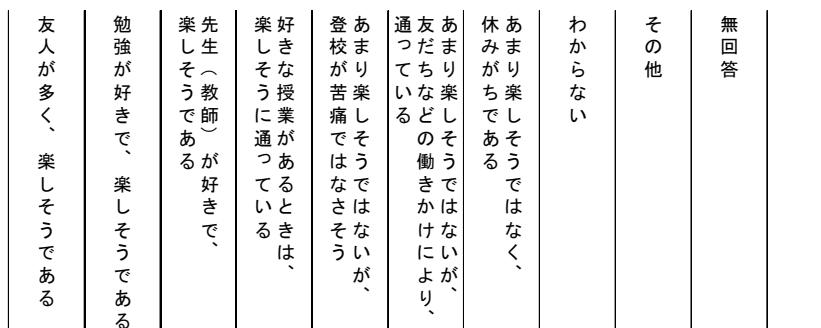
(7) 小学校に関するこ

問20-3 宛名のお子さんは、学校に行くのが楽しそうですか。

【全体】

- お子さんは学校に行くのが楽しそうかについて、「友人が多く、楽しそうである」が 59.5%で最も多く、次いで「あまり楽しそうではないが、登校が苦痛ではなさそう」が 12.7%、「好きな授業があるときは、楽しそうに通っている」が 11.6%となっています。
- その他の内訳として、楽しそう（9件）、不登校中（2件）楽しくなさそう（2件）、ときどき嫌がる（2件）、登校でぐずる（2件）となっています。また、毎日送迎している、給食を楽しみにしている、学校より寝ていたい、前まで不登校だったなどの意見も挙がっています。

【お子さんは学校に行くのが楽しそうか】

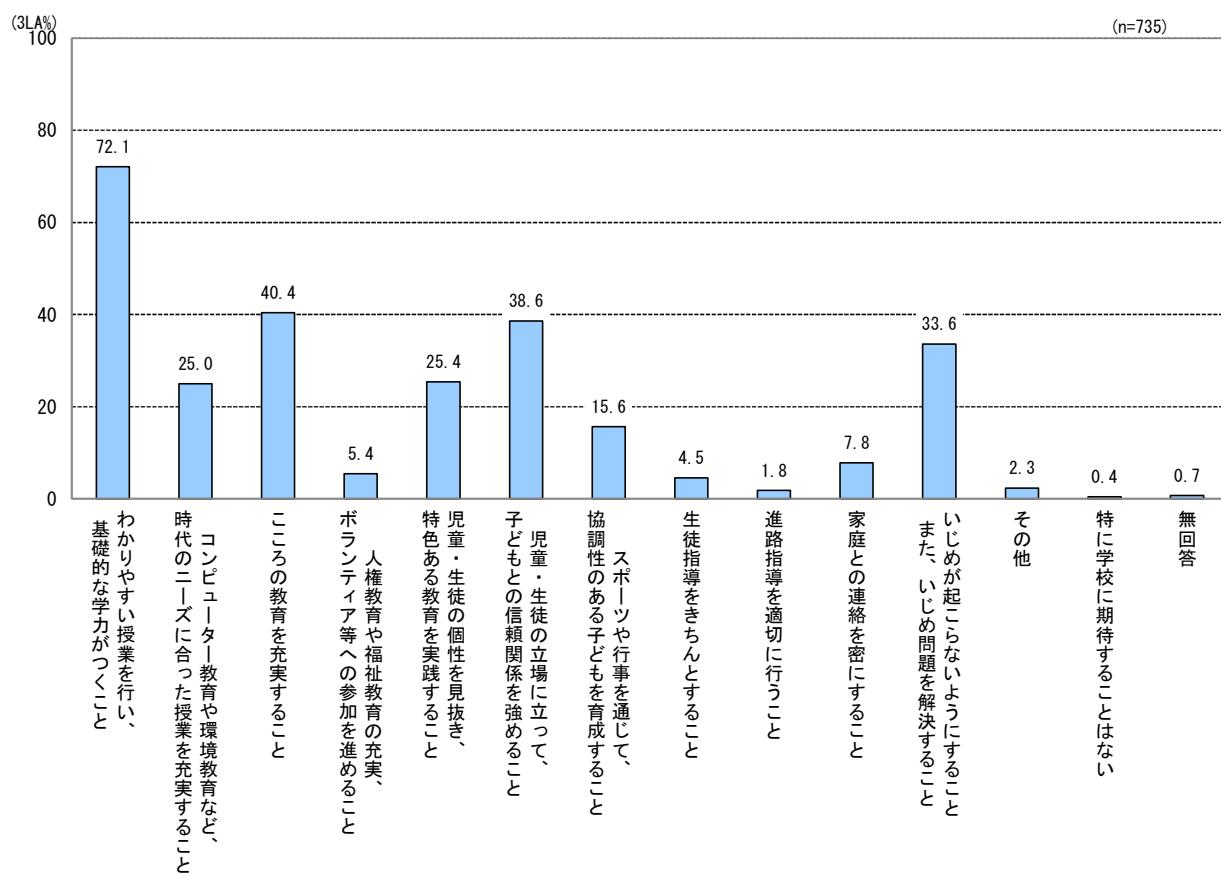


問20-4 子育てをする上で、学校に期待することはどのような点ですか。（3LA）

【全体】

- 子育てをする上で、学校に期待することについて、「わかりやすい授業を行い、基礎的な学力がつくこと」が 72.1%で最も多く、次いで「こころの教育を充実すること」が 40.4%、「児童・生徒の立場に立って、子どもとの信頼関係を強めること」が 38.6%となっています。
- その他の内訳として、授業の拡充（8件）、心身的安定（2件）、評価方法（2件）、担任の指導（2件）となっています。また、トイレの修理、授業のオンライン対応、災害訓練、ボランティアを是としないこと、周辺自治体との連携、学校よりも家庭などの意見も挙がっています。

【子育てをする上で、学校に期待すること（3LA）】



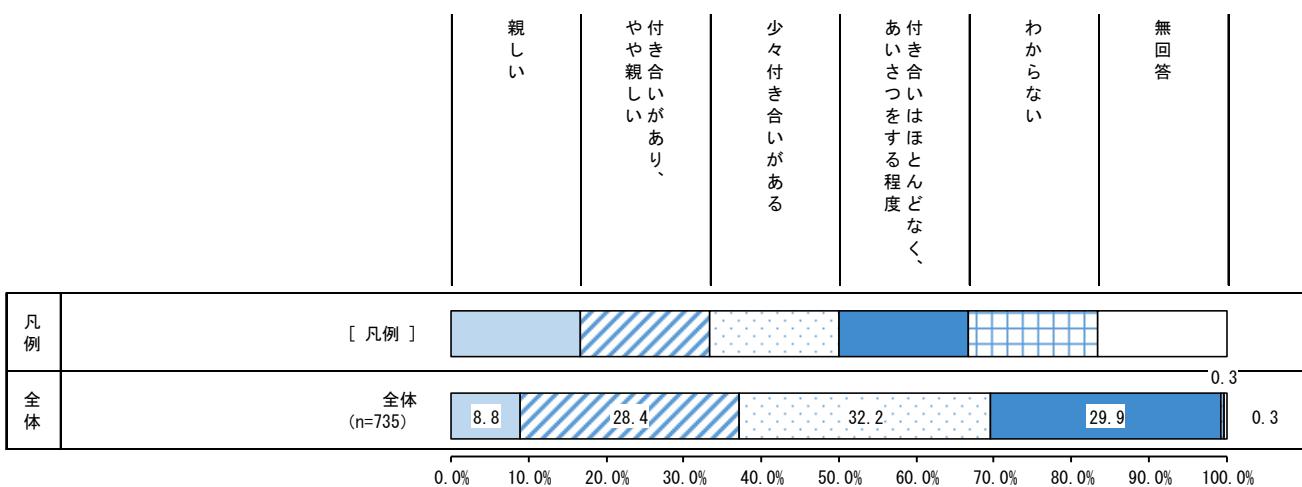
（8）地域とのつながり

問21 あなたのご家庭では、ご近所や地域の人々とのお付き合いはどうですか。

【全体】

- 近所や地域の人々との付き合いについて、「少々付き合いがある」が 32.2%で最も多く、次いで「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」が 29.9%、「付き合いがあり、やや親しい」が 28.4%となっています。

【近所や地域の人々との付き合い】

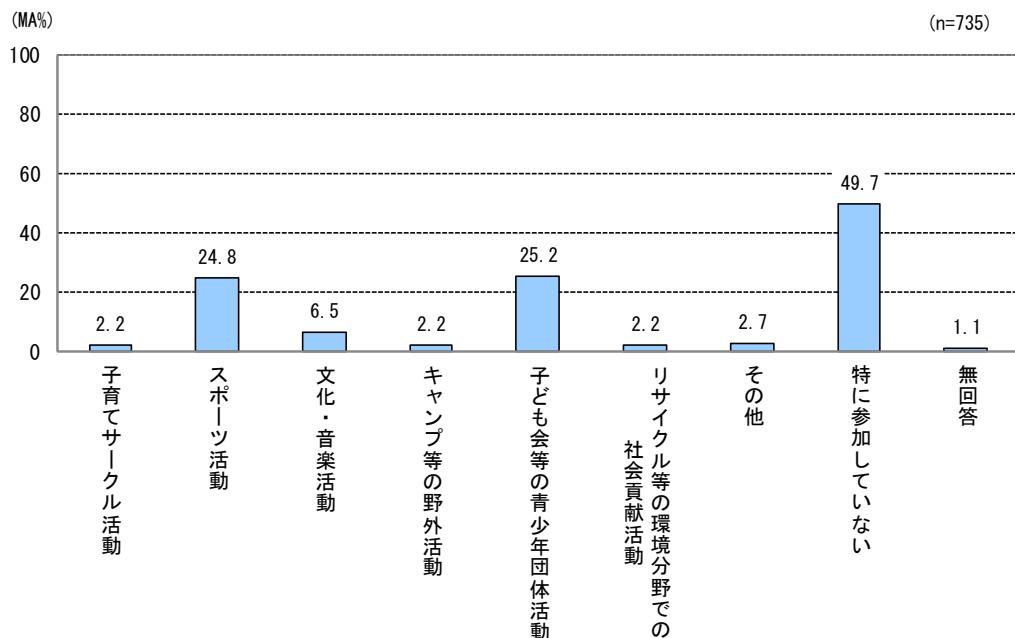


問22 お子さんは次の地域での催しに参加していますか。(MA)

【全体】

- お子さんの地域での催しへ参加について、「特に参加していない」が 49.7%で最も多く、次いで「子ども会等の青少年団体活動」が 25.2%、「スポーツ活動」が 24.8%となっています。
- その他の内訳として、行事・イベント(10件)、祭り(5件)、子ども会(3件)、地域清掃(2件)、市民教室(1件)、運動会(1件)となっています。

【お子さんの地域の催しへの参加(MA)】



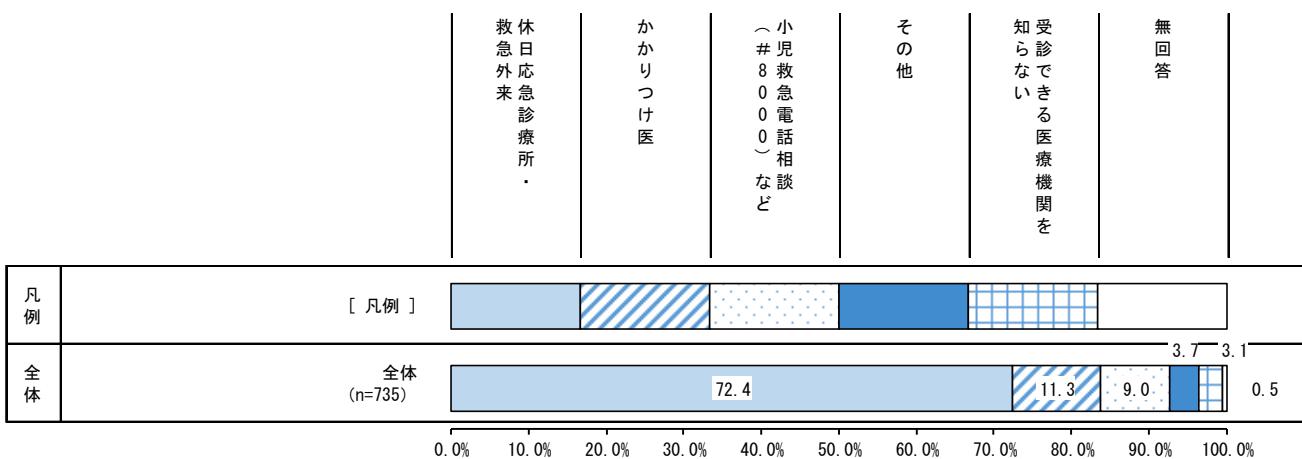
(9) 急な発病時の対応

問23 お子さんの休日や夜間の急な発病時には、どのように対応していますか。

【全体】

- 休日や夜間の急な発病時の対応について、「休日応急診療所・救急外来」が 72.4%で最も多く、次いで「かかりつけ医」が 11.3%、「小児救急電話相談（#8000）など」が 9.0%となっています。
- その他の内訳として、経験がない(11件)、自宅療養・様子を見る(6件)、かかりつけ医(5件)などとなっています。

【休日や夜間の急な発病時の対応】



4. お子さんの保護者の就労状況について

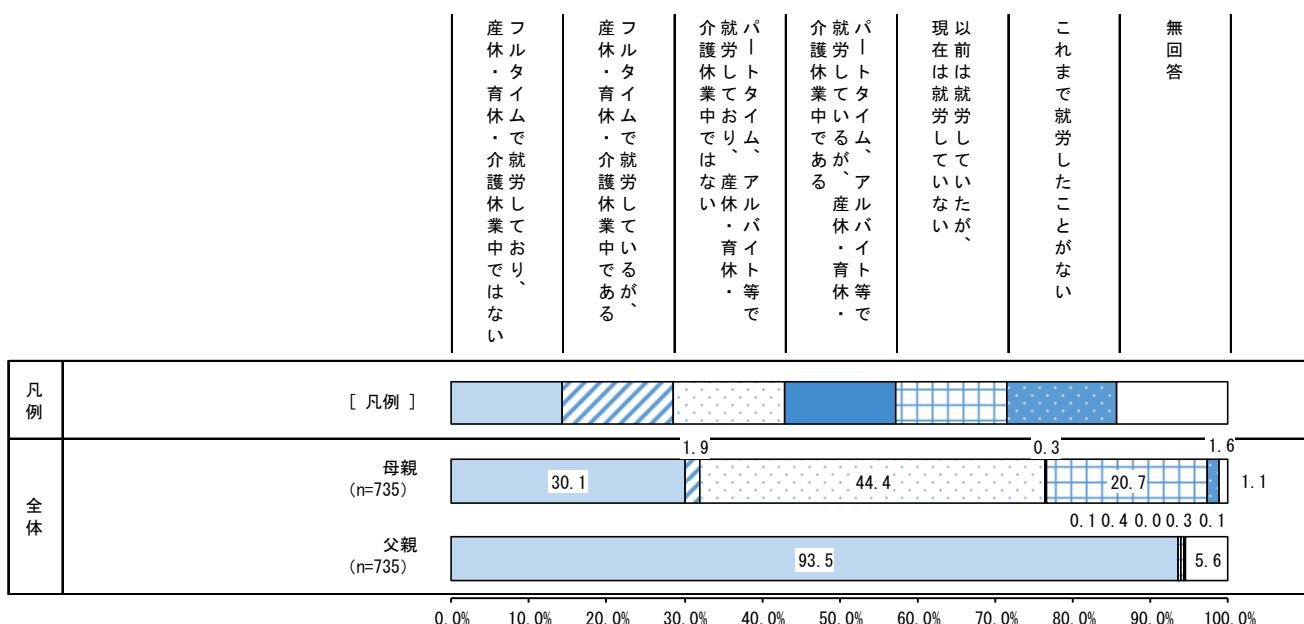
(1) 保護者の就労状況

問24 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

【全体】

- 母親の現在の就労状況について、「パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が44.4%で最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が30.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が20.7%となっています。
- 父親の現在の就労状況について、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が93.5%で最も多く、次いで「パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が0.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.3%となっています。

【現在の就労状況】

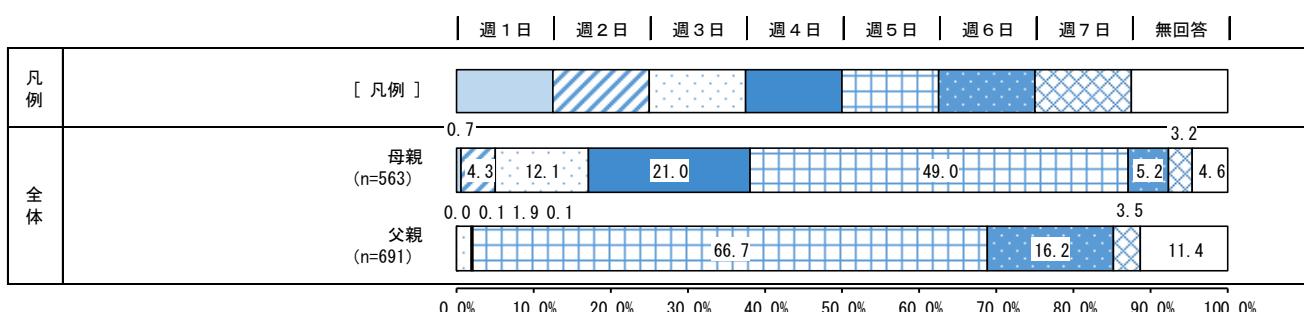


問24-1a 1週あたりの就労日数をお答えください。（問30で「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」から「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかを選んだ方）

【全体】

- 母親の就労日数について、「週5日」が49.0%で最も多く、次いで「週4日」が21.0%、「週3日」が12.1%となっています。
- 父親の就労日数について、「週5日」が66.7%で最も多く、次いで「週6日」が16.2%、「週7日」が3.5%となっています。

【就労日数】

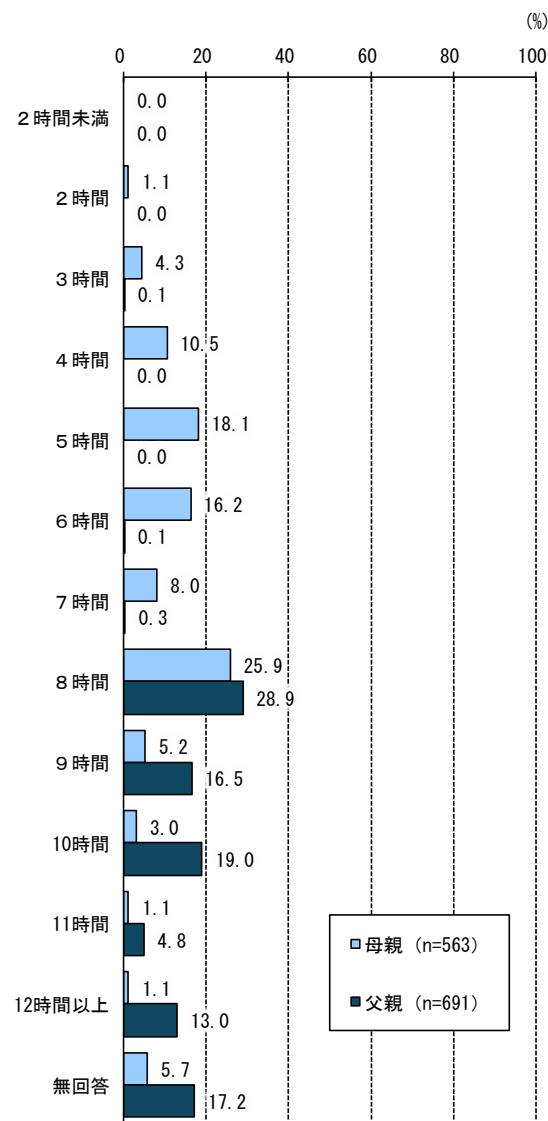


問24-1 b 1日あたりの就労時間（残業時間を含む）をお答えください。（問30で「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」から「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかを選んだ方）

【全体】

- 就労時間について、母親、父親ともに「8時間」が最も多くなっています。次いで、母親は「5時間」が18.1%、「6時間」が16.2%となっているのに対し、父親は「10時間」が19.0%、「9時間」が16.5%となっています。

【就労時間】

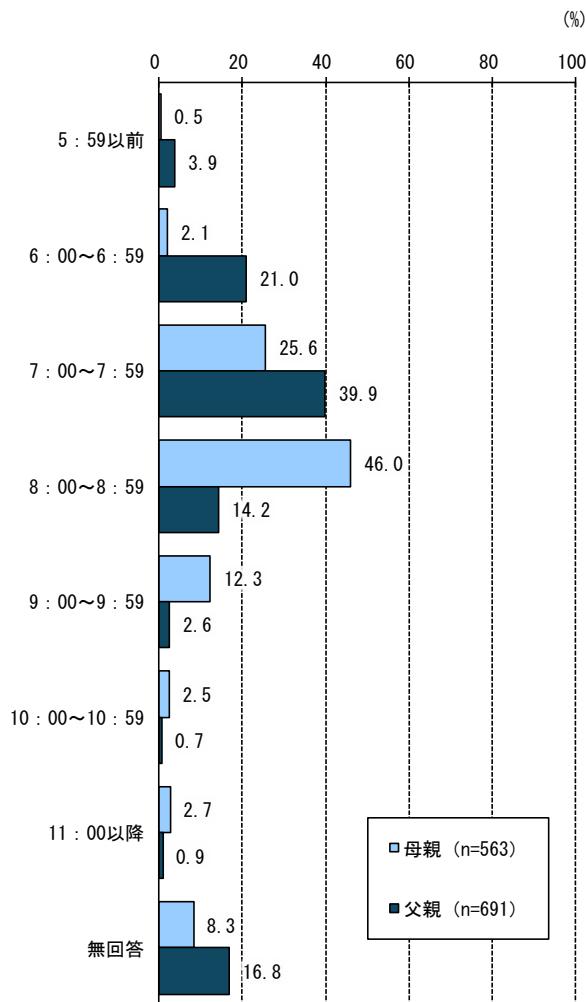


問24-1c 家を出る時刻をお答えください。（問30で「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」から「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかを選んだ方）

【全体】

- 母親の家を出る時刻について、「8：00～8：59」が 46.0%で最も多く、次いで「7：00～7：59」が 25.6%、「9：00～9：59」が 12.3%となっています。
- 父親の家を出る時刻について、「7：00～7：59」が 39.9%で最も多く、次いで「6：00～6：59」が 21.0%、「8：00～8：59」が 14.2%となっています。

【家を出る時刻】

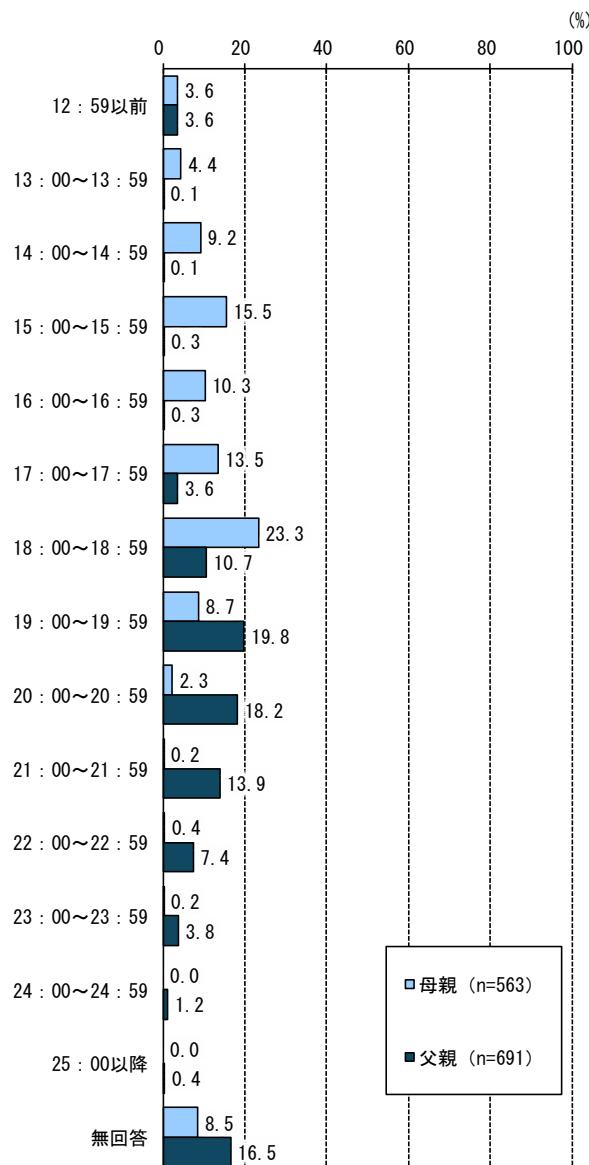


問24-1d 帰宅時刻をお答えください。(問30で「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」から「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかを選んだ方)

【全体】

- 母親の帰宅時刻について、「18：00～18：59」が 23.3%で最も多く、次いで「15：00～15：59」が 15.5%、「17：00～17：59」が 13.5%となっています。
- 父親の帰宅時刻について、「19：00～19：59」が 19.8%で最も多く、次いで「20：00～20：59」が 18.2%、「21：00～21：59」が 13.9%となっています。

【帰宅時刻】

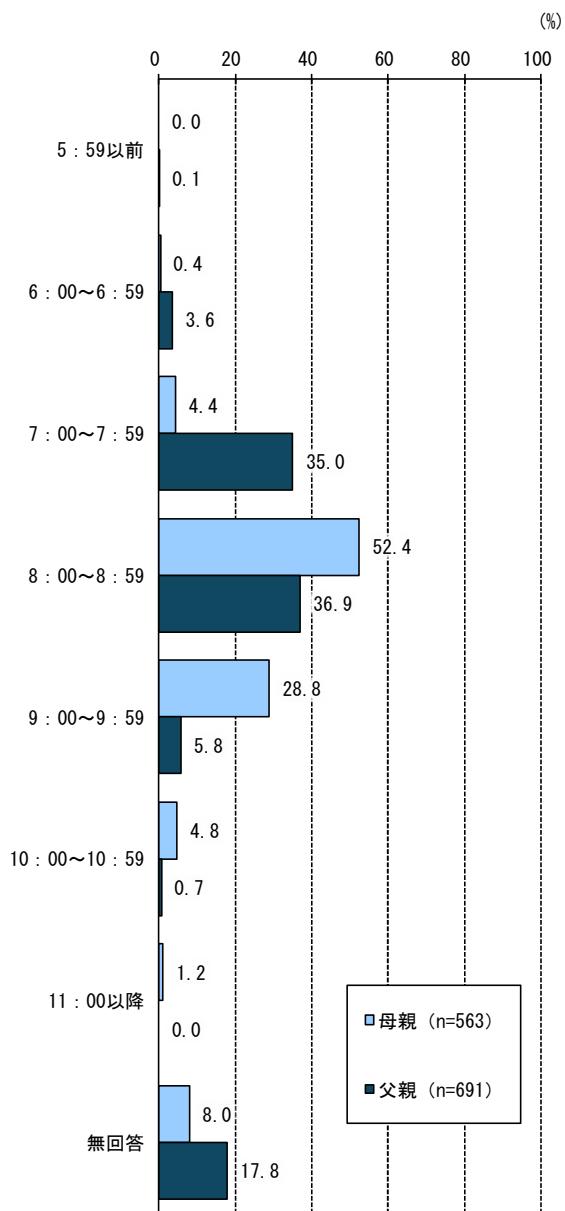


問24-2 a 家を出る理想の時刻をお答えください。(問30で「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」から「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかを選んだ方)

【全体】

- 家を出る理想の時刻について、母親、父親ともに「8:00~8:59」が最も多くなっています。次いで母親は「9:00~9:59」が28.8%、「10:00~10:59」が4.8%となっているのに対し、父親は「7:00~7:59」が35.0%、「9:00~9:59」が5.8%となっています。

【家を出る理想の時刻】

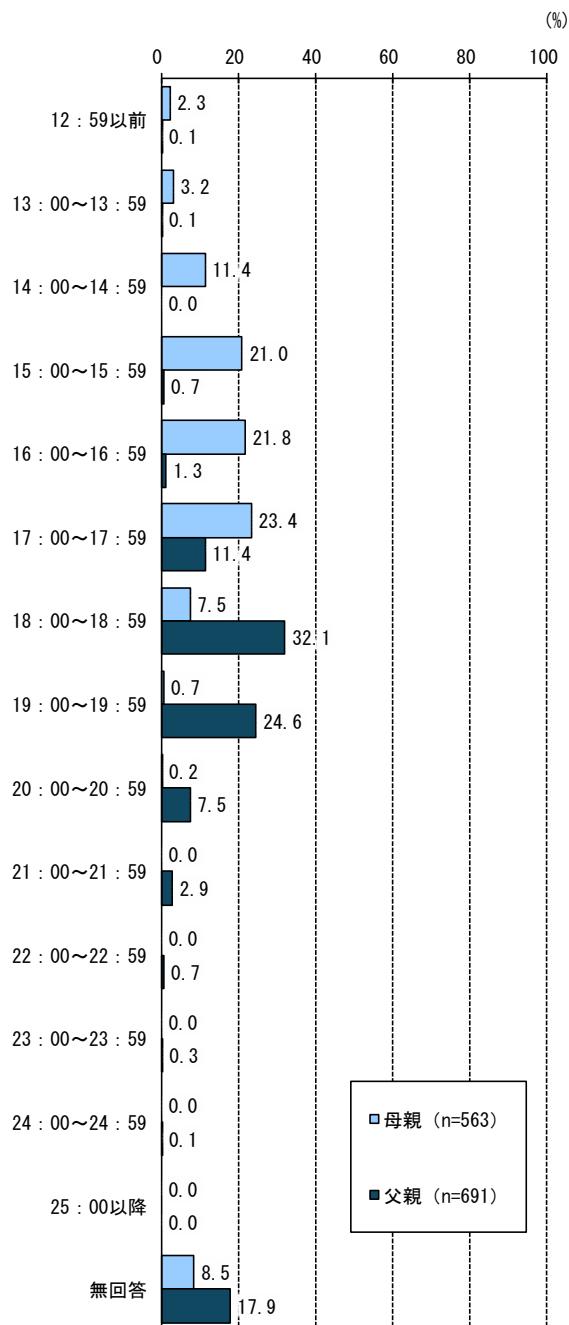


問24-2 b 理想の帰宅時刻をお答えください。(問30で「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」から「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかを選んだ方)

【全体】

- 母親の理想の帰宅時刻について、「17：00～17：59」が 23.4%で最も多く、次いで「16：00～16：59」が 21.8%、「15：00～15：59」が 21.0%となっています。
- 父親の理想の帰宅時刻について、「18：00～18：59」が 32.1%で最も多く、次いで「19：00～19：59」が 24.6%、「17：00～17：59」が 11.4%となっています。

【理想の帰宅時刻】

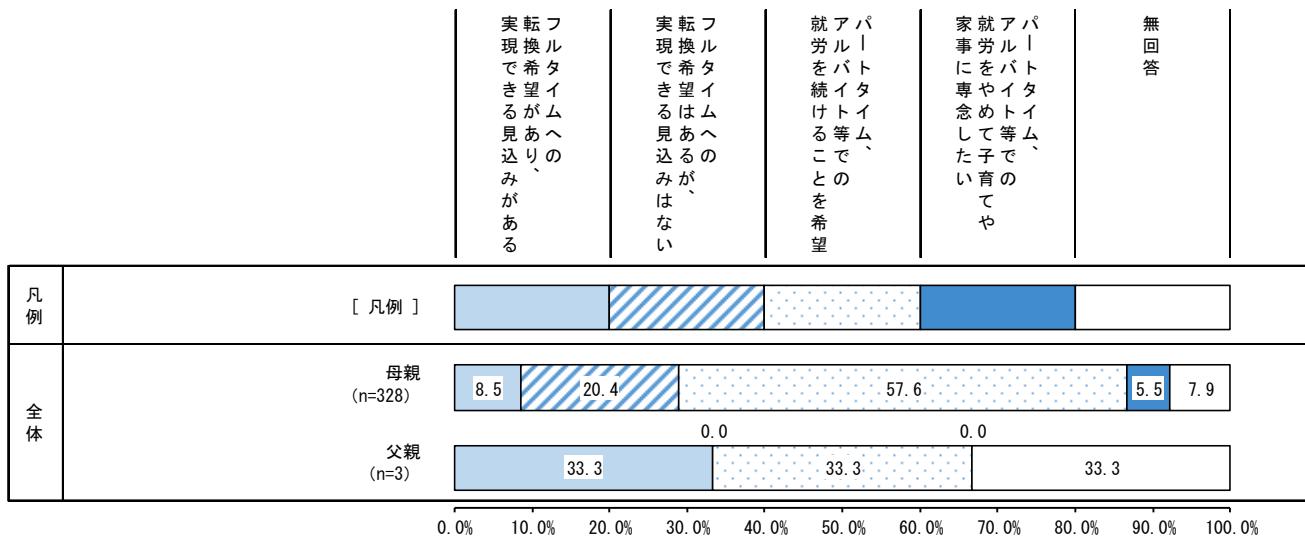


問24-3 フルタイムへの転換希望はありますか。(問24で「3. パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかを選んだ方)

【全体】

- 母親のフルタイムへの転換希望について、「パートタイム、アルバイト等での就労を続けることを希望」が 57.6%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 20.4%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 8.5%となっています。
- 父親のフルタイムへの転換希望について、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはある」「パートタイム、アルバイト等での就労を続けることを希望」が 33.3%となっています。

【フルタイムへの転換希望】

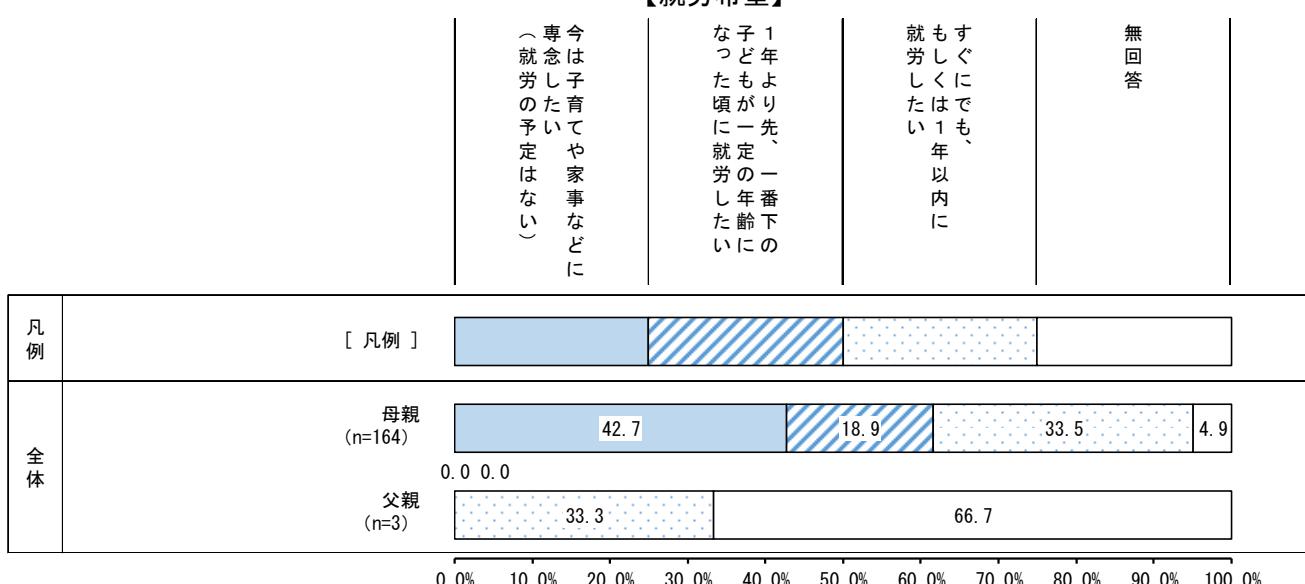


問24-4 就労したいという希望はありますか。(問24で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」のいずれかを選んだ方)

【全体】

- 母親の就労希望について、「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 42.7%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 33.5%、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢になった頃に就労したい」が 18.9%となっています。
- 父親の就労希望について、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 33.3%となっています。

【就労希望】

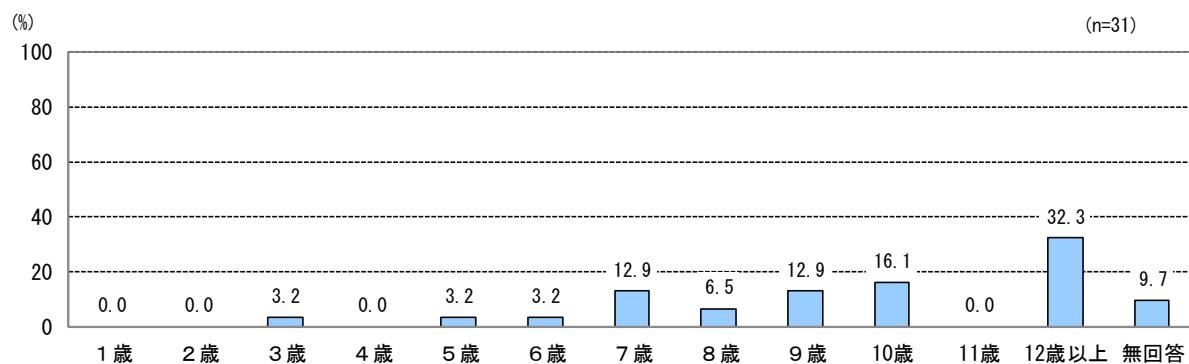


問24-4 (1) 就労希望時のお子さんの年齢をお答えください。(問24-4で「2. 1年より先、一番下の子どもが一定の年齢になった頃に就労したい」を選んだ方)

【全体】

- 就労したい子どもの年齢（母親）について、「12歳以上」が32.3%で最も多く、次いで「10歳」が16.1%、「7歳」「9歳」が12.9%となっています。
- 父親の就労したい子どもの年齢について、有効回答がありませんでした。

【就労したい子どもの年齢（母親）】

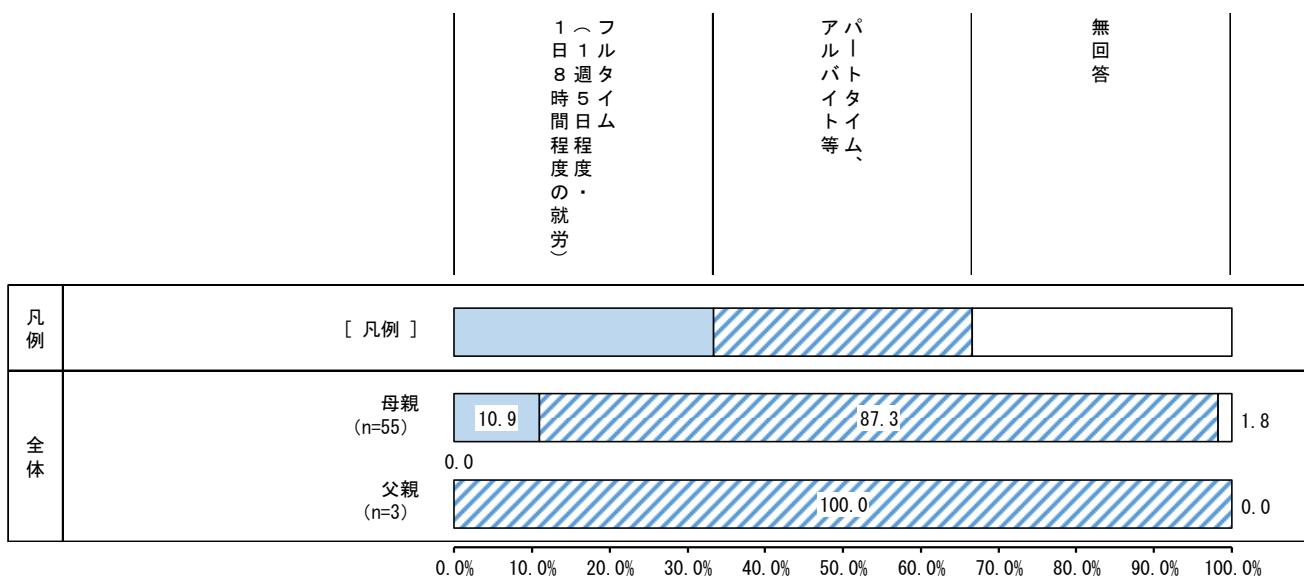


問24-4 (2) 希望する就労形態をお答えください。(問24-4で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方)

【全体】

- 母親の希望する就労形態について、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が10.9%、「パートタイム、アルバイト等」が87.3%となっています。
- 父親の希望する就労形態について、「パートタイム、アルバイト等」が100.0%となっています。

【希望する就労形態】

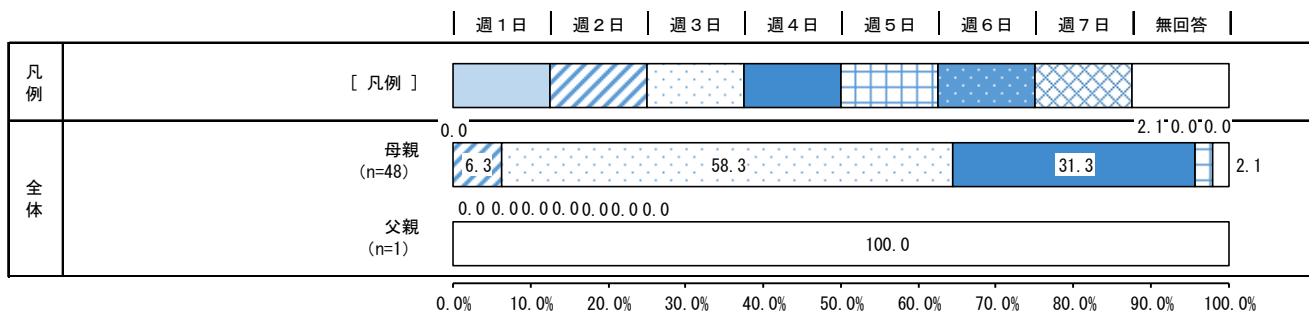


問24-4 (3) パート・アルバイト等の希望就労日数をお答えください。(問24-4 「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」で「イ. パートタイム、アルバイト等」を選んだ方)

【全体】

- 母親のパート・アルバイト等の希望就労日数について、「週3日」が58.3%で最も多く、次いで「週4日」が31.3%、「週2日」が6.3%となっています。
- 父親のパート・アルバイト等の希望就労日数について、有効回答がありませんでした。

【パート・アルバイト等の希望就労日数】

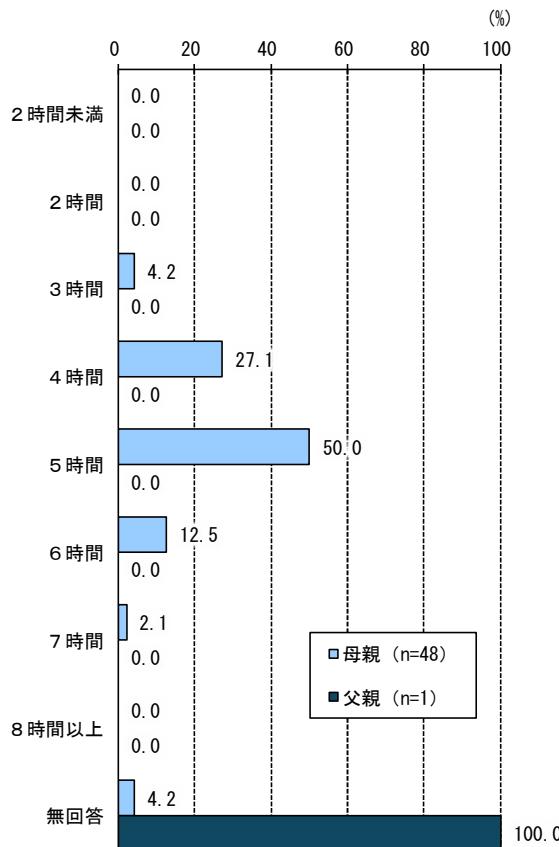


問24-4 (4) パート・アルバイト等の希望就労時間をお答えください。(問24-4 「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」で「イ. パートタイム、アルバイト等」を選んだ方)

【全体】

- 母親のパート・アルバイト等の希望就労時間について、「5時間」が50.0%で最も多く、次いで「4時間」が27.1%、「6時間」が12.5%となっています。
- 父親のパート・アルバイト等の希望就労時間について、有効回答がありませんでした。

【パート・アルバイト等の希望就労時間】



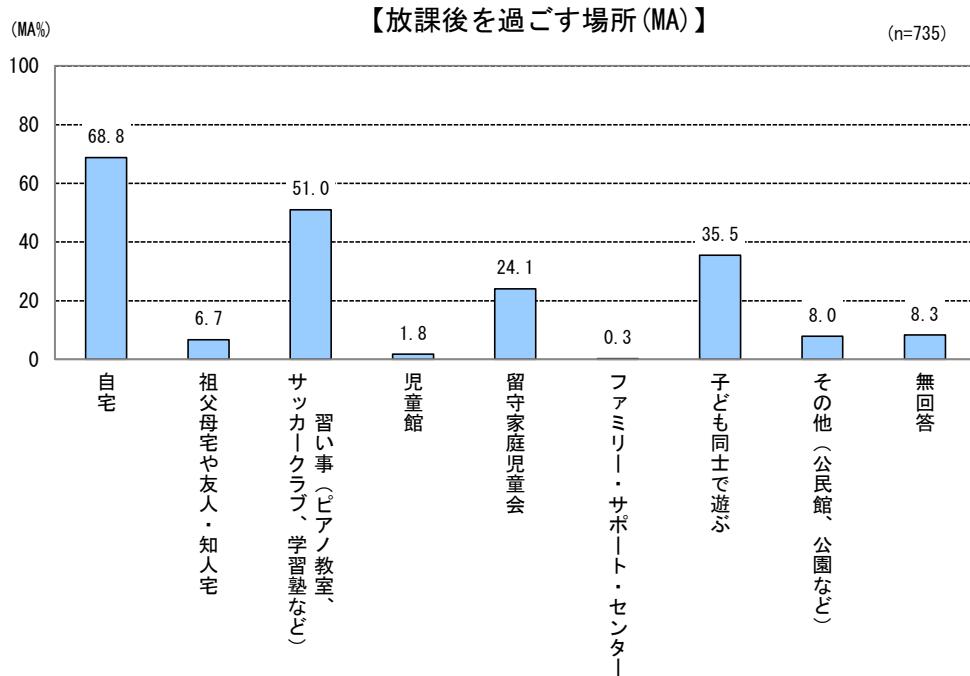
5. 留守家庭児童会の利用について

(1) 放課後の過ごし方

問25 お子さんについて、放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。(MA)

【全体】

- 放課後を過ごす場所について、「自宅」が 68.8%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 51.0%、「子ども同士で遊ぶ」が 35.5%となっています。

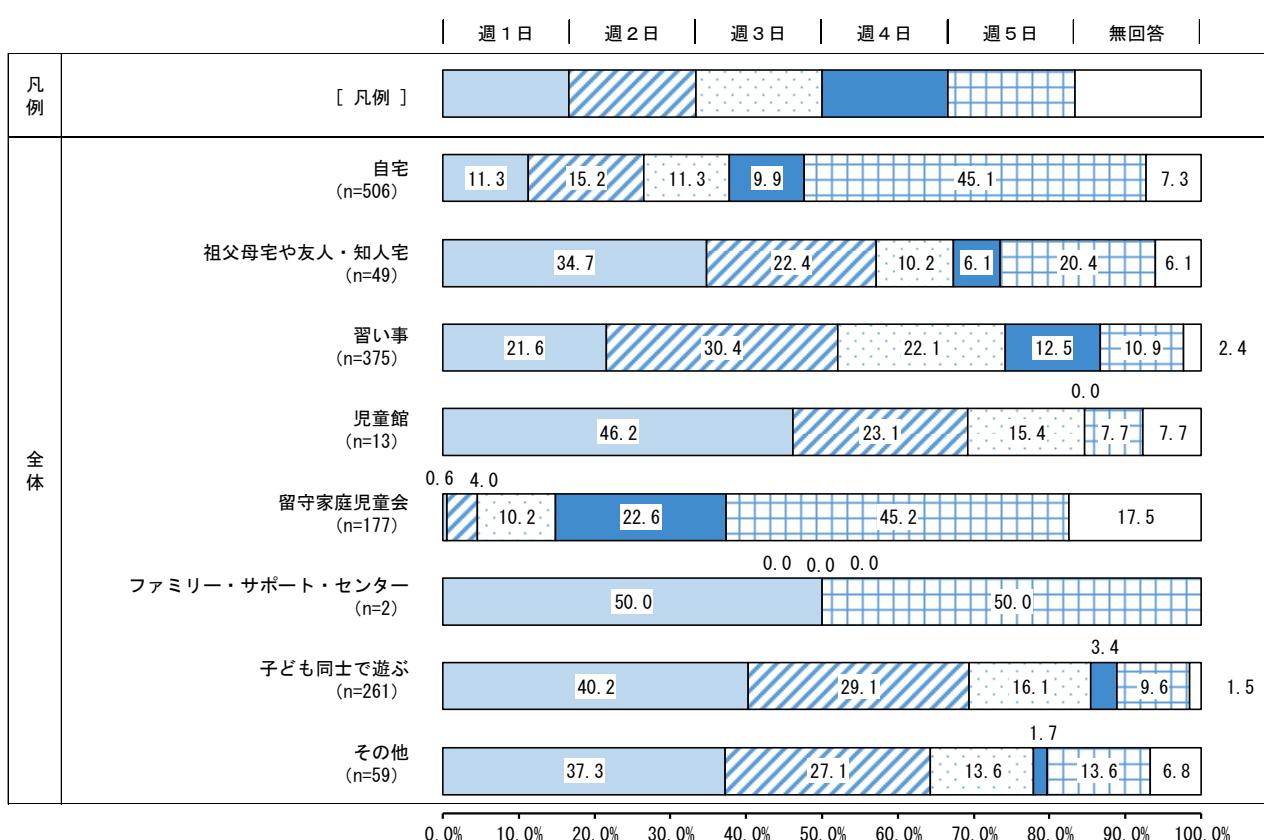


問25 (1) 放課後の時間を過ごす場所として、それぞれ週あたりの日数をお答えください。

【全体】

- 放課後の時間を過ごす場所の日数について、「週 3 日」「週 4 日」「週 5 日」を合わせた“1 週間の平日のうちの半分以上”は「留守家庭児童会」が 78.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【放課後の時間を過ごす場所の日数】



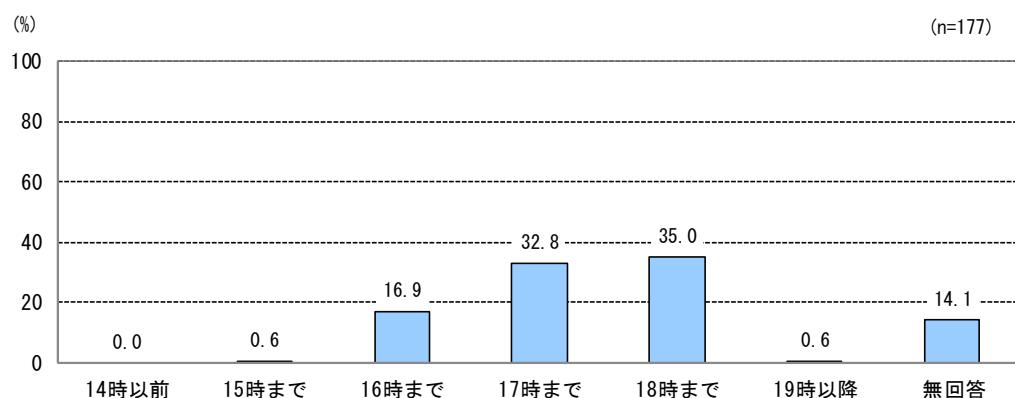
(2) 留守家庭児童会の利用

問25 (1) a 留守家庭児童会の利用終了時間（下校から何時まで）をお答えください。

【全体】

- 留守家庭児童会の利用終了時間（下校から何時まで）について、「18時まで」が35.0%で最も多く、次いで「17時まで」が32.8%、「16時まで」が16.9%となっています。

【留守家庭児童会の利用終了時間】

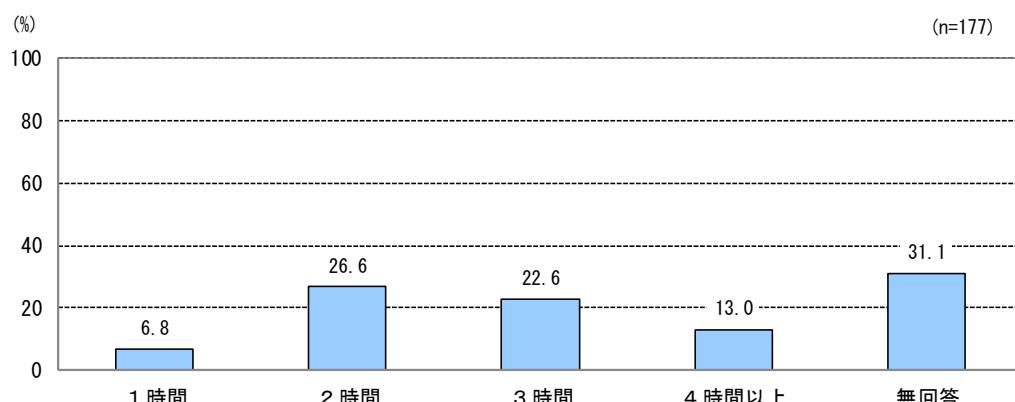


問25 (1) b 留守家庭児童会の利用時間をお答えください。

【全体】

- 留守家庭児童会の利用時間について、「2時間」が26.6%で最も多く、次いで「3時間」が22.6%、「4時間以上」が13.0%となっています。

【留守家庭児童会の利用時間】

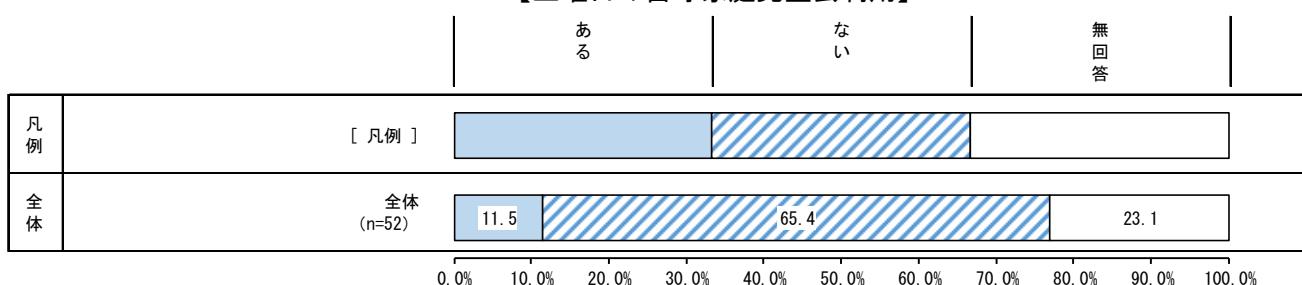


問25 (1) c 土曜日の留守家庭児童会の利用をお答えください。

【全体】

- 土曜日の留守家庭児童会利用について、「ある」が11.5%、「ない」が65.4%となっています。

【土曜日の留守家庭児童会利用】

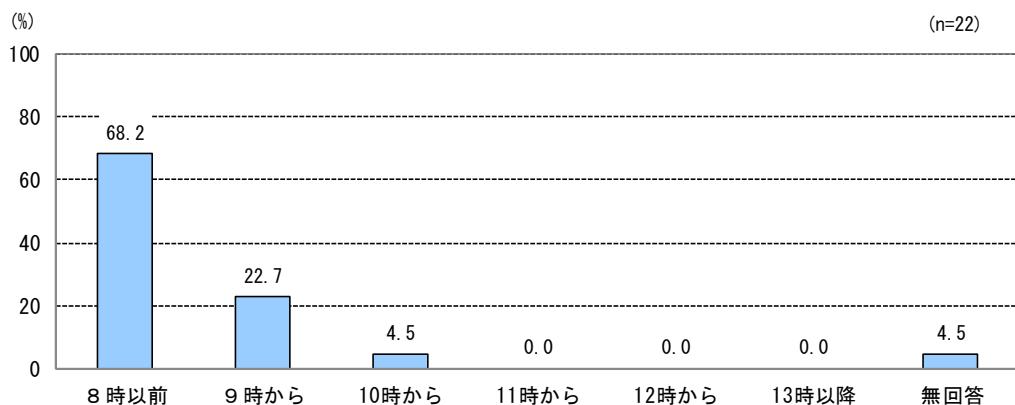


問25（1）d 土曜日の留守家庭児童会の開始時間をお答えください。

【全体】

- 土曜日の留守家庭児童会の開始時間について、「8時以前」が 68.2%で最も多く、次いで「9時から」が 22.7%、「10時から」が 4.5%となっています。

【土曜日の留守家庭児童会の開始時間】

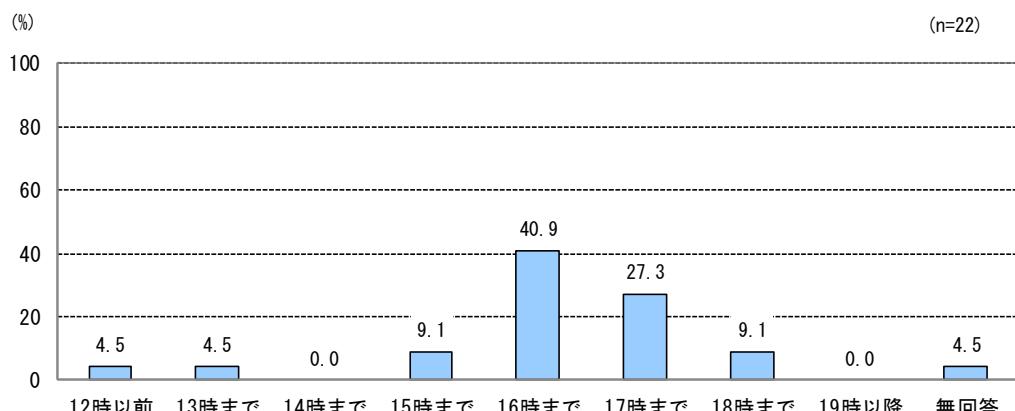


問25（1）e 土曜日の留守家庭児童会の終了時間をお答えください。

【全体】

- 土曜日の留守家庭児童会の終了時間について、「16時まで」が 40.9%で最も多く、次いで「17時まで」が 27.3%、「15時まで」「18時まで」が 9.1%となっています。

【土曜日の留守家庭児童会の終了時間】

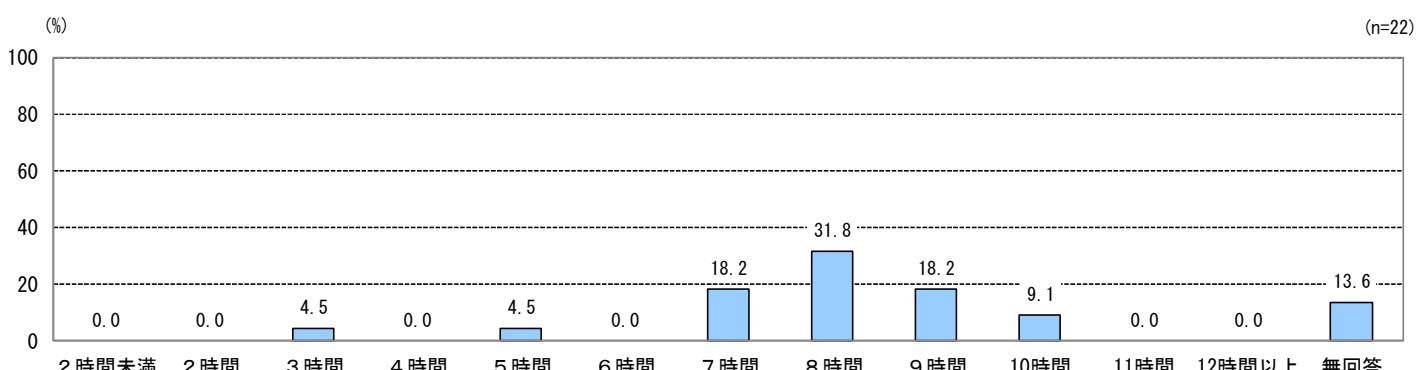


問25（1）f 土曜日の留守家庭児童会の利用時間をお答えください。

【全体】

- 土曜日の留守家庭児童会の利用時間について、「8時間」が 31.8%で最も多く、次いで「7時間」「9時間」が 18.2%、「10時間」が 9.1%となっています。

【土曜日の留守家庭児童会の利用時間】

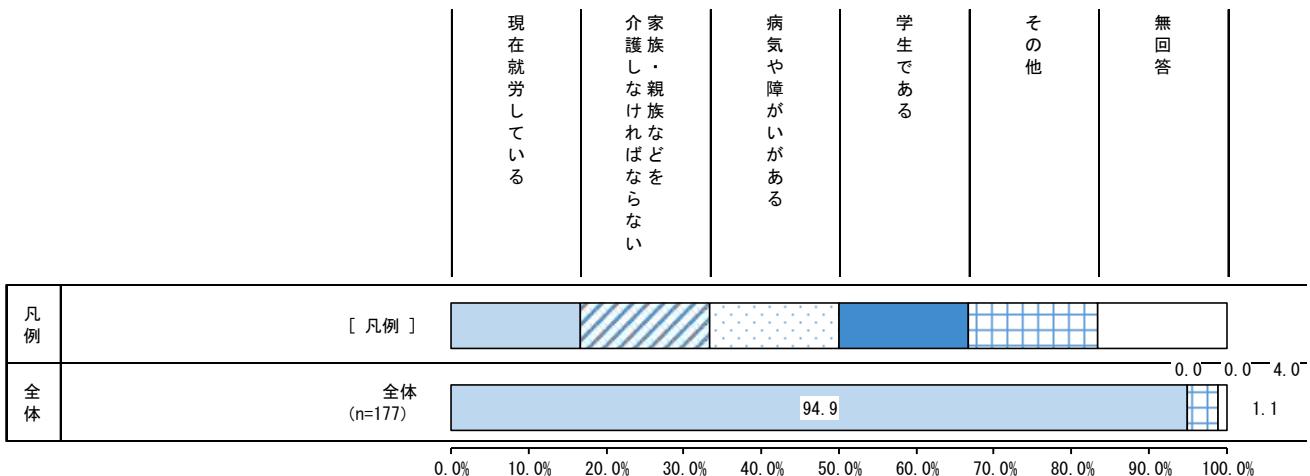


問25-1 利用している理由についてお答えください。(問25で「5. 留守家庭児童会」を選んだ方)

【全体】

- 利用している理由について、「現在就労している」が 94.9%で最も多く、次いで「その他」が 4.0%となっています。

【利用している理由】

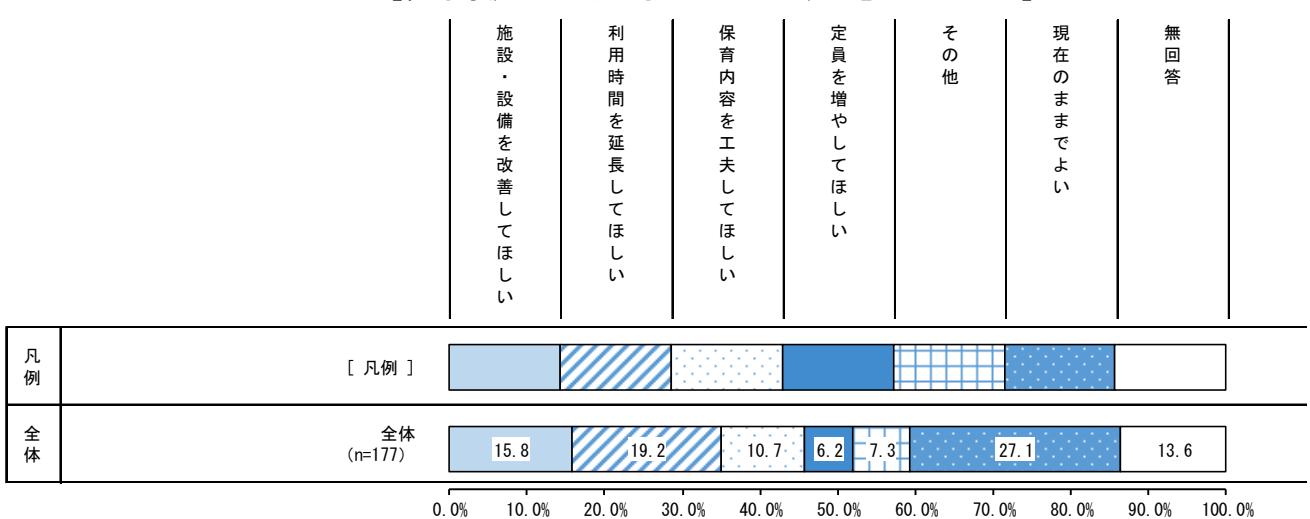


問25-2 留守家庭児童会に対してどのように感じていますか。(問25で「5. 留守家庭児童会」を選んだ方)

【全体】

- 留守家庭児童会に対してどのように感じているかについて、「現在のままでよい」が 27.1%で最も多く、次いで「利用時間を延長してほしい」が 19.2%、「施設・設備を改善してほしい」が 15.8%となっています。
- その他の内訳として、弁当・おやつを開始してほしい（6件）、環境の整備をしてほしい（3件）、時間を変更してほしい（1件）、身体を動かす活動をしてほしい（1件）、預かる学年を伸ばしてほしい（1件）、指導方法を検討してほしい（1件）、先生の増員（1件）、保護者役員制度の廃止（1件）、市役所や申込制度の改善（1件）となっています。

【留守家庭児童会に対してどのように感じているか】

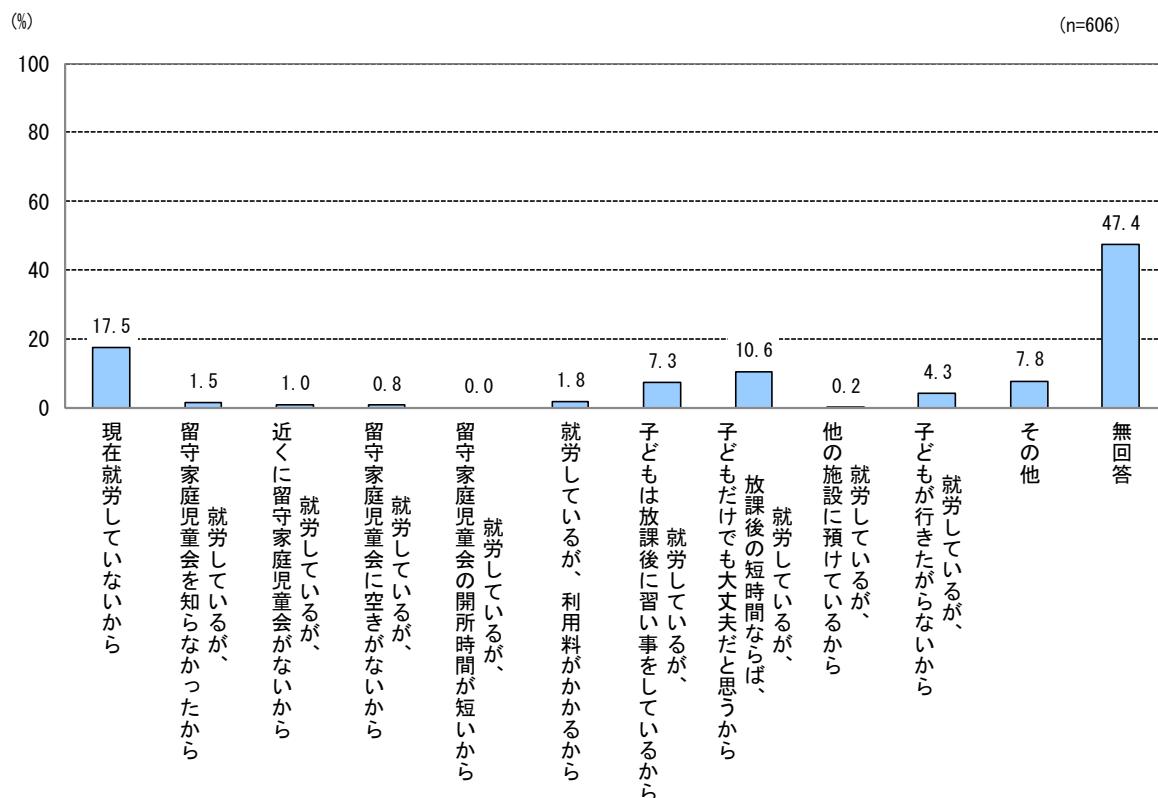


問25-3 利用していない理由についてお答えください。(問25で「5. 留守家庭児童会」以外を選んだ方)

【全体】

- 利用していない理由について、「現在就労していないから」が 17.5%で最も多く、次いで「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」が 10.6%、「その他」が 7.8%となっています。
 - その他の内訳として、留守番する状況がない（18 件）、親族がみてくれる（12 件）、利用できる条件でない（4 件）、必要がない（3 件）、手続き方法がわからない・手間がかかる（2 件）、利用しづらい（2 件）、以前は利用していた（2 件）、留守番ができる（2 件）、利用を拒否された（1 件）、ルールが多い（1 件）となっています。

【利用していない理由】

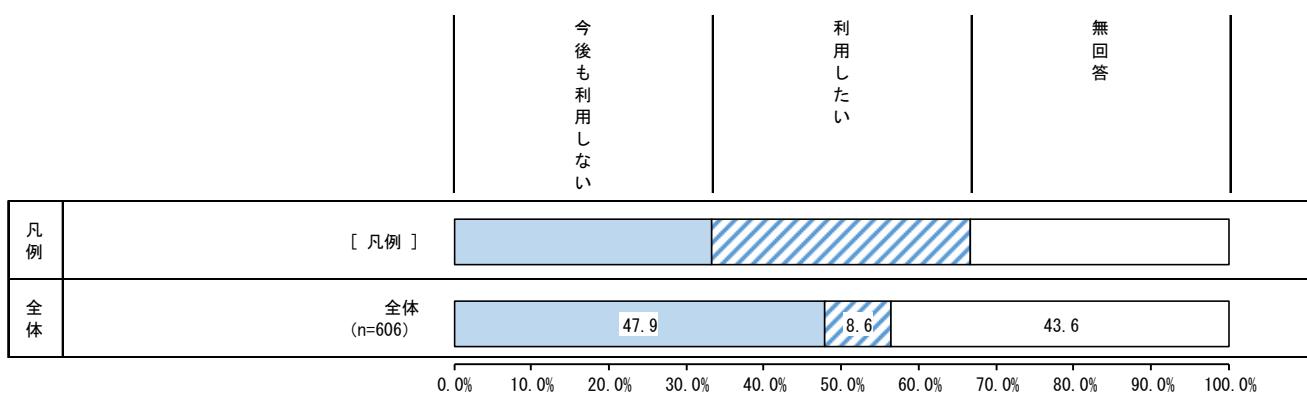


問25-4 お子さんについて、今後の留守家庭児童会の利用予定をお聞かせください。（問25で「5. 留守家庭児童会」以外を選んだ方）

【全体】

- 今後の留守家庭児童会の利用予定について、「今後も利用しない」が 47.9%、「利用したい」が 8.6%となっています。

【今後の留守家庭児童会の利用予定】

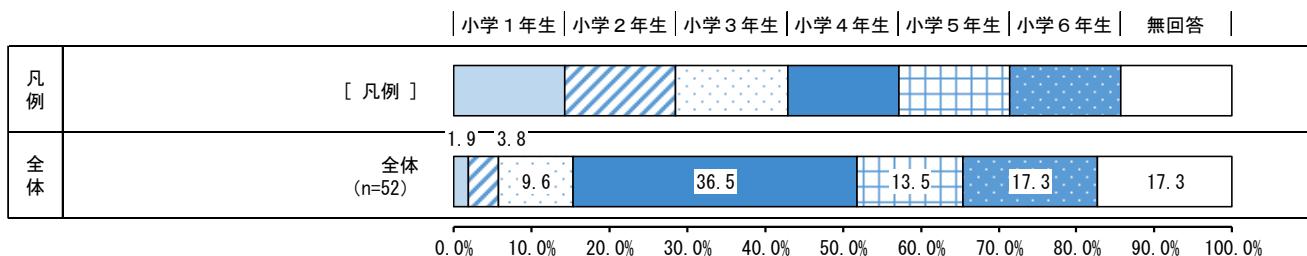


問25-4 (1) 留守家庭児童会の利用希望学年をお答えください。(問25-4で「2. 利用したい」を選んだ方)

【全体】

- 留守家庭児童会の利用希望学年について、「小学4年生」が36.5%で最も多く、次いで「小学6年生」が17.3%、「小学5年生」が13.5%となっています。

【留守家庭児童会の利用希望学年】

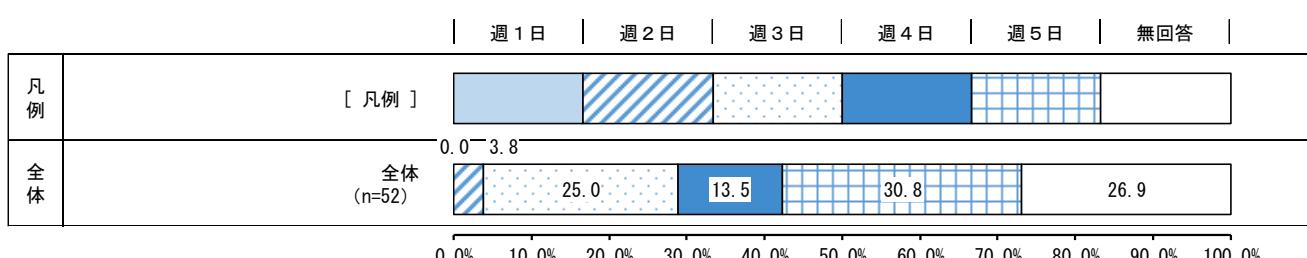


問25-4 (2) 留守家庭児童会の希望日数をお答えください。(問25-4で「2. 利用したい」を選んだ方)

【全体】

- 留守家庭児童会の希望日数について、「週5日」が30.8%で最も多く、次いで「週3日」が25.0%、「週4日」が13.5%となっています。

【留守家庭児童会の希望日数】

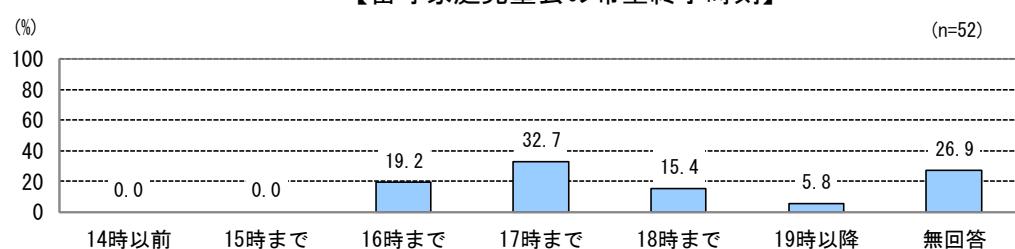


問25-4 (3) 留守家庭児童会の希望終了時刻をお答えください。(問25-4で「2. 利用したい」を選んだ方)

【全体】

- 留守家庭児童会の希望終了時刻について、「17時まで」が32.7%で最も多く、次いで「16時まで」が19.2%、「18時まで」が15.4%となっています。

【留守家庭児童会の希望終了時刻】



問25-4 (4) 留守家庭児童会の希望時間をお答えください。(問25-4で「2. 利用したい」を選んだ方)

【全体】

- 留守家庭児童会の希望時間について、「2時間」が32.7%で最も多く、次いで「3時間」が11.5%、「1時間」「4時間以上」が5.8%となっています。

【留守家庭児童会の希望時間】

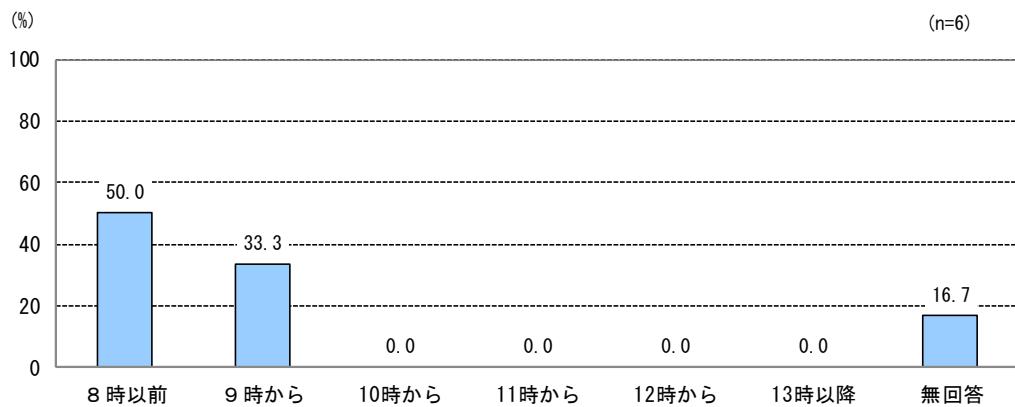


問25-4（5） 土曜日の留守家庭児童会の希望開始時刻をお答えください。（問25-4「2. 利用したい」で「土曜日の利用が1. ある」を選んだ方）

【全体】

- 土曜日の留守家庭児童会の希望開始時刻について、「8時以前」が50.0%で最も多く、次いで「9時から」が33.3%となっています。

【土曜日の留守家庭児童会の希望開始時刻】

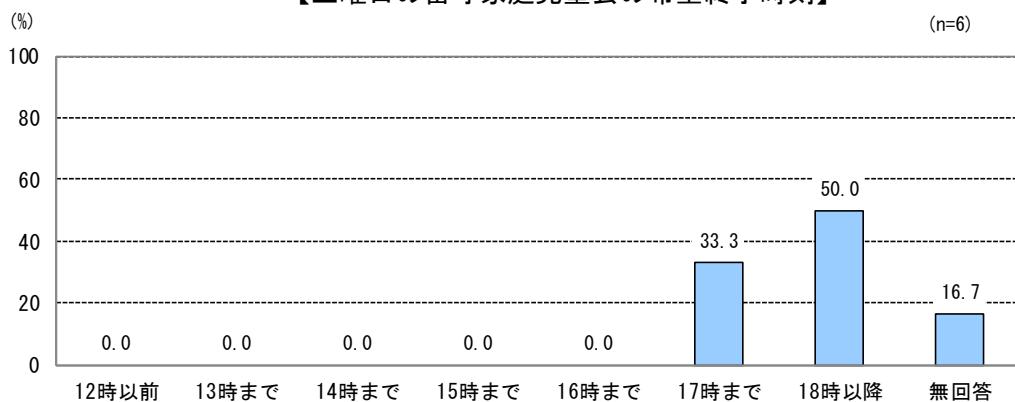


問25-4（6） 土曜日の留守家庭児童会の希望終了時刻をお答えください。（問25-4「2. 利用したい」で「土曜日の利用が1. ある」を選んだ方）

【全体】

- 土曜日の留守家庭児童会の希望終了時刻について、「18時以降」が50.0%で最も多く、次いで「17時まで」が33.3%となっています。

【土曜日の留守家庭児童会の希望終了時刻】

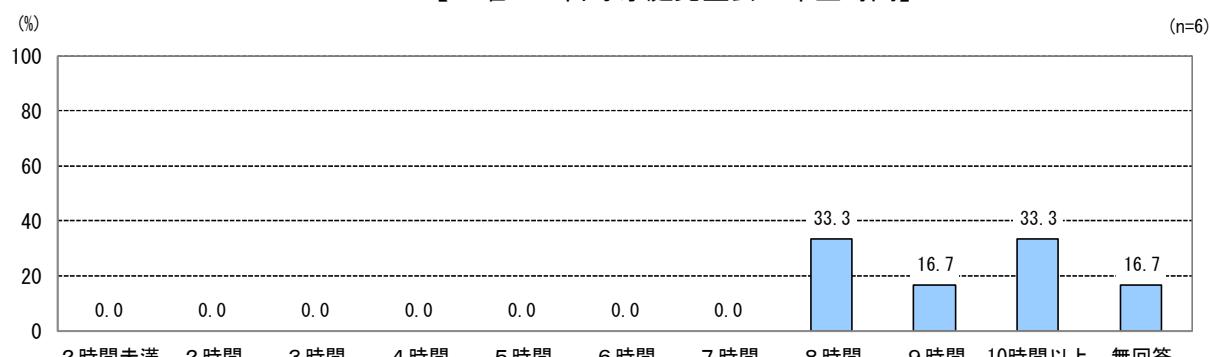


問25-4（7） 土曜日の留守家庭児童会の希望時間をお答えください。（問25-4「2. 利用したい」で「土曜日の利用が1. ある」を選んだ方）

【全体】

- 土曜日の留守家庭児童会の希望時間について、「8時間」「10時間以上」が33.3%で最も多く、次いで「9時間」が16.7%となっています。

【土曜日の留守家庭児童会の希望時間】

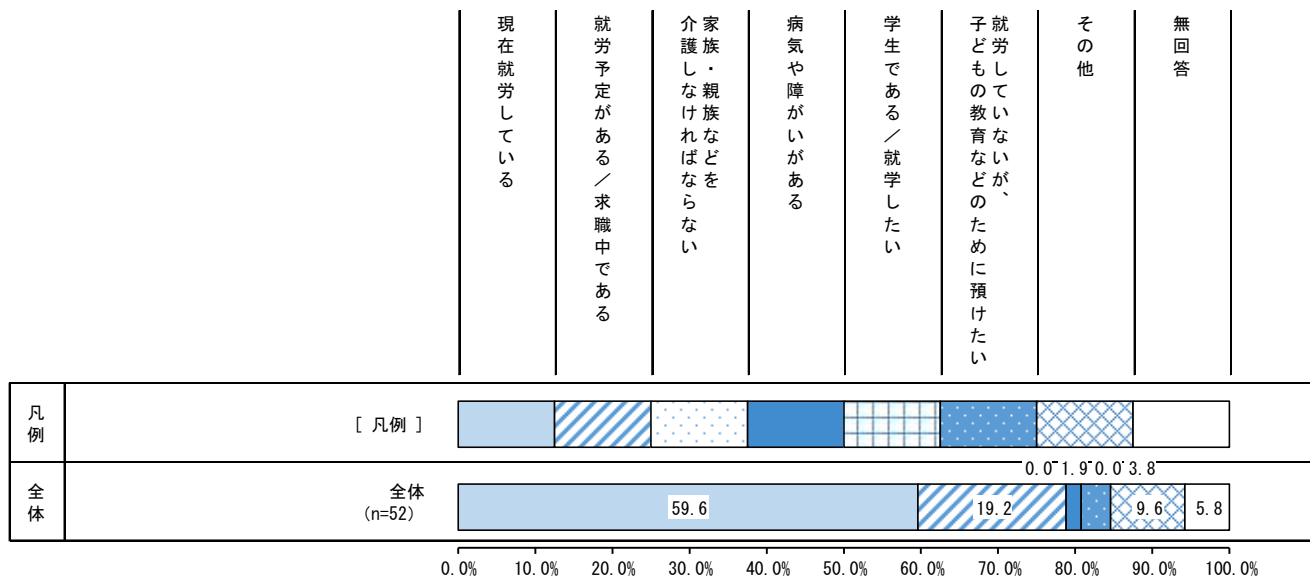


問25-5 利用したい理由についてお答えください。(問25-4で「2. 利用したい」を選んだ方)

【全体】

- 利用したい理由について、「現在就労している」が 59.6%で最も多く、次いで「就労予定がある／求職中である」が 19.2%、「その他」が 9.6%となっています。
- その他の内訳として、就労時間の延長希望などの意見も挙がっています。

【利用したい理由】



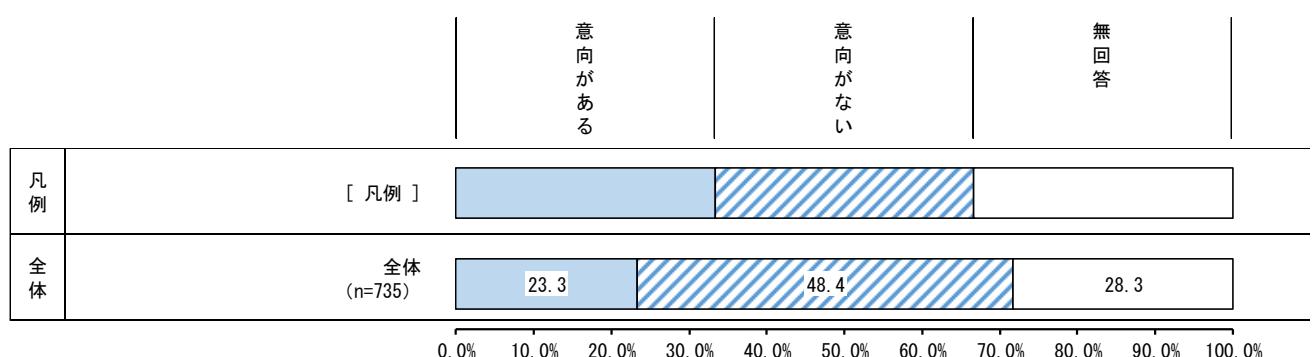
(3) 放課後子ども教室の利用

問26 地域によっては、留守家庭児童会と連携して行うサービスとして『放課後子ども教室』がありますが、その利用意向はありますか。

【全体】

- 放課後子ども教室の利用意向について、「意向がある」が 23.3%、「意向がない」が 48.4%となっています。

【放課後子ども教室の利用意向】

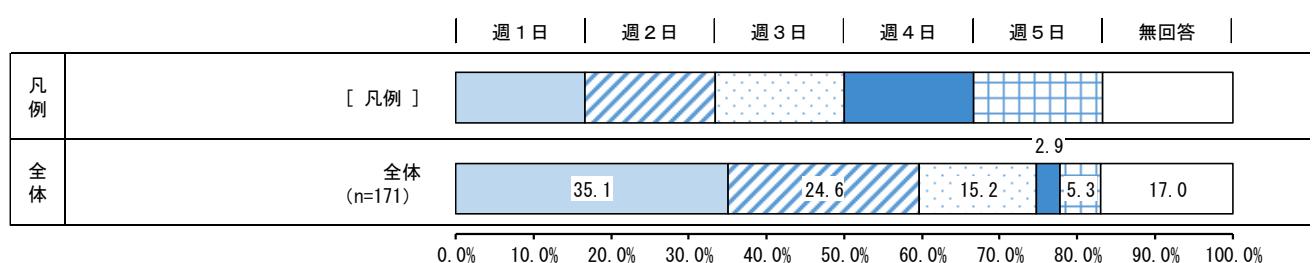


問26-1 放課後子ども教室の利用したい日数をお答えください。

【全体】

- 放課後子ども教室の利用希望日数について、「週 1 日」が 35.1%で最も多く、次いで「週 2 日」が 24.6%、「週 3 日」が 15.2%となっています。

【放課後子ども教室の利用希望日数】

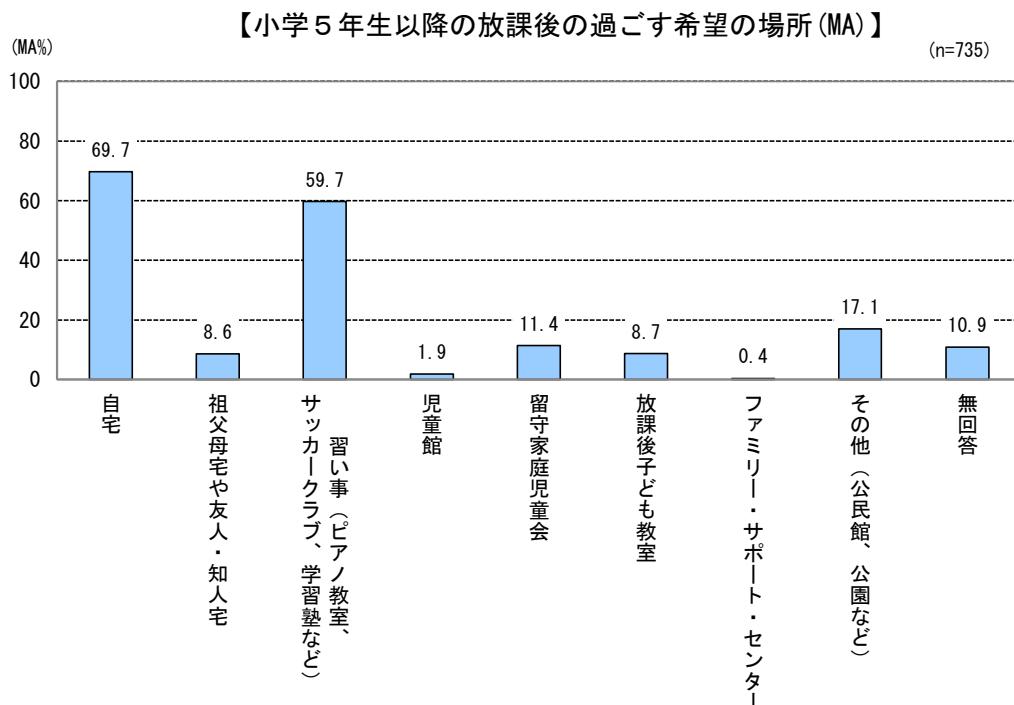


(4) 小学5年生以降の放課後の過ごし方

問27 小学5年生以降の放課後の時間についてどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(MA)

【全体】

- 小学5年生以降の放課後の過ごす希望の場所について、「自宅」が69.7%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が59.7%、「その他（公民館、公園など）」が17.1%となっています。

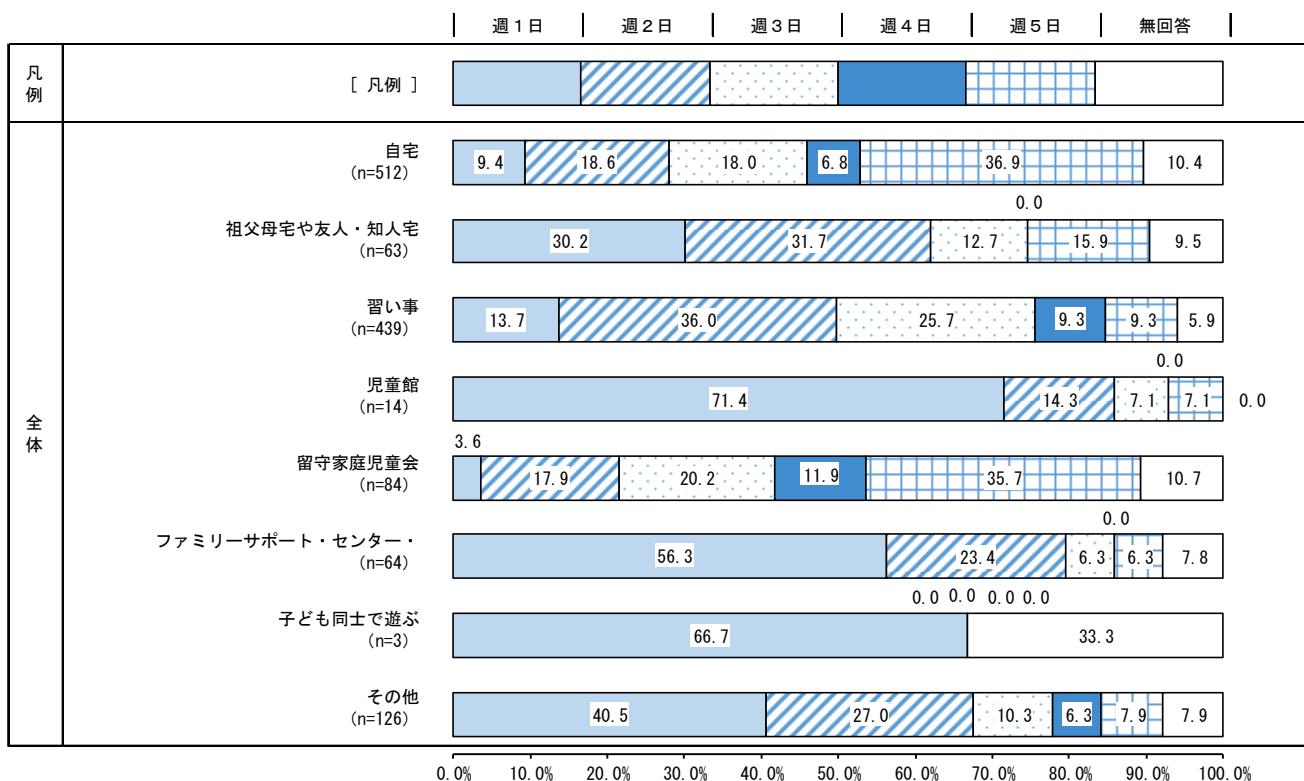


問27（1） 小学5年生以降の放課後の過ごす希望の場所の日数をお答えください。

【全体】

- 小学5年生以降の放課後の過ごす希望の場所の日数について、「週3日」「週4日」「週5日」を合わせた“1週間の平日のうちの半分以上”は「留守家庭児童会」が67.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【小学5年生以降の放課後の過ごす希望の場所の日数】



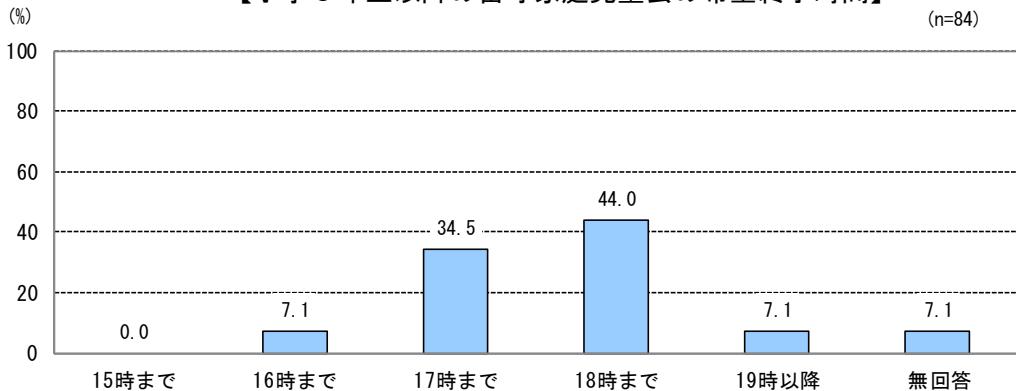
(5) 小学5年生以降の留守家庭児童会の利用

問27 (1) a 小学5年生以降の留守家庭児童会の希望終了時間（下校から何時まで）をお答えください。

【全体】

- 小学5年生以降の留守家庭児童会の希望終了時間について、「18時まで」が44.0%で最も多く、次いで「17時まで」が34.5%、「16時まで」「19時以降」が7.1%となっています。

【小学5年生以降の留守家庭児童会の希望終了時間】

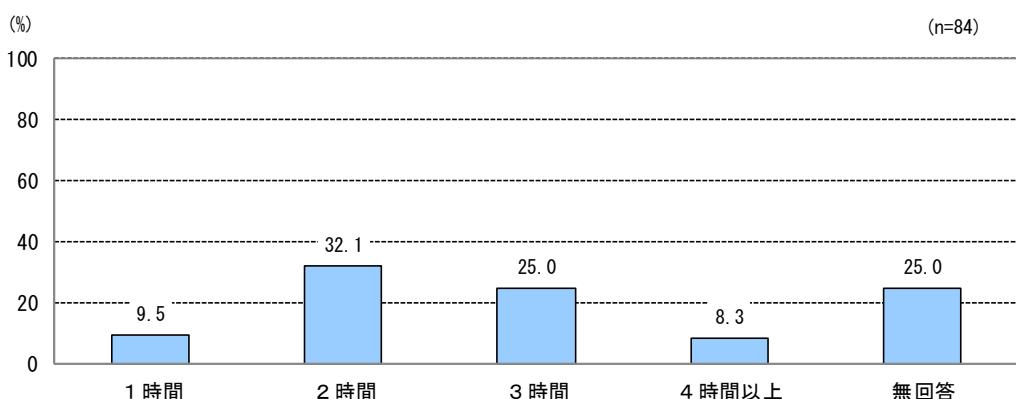


問27 (1) b 小学5年生以降の留守家庭児童会の希望利用時間（下校から何時まで）をお答えください。

【全体】

- 小学5年生以降の留守家庭児童会の希望利用時間について、「2時間」が32.1%で最も多く、次いで「3時間」が25.0%、「1時間」が9.5%となっています。

【小学5年生以降の留守家庭児童会の希望利用時間】

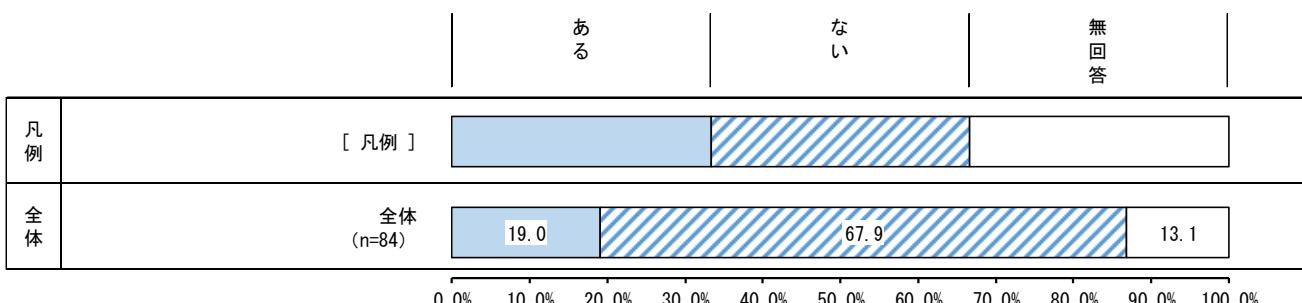


問27 (1) c 小学5年生以降の土曜日の留守家庭児童会の利用希望をお答えください。

【全体】

- 小学5年生以降の土曜日の留守家庭児童会の利用希望について、「ある」が19.0%、「ない」が67.9%となっています。

【小学5年生以降の土曜日の留守家庭児童会の利用希望】

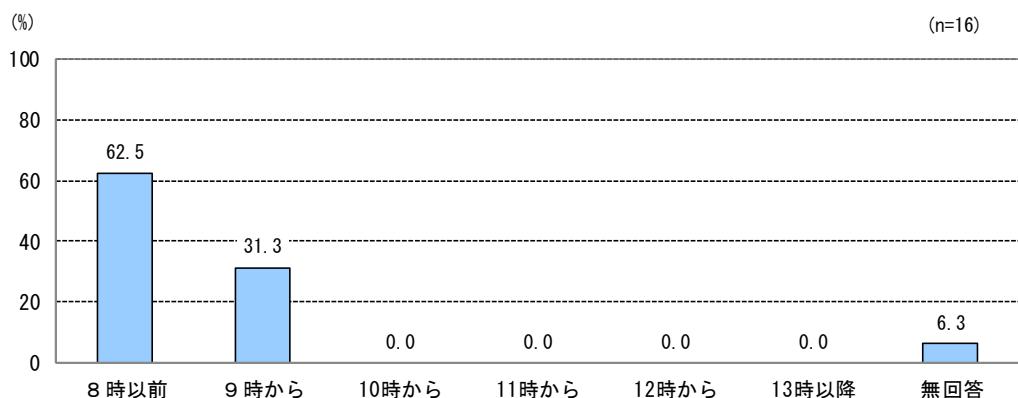


問27（1）d 小学5年生以降の土曜日の留守家庭児童会の希望開始時間をお答えください。

【全体】

- 小学5年生以降の土曜日の留守家庭児童会の希望開始時間について、「8時以前」が62.5%で最も多く、次いで「9時から」が31.3%となっています。

【小学5年生以降の土曜日の留守家庭児童会の希望開始時間】

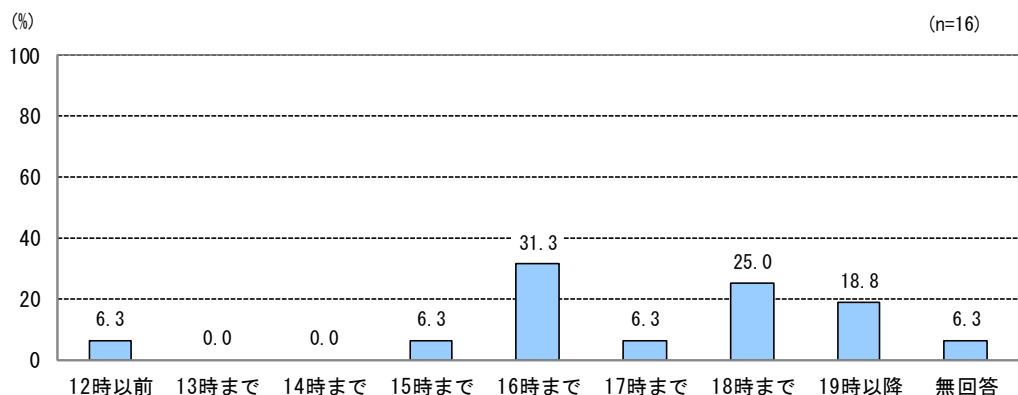


問27（1）e 小学5年生以降の土曜日の留守家庭児童会の希望終了時間をお答えください。

【全体】

- 小学5年生以降の土曜日の留守家庭児童会の希望終了時間について、「16時まで」が31.3%で最も多く、次いで「18時まで」が25.0%、「19時以降」が18.8%となっています。

【小学5年生以降の土曜日の留守家庭児童会の希望終了時間】

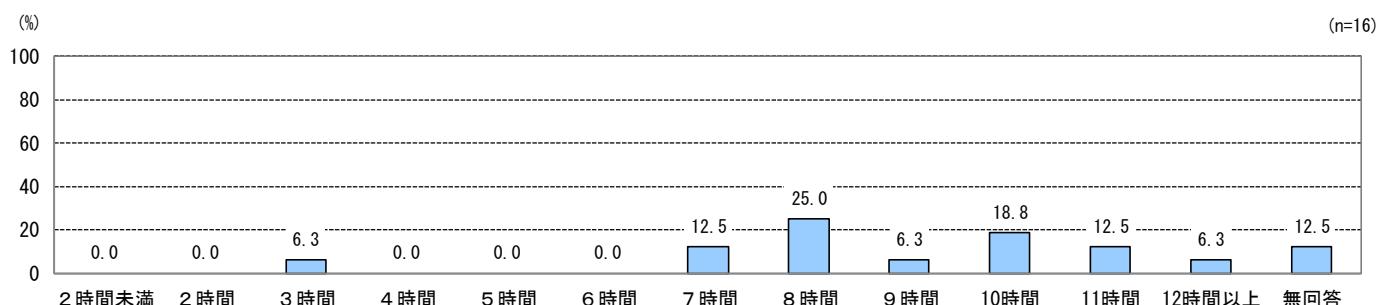


問27（1）f 小学5年生以降の土曜日の留守家庭児童会の利用時間をお答えください。

【全体】

- 小学5年生以降の土曜日の留守家庭児童会の利用時間について、「8時間」が25.0%で最も多く、次いで「10時間」が18.8%、「7時間」「11時間」が12.5%となっています。

【小学5年生以降の土曜日の留守家庭児童会の利用時間】

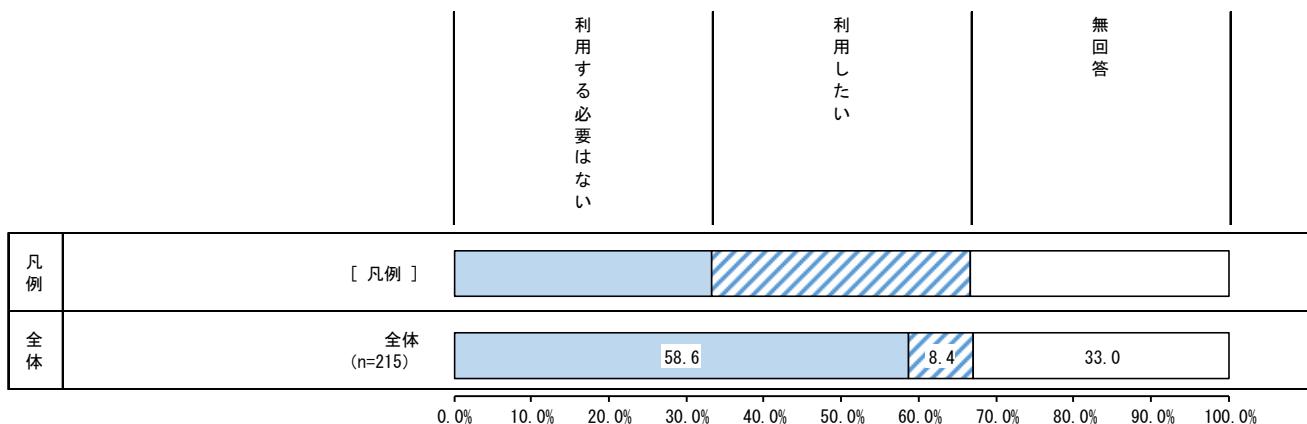


問27-1 (1) a 小学5年生以降の日曜日・祝日の利用希望をお答えください。(問25で「5. 留守家庭児童会」、問25-4で「2. 利用したい」、問27で「5. 留守家庭児童会」のいずれかを選んだ方)

【全体】

- 小学5年生以降の日曜日・祝日の利用希望について、「利用する必要はない」が58.6%、「利用したい」が8.4%となっています。

【小学5年生以降の日曜日・祝日の利用希望】

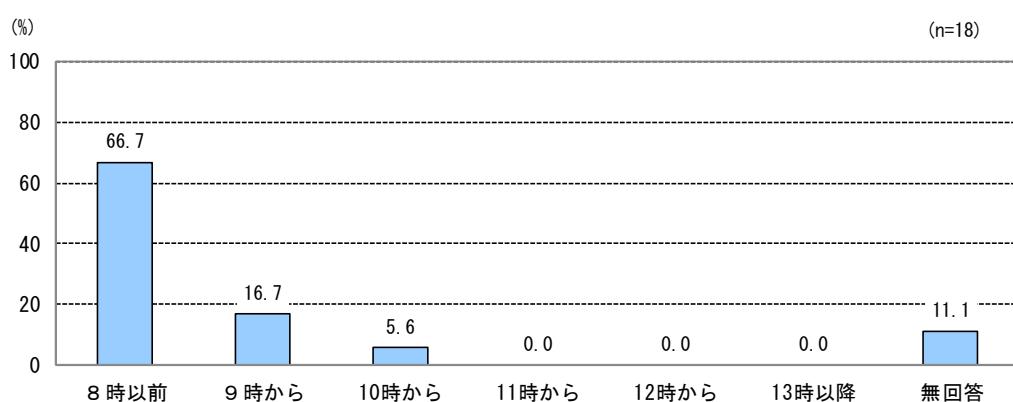


問27-1 (1) b 小学5年生以降の日曜日・祝日の留守家庭児童会の希望開始時間をお答えください。

【全体】

- 小学5年生以降の日曜日・祝日の留守家庭児童会の希望開始時間について、「8時以前」が66.7%で最も多く、次いで「9時から」が16.7%、「10時から」が5.6%となっています。

【小学5年生以降の日曜日・祝日の留守家庭児童会の希望開始時間】

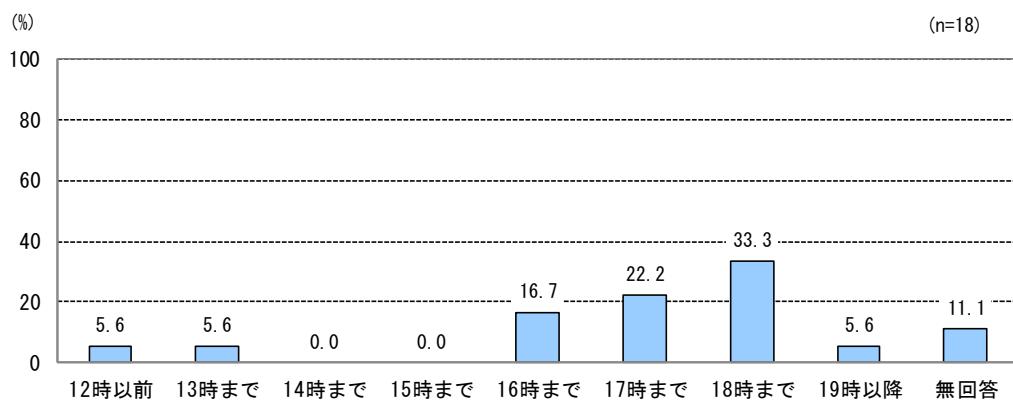


問27-1 (1) c 小学5年生以降の日曜日・祝日の留守家庭児童会の希望終了時間をお答えください。

【全体】

- 小学5年生以降の日曜日・祝日の留守家庭児童会の希望終了時間について、「18時まで」が33.3%で最も多く、次いで「17時まで」が22.2%、「16時まで」が16.7%となっています。

【小学5年生以降の日曜日・祝日の留守家庭児童会の希望終了時間】

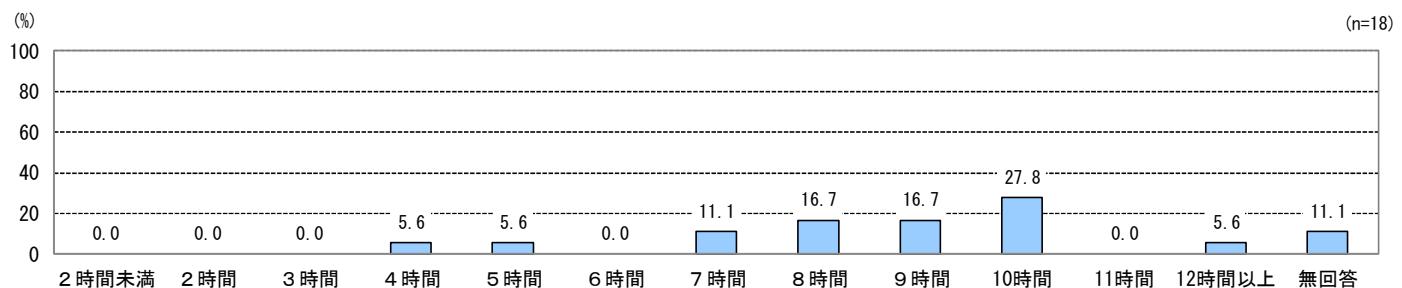


問27-1 (1) d 小学5年生以降の日曜・祝日の留守家庭児童会の希望利用時間をお答えください。

【全体】

- 小学5年生以降の日曜日・祝日の留守家庭児童会の希望利用時間について、「10時間」が27.8%で最も多く、次いで「8時間」「9時間」が16.7%、「7時間」が11.1%となっています。

【小学5年生以降の日曜日・祝日の留守家庭児童会の希望利用時間】

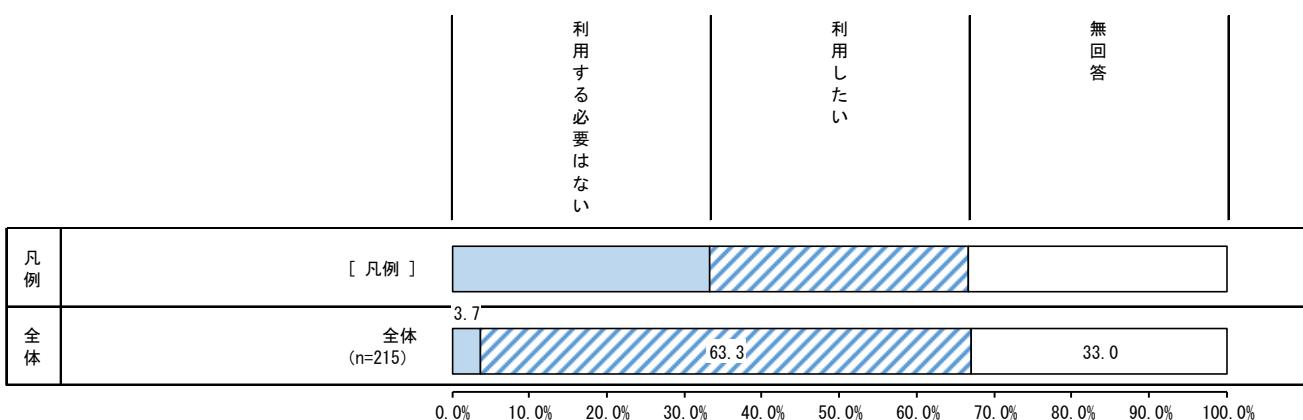


問27-1 (2) a 小学5年生以降の夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望をお答えください。

【全体】

- 小学5年生以降の長期休暇期間中の留守家庭児童会の利用希望について、「利用する必要はない」が3.7%、「利用したい」が63.3%となっています。

【小学5年生以降の長期休暇期間中の利用希望】

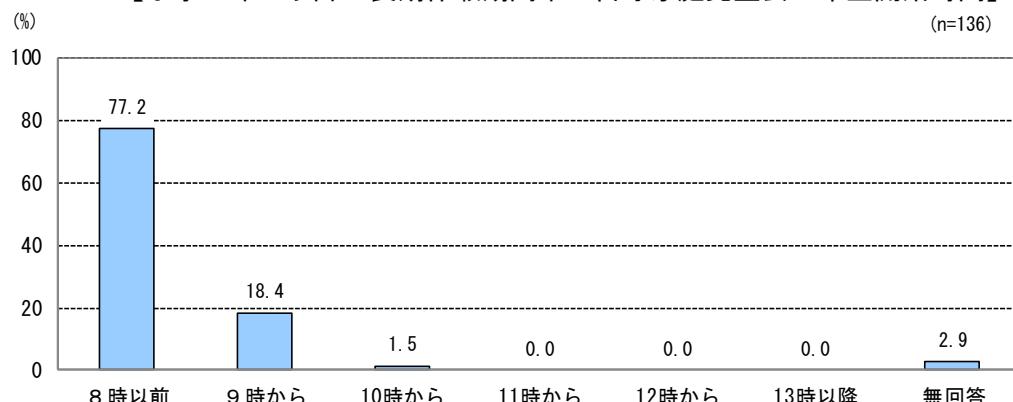


問27-1 (2) b 小学5年生以降の長期休暇期間中の留守家庭児童会の希望開始時間をお答えください。

【全体】

- 小学5年生以降の長期休暇期間中の留守家庭児童会の希望開始時間について、「8時以前」が77.2%で最も多く、次いで「9時から」が18.4%、「10時から」が1.5%となっています。

【小学5年生以降の長期休暇期間中の留守家庭児童会の希望開始時間】

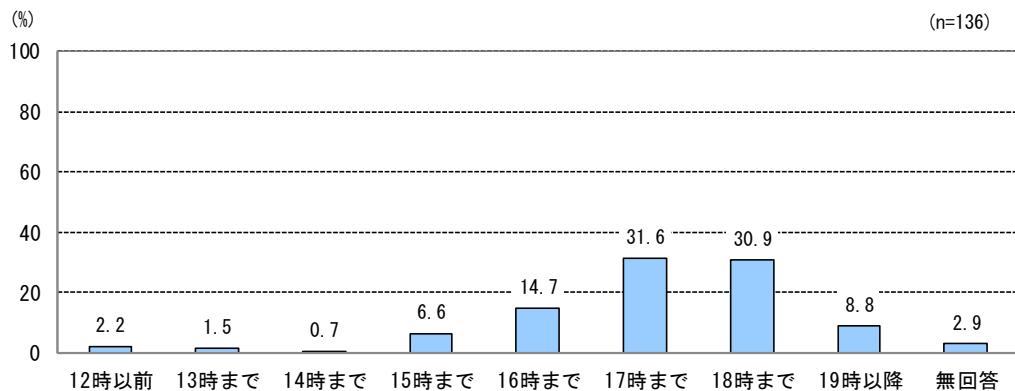


問27-1 (2) c 小学5年生以降の長期休暇期間中の留守家庭児童会の希望終了時間をお答えください。

【全体】

- 小学5年生以降の長期休暇期間中の留守家庭児童会の終了時間について、「17時まで」が31.6%で最も多く、次いで「18時まで」が30.9%、「16時まで」が14.7%となっています。

【小学5年生以降の長期休暇期間中の留守家庭児童会の終了時間】

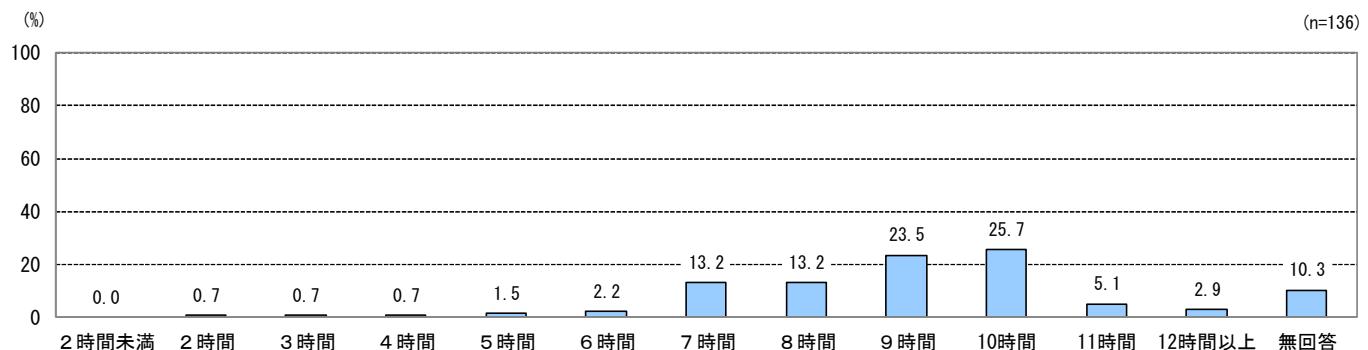


問27-1 (2) d 小学5年生以降の長期休暇期間中の留守家庭児童会の希望利用時間をお答えください。

【全体】

- 小学5年生以降の長期休暇期間中の留守家庭児童会の希望利用時間について、「10時間」が25.7%で最も多く、次いで「9時間」が23.5%、「7時間」「8時間」が13.2%となっています。

【小学5年生以降の長期休暇期間中の留守家庭児童会の希望利用時間】



6. お子さんの病気の際の対応について

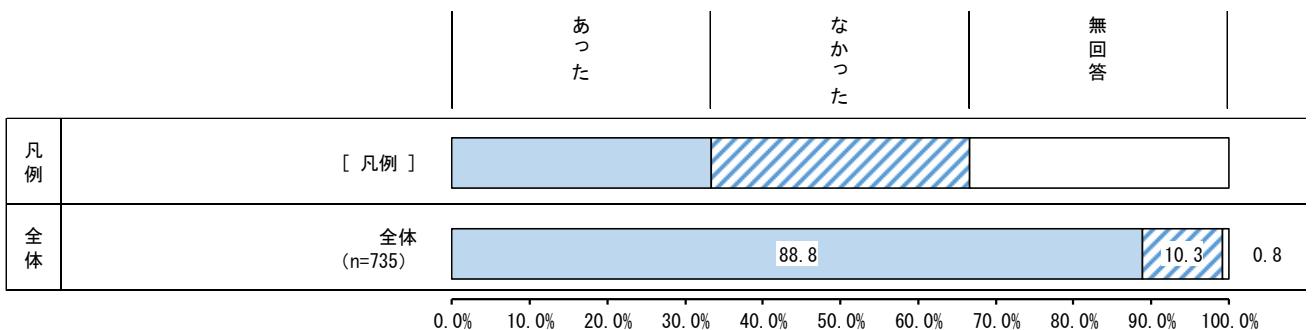
(1) お子さんの病気の際の対応

問28 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。

【全体】

- 病気やケガで学校を休んだことについて、「あった」が 88.8%、「なかった」が 10.3%となってい
ます。

【病気やケガで学校を休んだこと】

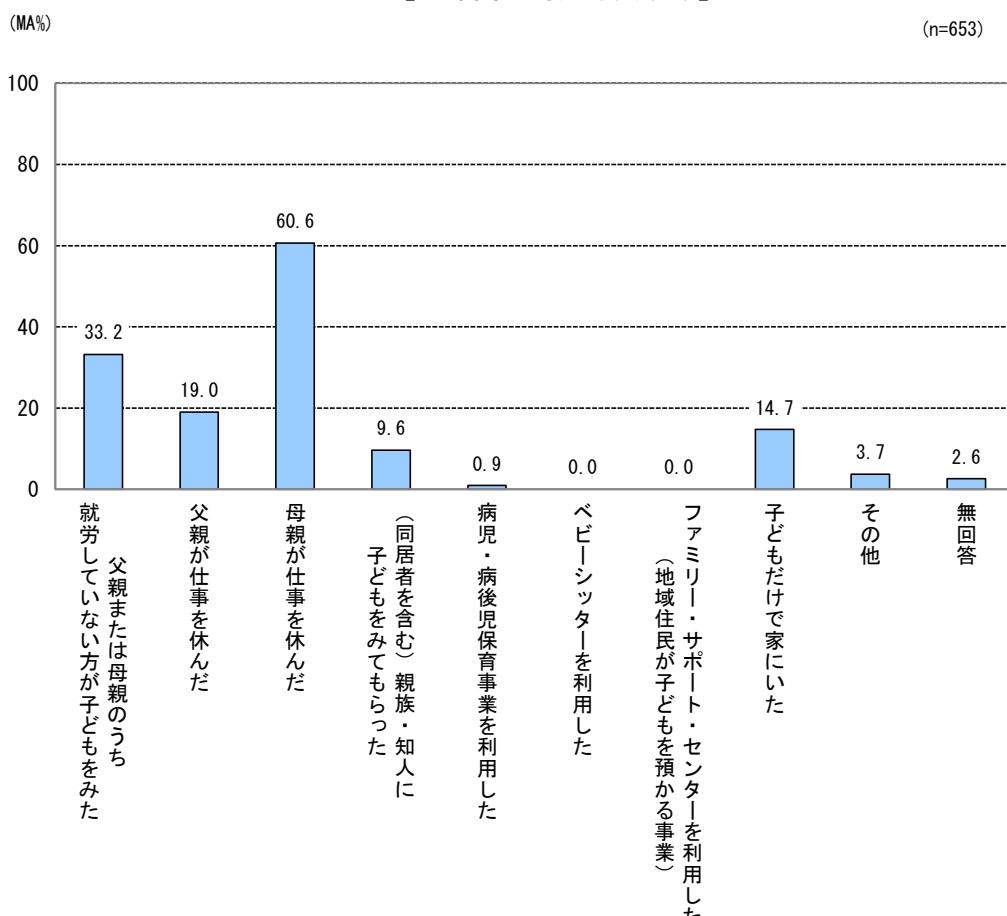


問28-1 (1) お子さんが病気やケガで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法をお答
えください。 (MA) (問28で「1. あった」を選んだ方)

【全体】

- 1年間の対処方法について、「母親が仕事を休んだ」が 60.6%で最も多く、次いで「父親または母
親のうち就労していない方が子どもをみた」が 33.2%、「父親が仕事を休んだ」が 19.0%となっ
ています。
- その他の内訳として、在宅勤務（17件）、片方の親が休みだった（2件）、父母が交互にみた（1
件）、親族が対応（1件）、覚えていない（1件）、仕事をしていなかった（1件）となっています。

【1年間の対処方法(MA)】

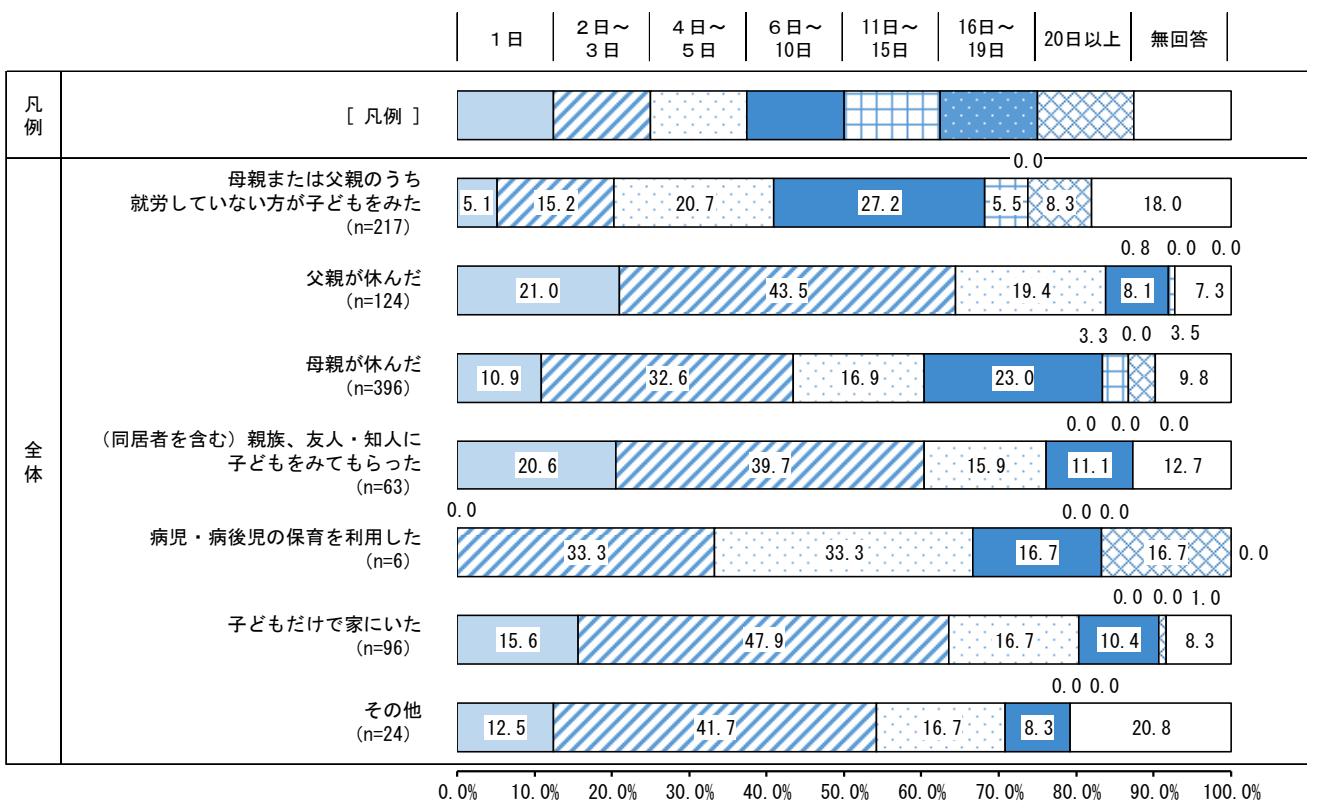


問28-1 (2) 1年間に行った対応の日数をお答えください。

【全体】

- 父親が休んだについて、「2日～3日」が43.5%と最も多くなっています。
- 母親が休んだについて、「2日～3日」が32.6%と最も多くなっています。

【1年間に行った対応の日数】

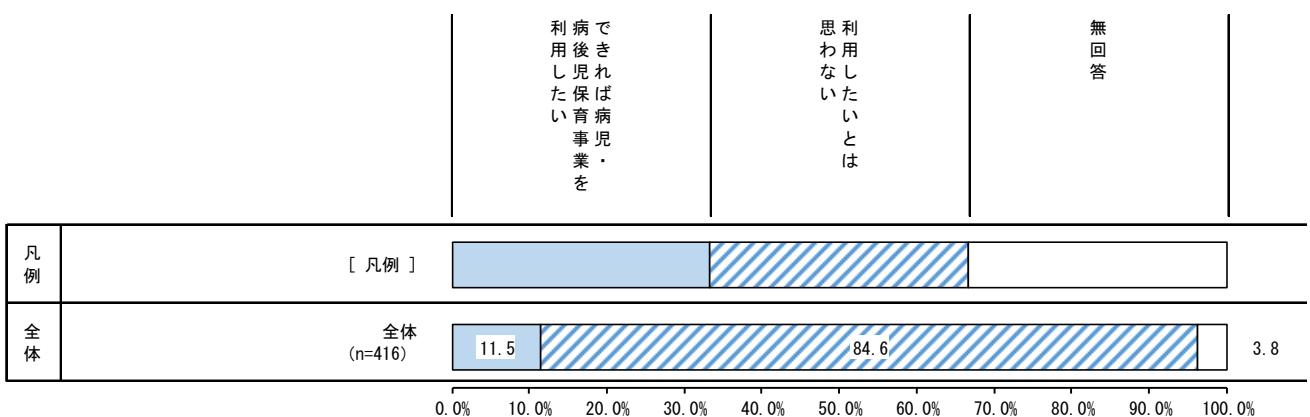


問28-2 その際、できれば病児・病後児保育事業を利用したいと思いましたか。(問28-1で「イ 父親が仕事を休んだ」または「ウ 母親が仕事を休んだ」のいずれかを選んだ方)

【全体】

- 病児・病後児保育事業の利用希望について、「できれば病児・病後児保育事業を利用したい」が11.5%、「利用したいとは思わない」が84.6%となっています。

【病児・病後児保育事業の利用希望】

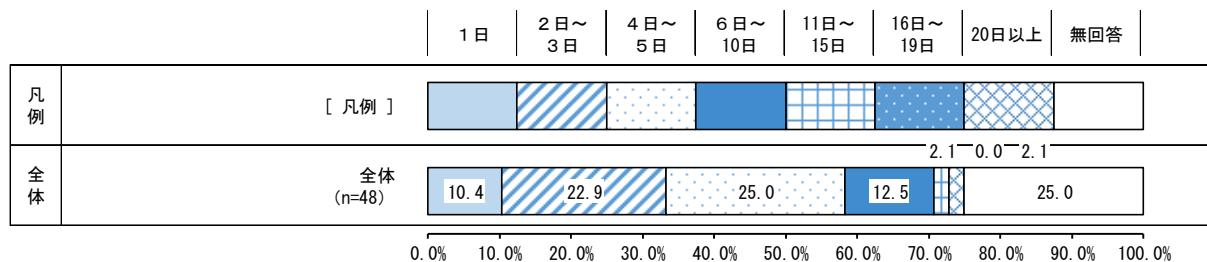


問28-2 (1) 病児・病後児保育施設等の利用希望日数をお答えください。

【全体】

- 病児・病後児保育施設等の利用希望日数について、「4日～5日」が25.0%で最も多く、次いで「2日～3日」が22.9%、「6日～10日」が12.5%となっています。

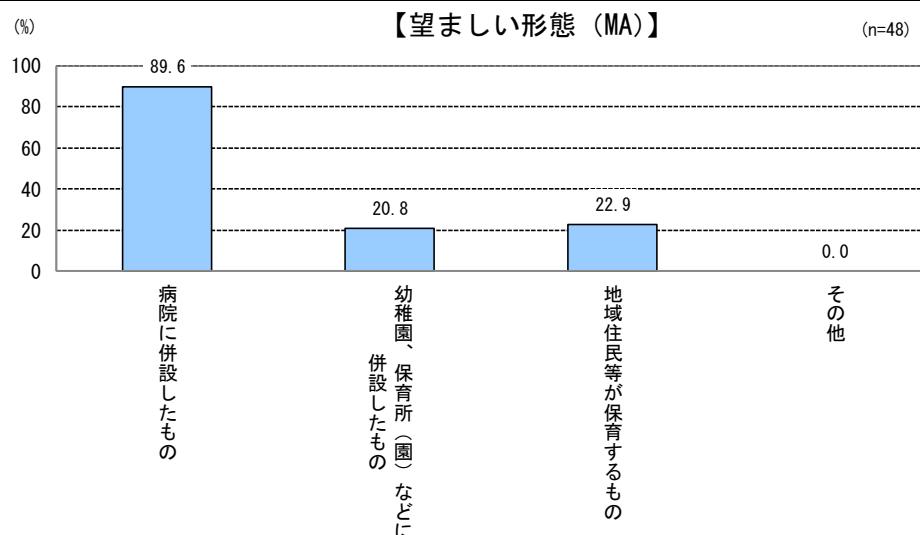
【病児・病後児保育施設等の利用希望日数】



問28-3 上記の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思いますか。(MA)
(問28-2で「1. できれば病児・病後児保育事業を利用したい」を選んだ方)

【全体】

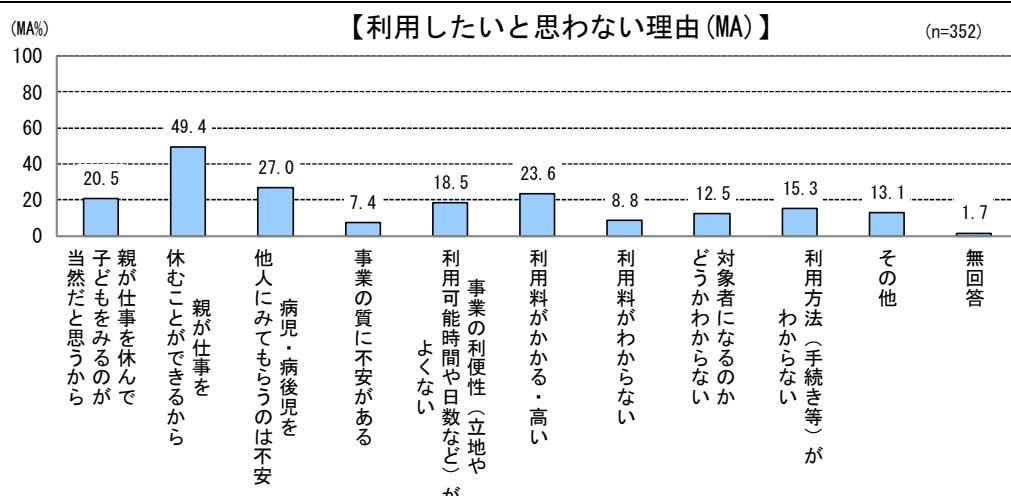
- 望ましい形態について、「病院に併設したもの」が89.6%で最も多く、次いで「地域住民等が保育するもの」が22.9%、「幼稚園、保育所（園）などに併設したもの」が20.8%となっています。



問28-4 利用したいと思わない理由についてお答えください。(MA) (問28-2で「2. 利用したいとは思わない」を選んだ方)

【全体】

- 利用したいと思わない理由について、「親が仕事を休むことができるから」が49.4%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が27.0%、「利用料がかかる・高い」が23.6%となっています。
- その他の内訳として、一緒にいてあげたい（12件）、不安・嫌がる（10件）、手続きに手間がかかる（8件）、病気・体調が悪化する可能性もあるから（8件）、送迎が難しい（6件）、在宅勤務（6件）、必要ない（5件）、就労時間との兼ね合い（2件）、小さい子がいるから（2件）、親が休む（1件）、施設の選択肢が少ない（1件）、利用できるならしている（1件）となっています。

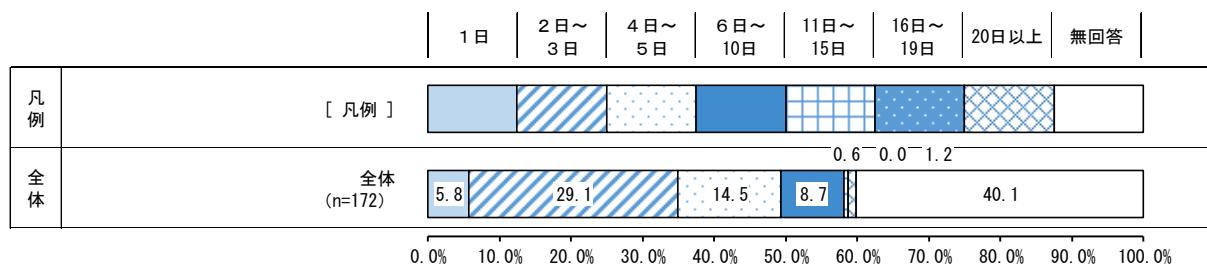


問28-5 できれば仕事を休んでみたい日数をお答えください。（問28-1で「エ.（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」から「ケ. その他」のいずれかを選んだ就労している方）

【全体】

- できれば仕事を休んでみたい日数について、「2～3日」が 29.1%で最も多く、次いで「4～5日」が 14.5%、「6日～10日」が 8.7%となっています。

【できれば仕事を休んでみたい日数】

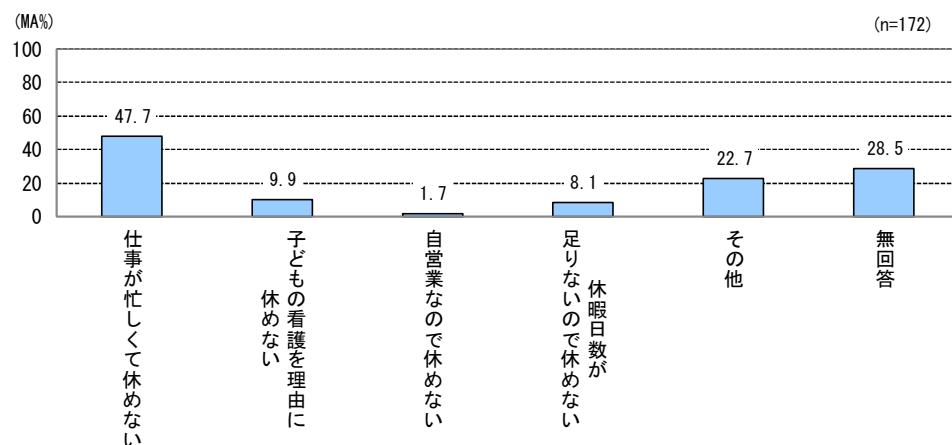


問28-6 休んでお子さんをみることができなかった理由についてお答えください。（MA）（問28-1で「エ.（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」から「ケ. その他」のいずれかを選んだ就労している方）

【全体】

- 休んでお子さんをみることができなかった理由について、「仕事が忙しくて休めない」が 47.7%で最も多く、次いで「その他」が 22.7%、「子どもの看護を理由に休めない」が 9.9%となっています。
- その他の内訳として、仕事（18 件）、収入減（8 件）、子どもが元気・留守番ができる（8 件）、在宅勤務（4 件）、親族が対応（3 件）となっています。

【休んでお子さんをみることができなかった理由 (MA)】



7. お子さんの不定期の事業利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

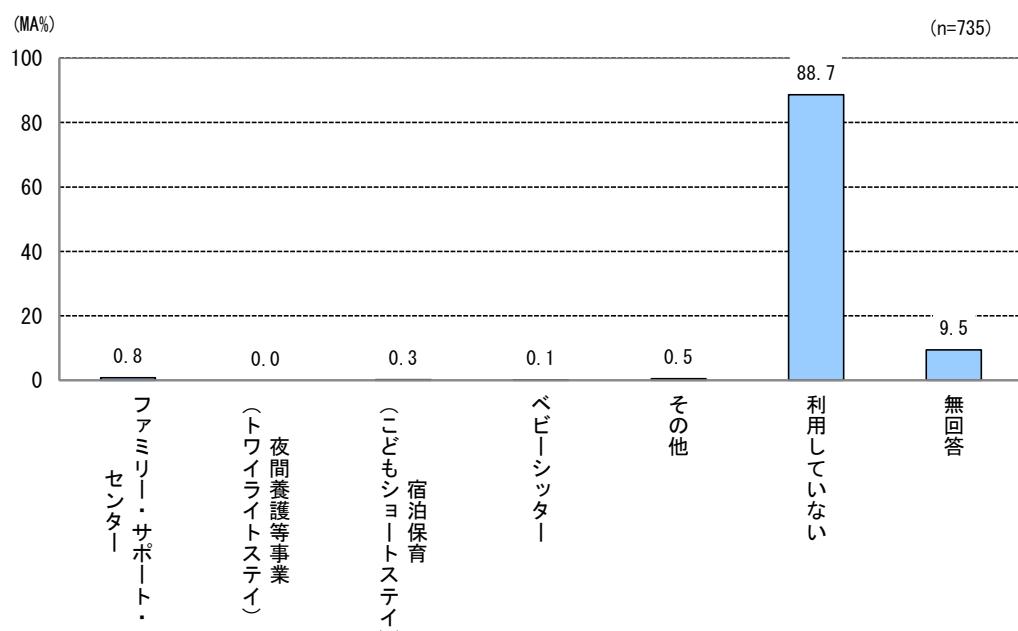
(1) 保護者の用事でみてもらう必要があった際の対応

問29 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）で不定期に利用している事業はありますか。（MA）

【全体】

- 利用している事業について、「利用していない」が 88.7%で最も多く、次いで「ファミリー・サポート・センター」が 0.8%、「その他」が 0.5%となっています。
- その他の内訳として、放課後デイサービスや学童保育などの意見も挙がっています。

【利用している事業(MA)】

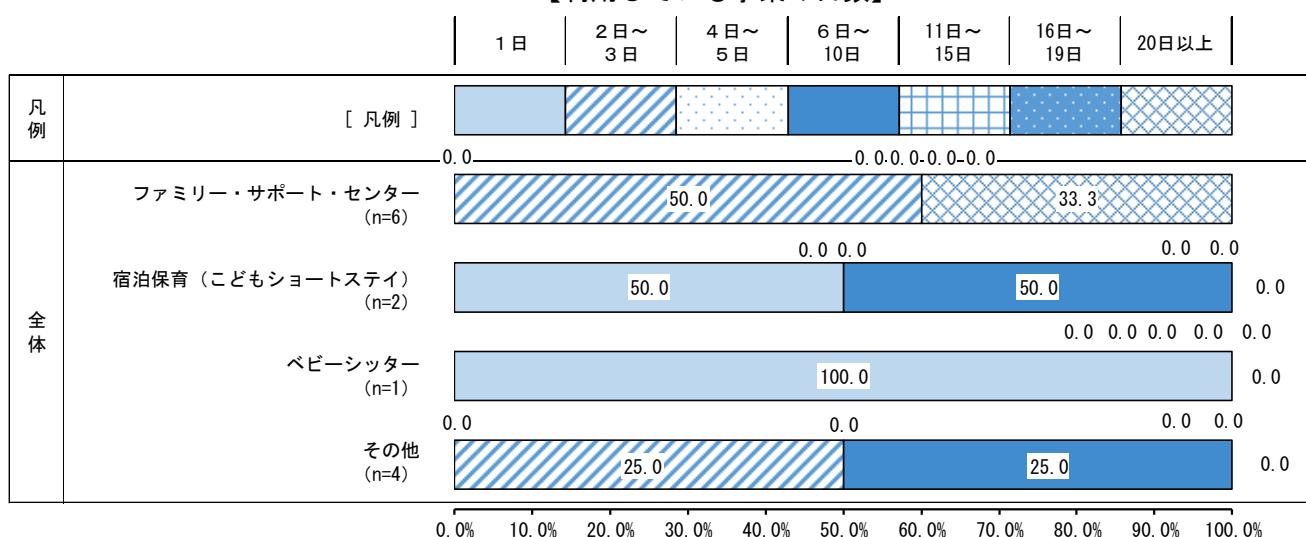


問29-1 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）で不定期に利用している事業のおおよその日数をお答えください。

【全体】

- 利用している事業の日数について、利用日数が長くなるにつれてファミリー・サポート・センターの利用が多くなる傾向がみられます。

【利用している事業の日数】

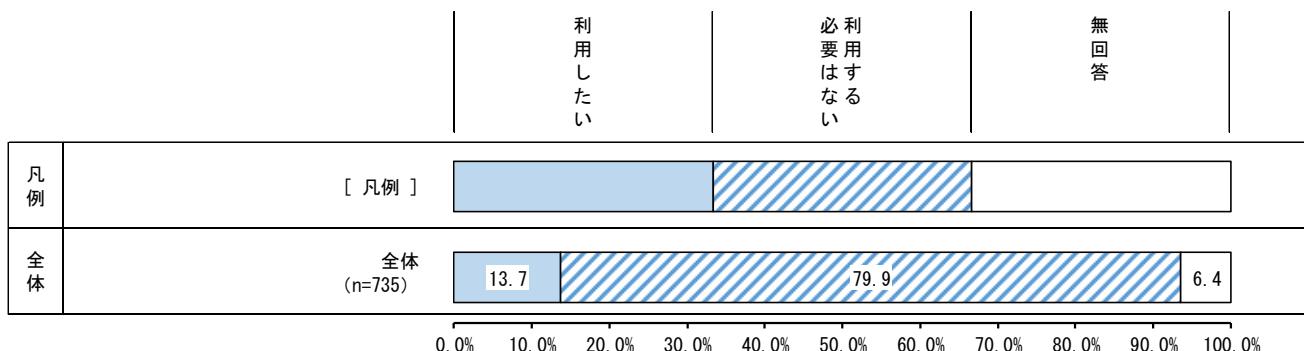


問30 お子さんについて、保護者の用事で、年間何日くらい不定期に事業を利用する必要があると思しますか。

【全体】

- 保護者の用事での事業の利用希望について、「利用したい」が 13.7%、「利用する必要はない」が 79.9%となっています。

【保護者の用事での事業の利用希望】

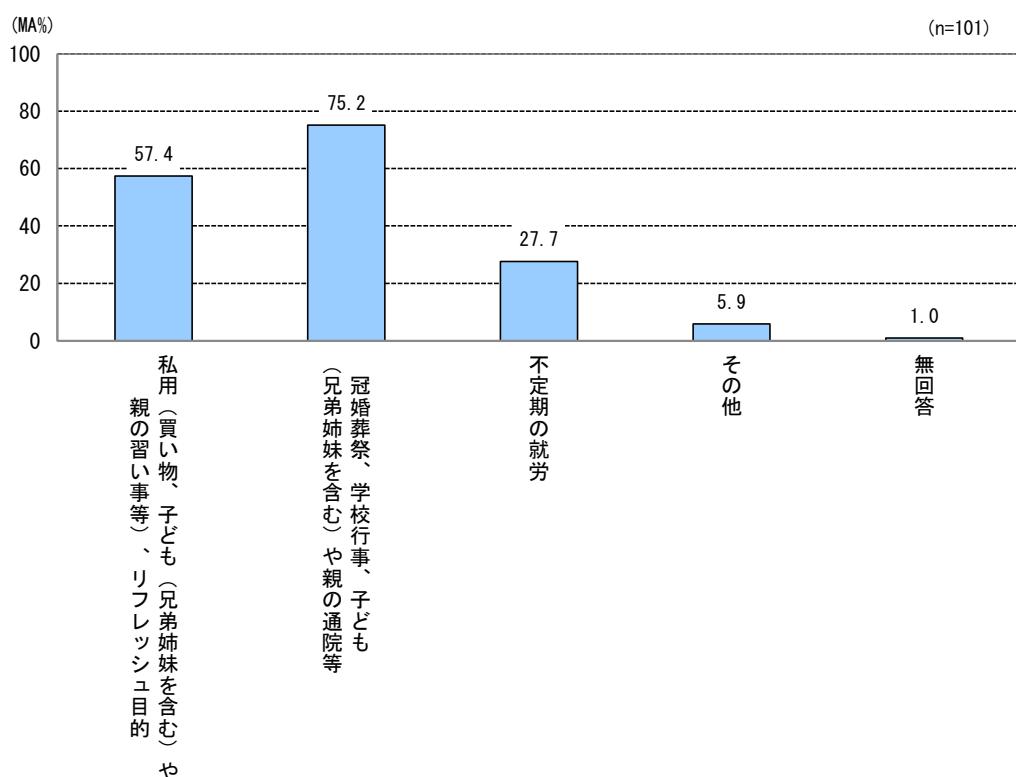


問30-1 利用したい目的をお答えください。 (MA)

【全体】

- 利用目的について、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 75.2%で最も多く、次いで「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 57.4%、「不定期の就労」が 27.7%となっています。
- その他の内訳として、PTA や残業、休養、出張などの意見も挙がっています。

【利用目的(MA)】

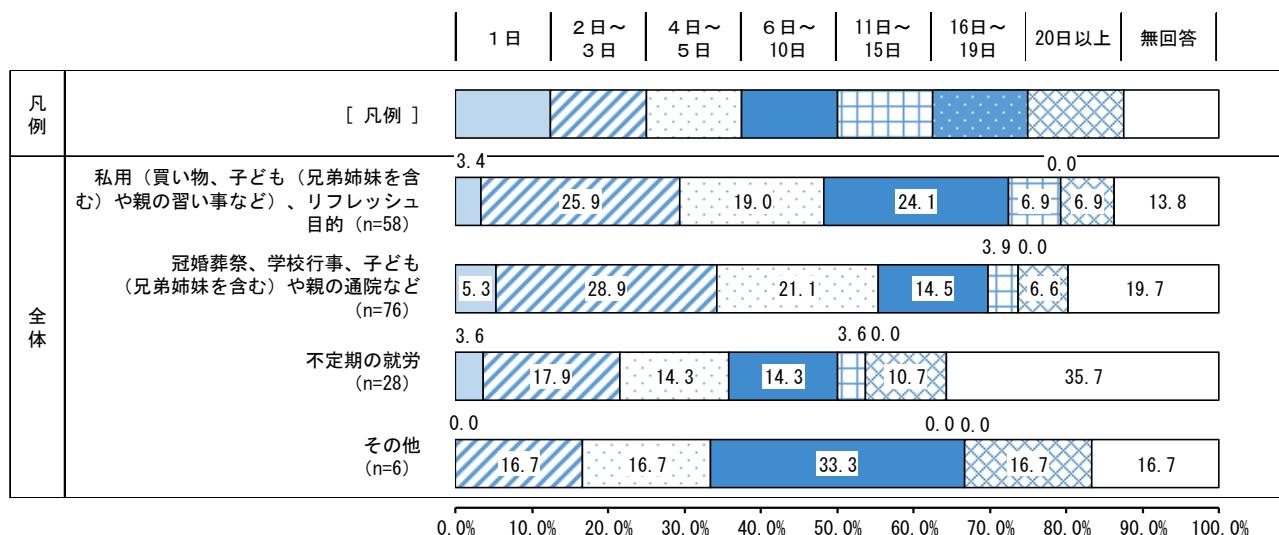


問30-2 目的別に不定期に事業を利用したい日数をお答えください。

【全体】

- 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的の日数について、「2日～3日」が25.9%で最も多く、次いで「6日～10日」が24.1%、「4日～5日」が19.0%となっています。

【不定期に事業を利用したい目的ごとの日数】

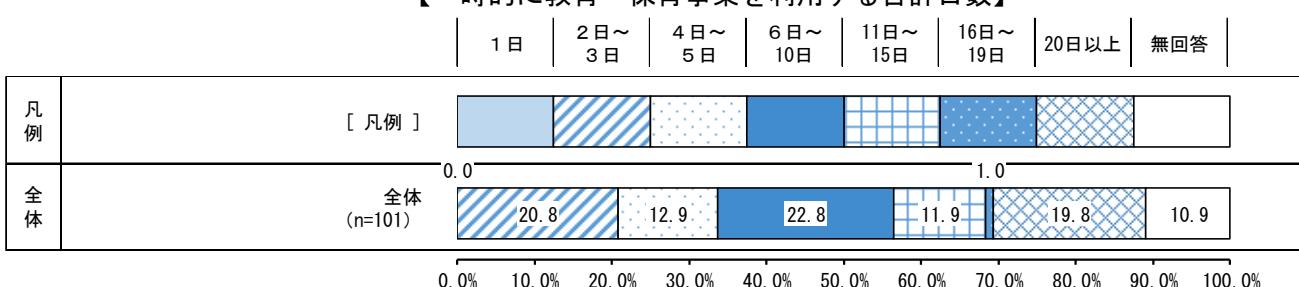


問30-3 一時的に教育・保育事業を利用する合計日数をお答えください。

【全体】

- 一時的に教育・保育事業を利用する合計日数について、「6日～10日」が22.8%で最も多く、次いで「2日～3日」が20.8%、「20日以上」が19.8%となっています。

【一時的に教育・保育事業を利用する合計日数】



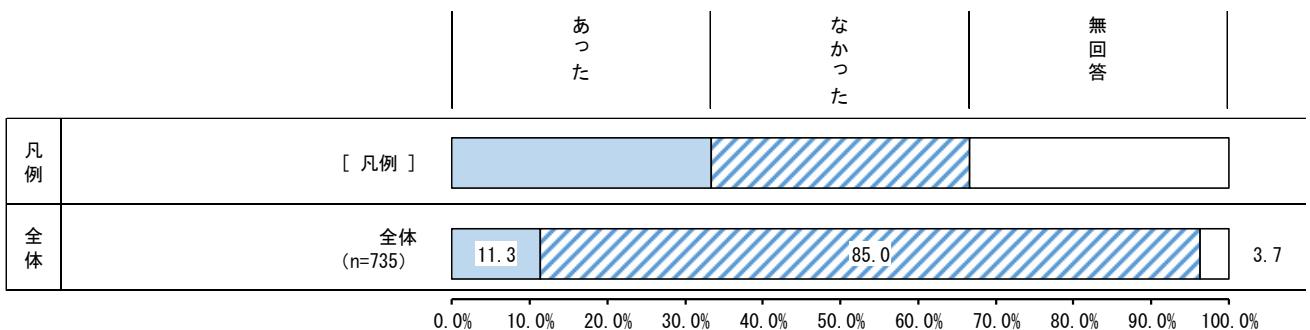
(2) 泊りがけでみてもらう必要があった際の対応

問31 この1年間に、保護者の用事により、お子さんを泊りがけで保護者以外にみてもらわなければならぬことはありましたか。

【全体】

- お子さんを泊りがけで保護者以外にみてもらわなければならぬことについて、「あった」が11.3%、「なかった」が85.0%となっています。

【お子さんを泊りがけで保護者以外にみてもらわなければならぬこと】

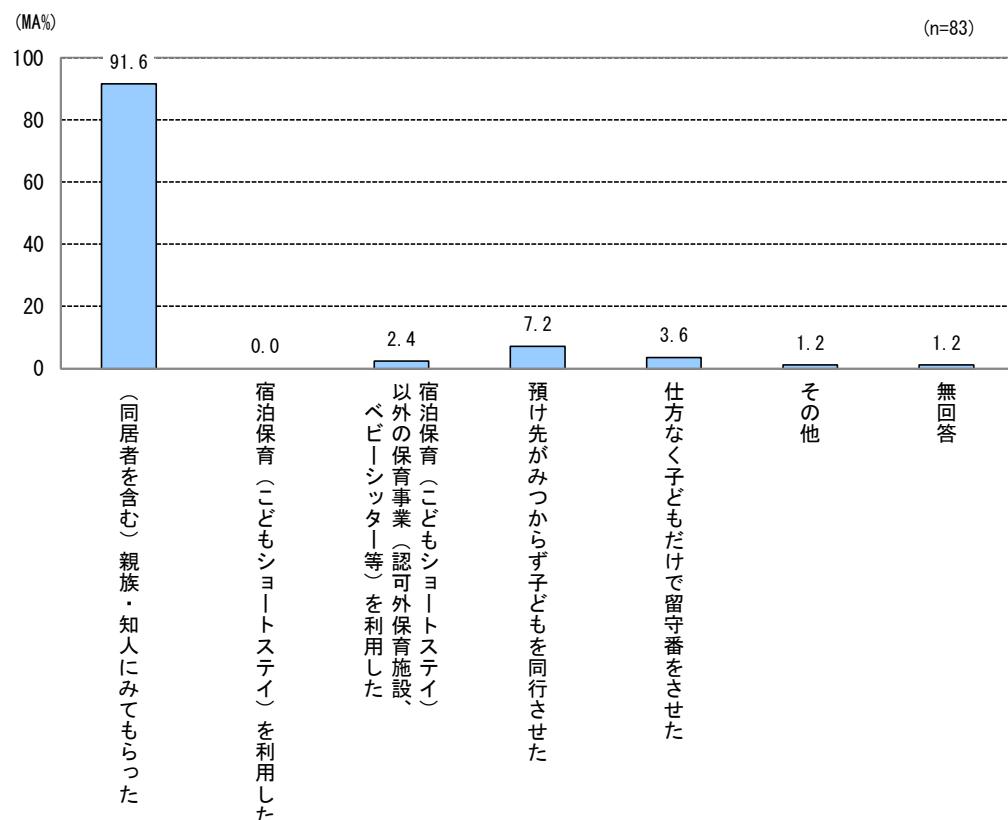


問31 (1) 1年間に行った対応をお答えください。(MA)

【全体】

- 1年間の対応について、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が91.6%で最も多く、次いで「預け先がみつからず子どもを同行させた」が7.2%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が3.6%となっています。

【1年間の対応(MA)】

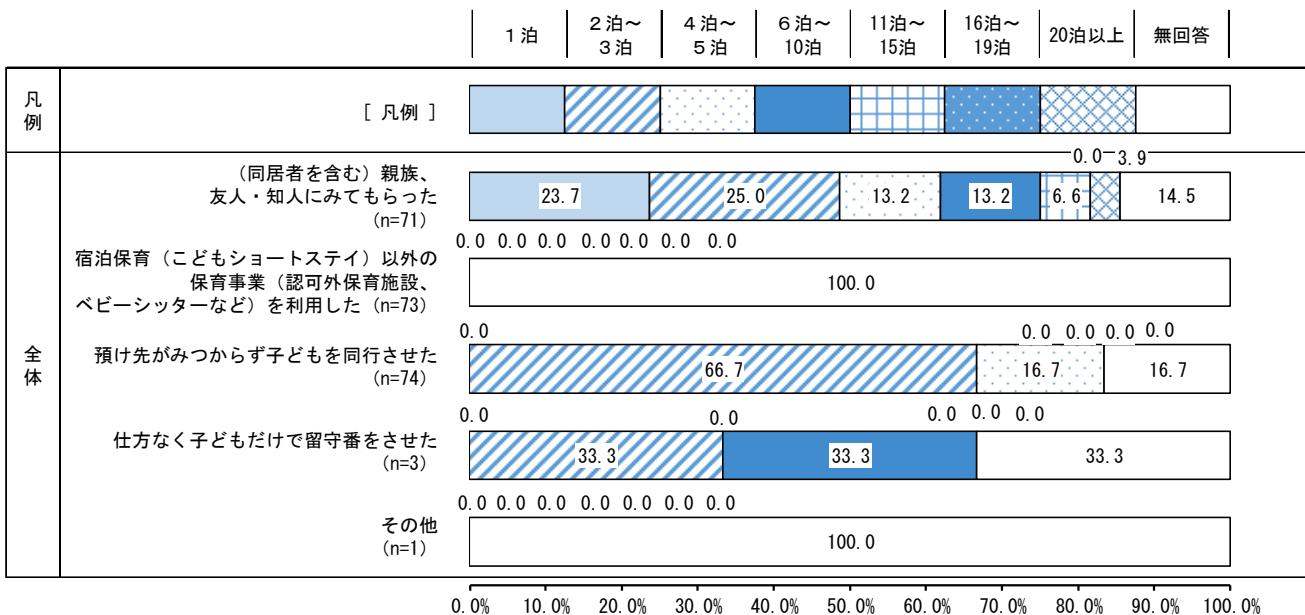


問31（2） 1年間に行った対応の泊数をお答えください。

【全体】

- (同居者を含む) 親族、友人・知人にみてもらったについて、「2泊～3泊」が 25.0%、1泊が 23.7%と多くなっています。
- 預け先がみつからず子どもを同行させたについて、「2泊～3泊」が 66.7%と最も多くなっています。

【1年間に行った対応の泊数】

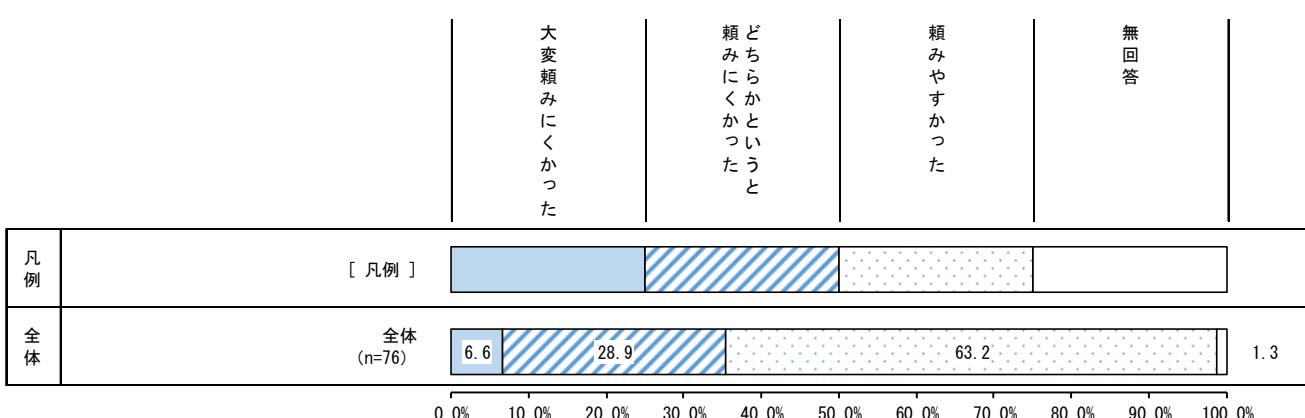


問31-1 (同居者を含む) 親族・知人に頼みやすかったですか。(問31で「1. あった」で「ア。(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」を選んだ方)

【全体】

- 頼みやすさについて、「頼みやすかった」が 63.2%で最も多く、次いで「どちらかというと頼みにくかった」が 28.9%、「大変頼みにくかった」が 6.6%となっています。

【頼みやすさ】

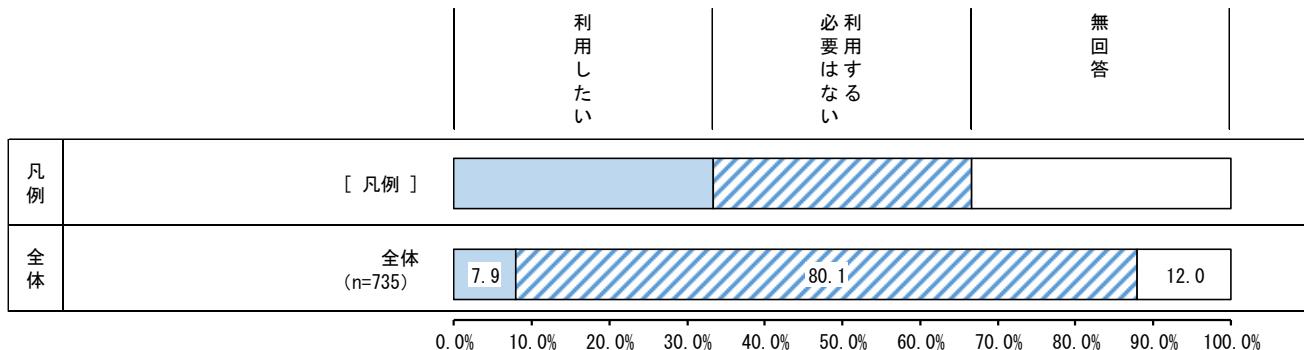


問31-2 保護者の用事により、宛名のお子さんを家族以外に泊りがけでみてもらう必要があるときに、宿泊保育（こどもショートステイ）を利用したいですか。

【全体】

- 宿泊保育（こどもショートステイ）の利用希望について、「利用したい」が 7.9%、「利用する必要はない」が 80.1%となっています。

【宿泊保育（こどもショートステイ）の利用希望】

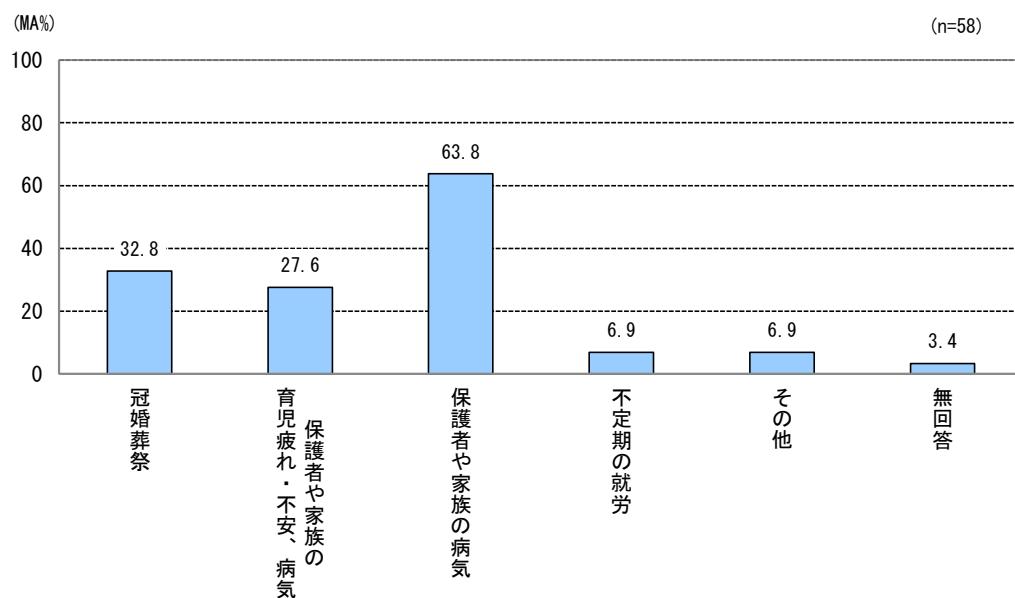


問31-2 (1) 宿泊保育（こどもショートステイ）を利用する目的をお答えください。 (MA)

【全体】

- 利用目的について、「保護者や家族の病気」が 63.8%で最も多く、次いで「冠婚葬祭」が 32.8%、「保護者や家族の育児疲れ・不安、病気」が 27.6%となっています。
- その他の内訳として、出張やきょうだいの入院、習い事などの意見も挙がっています。

【利用目的(MA)】

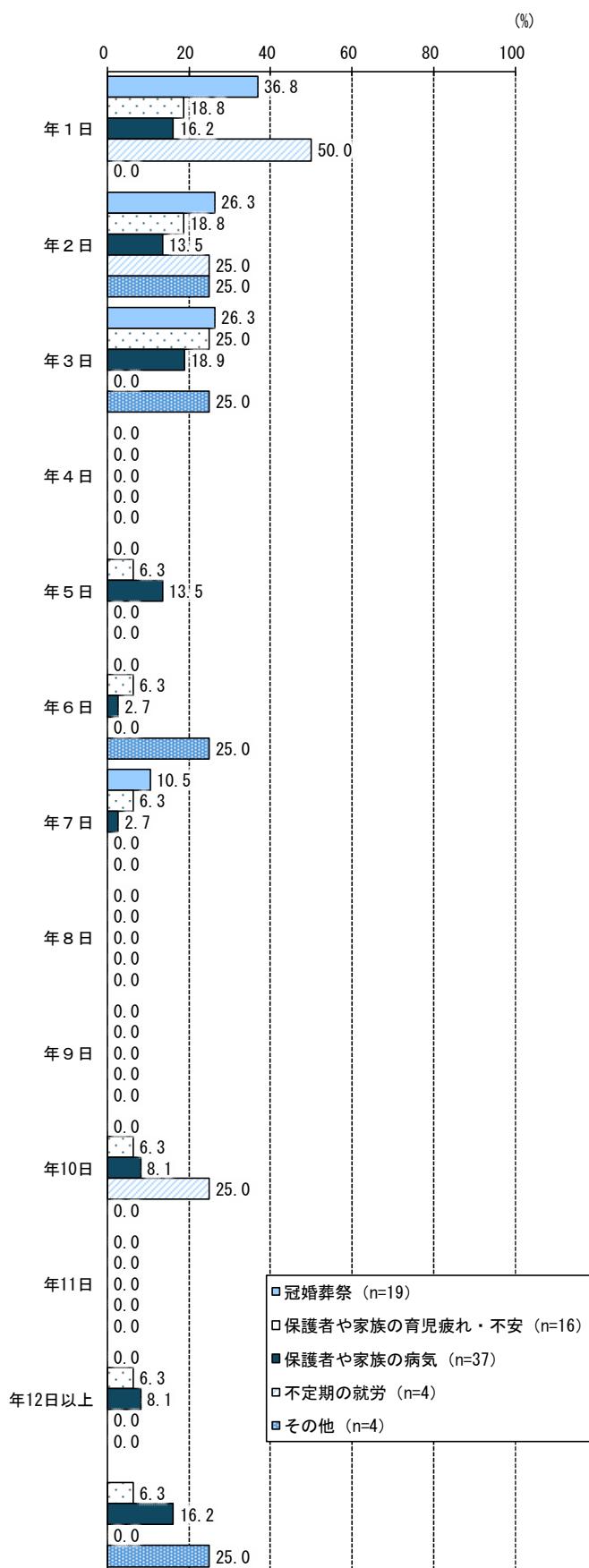


問31-2 (2) 目的別に宿泊保育（こどもショートステイ）を利用したい泊数（年間）をお答えください。(MA)

【全体】

○ 保護者や家族の育児疲れ・不安について、「年3日」が25.0%と多くなっています。

【利用したい1年間の泊数 (MA)】



8. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

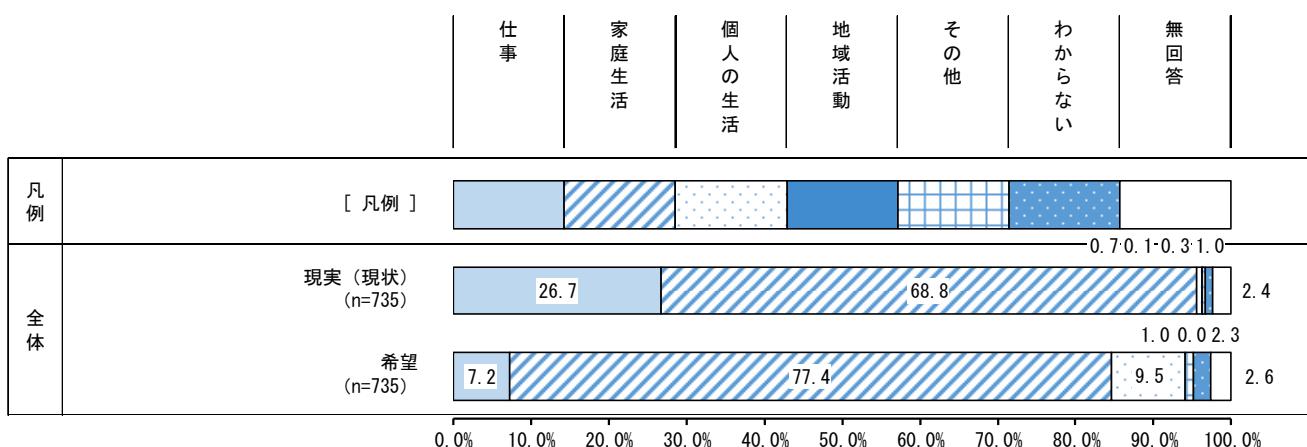
(1) 生活の優先順位

問32 生活の中での優先度について、あなたの現実（現状）として優先しているものと、あなたが優先したいもの（希望）をそれぞれお答えください。

【全体】

- 優先度について、現実（現状）、希望ともに「家庭生活」が最も多くなっています。次いで、現実（現状）は「仕事」が 26.7%、「わからない」が 1.0%となっているのに対し、希望は「個人の生活」が 9.5%、「仕事」が 7.2%となっています。
- その他の内訳として、仕事と家事・育児のバランスや趣味などの意見も挙がっています。

【優先度】

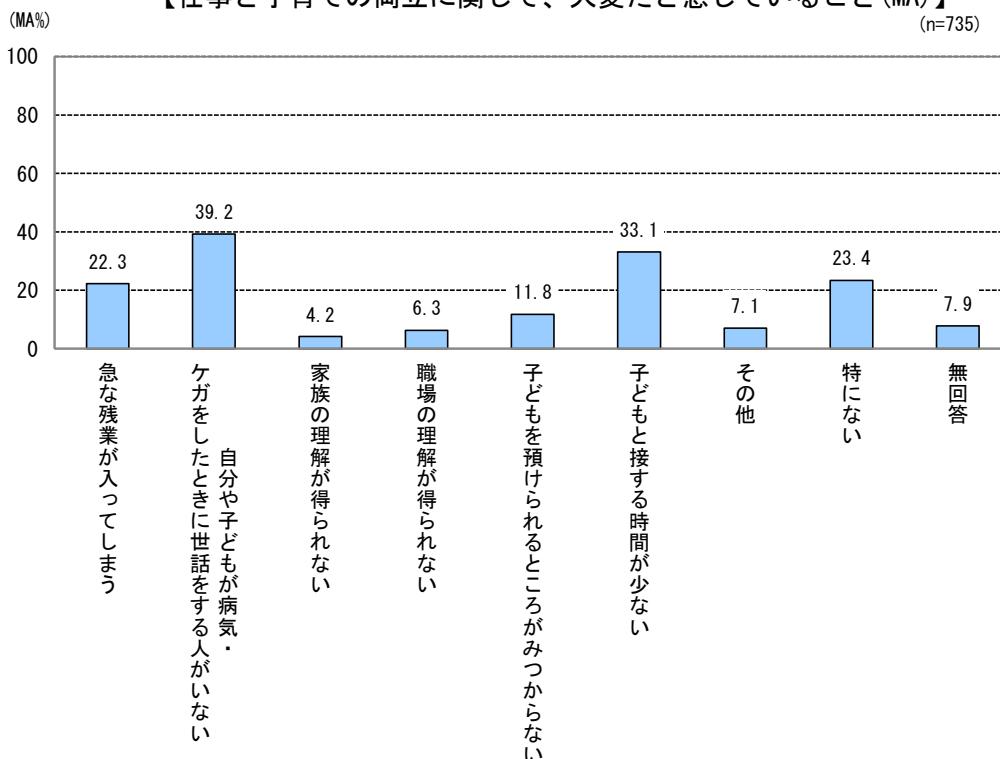


問33 仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じていることをお答えください。（MA）

【全体】

- 仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じていることについて、「自分や子どもが病気・ケガをしたときに世話をする人がいない」が 39.2%で最も多く、次いで「子どもと接する時間が少ない」が 33.1%、「特になし」が 23.4%となっています。
- その他の内訳として、仕事（17 件）、疲労（13 件）、すべて（4 件）、休む時間が少ない（4 件）、長期休暇の対応（4 件）、家事（3 件）、学校（1 件）、PTA（1 件）、病院（1 件）、発達に障がいのある子どもへの対応の難しさ（1 件）、両親の世話（1 件）、イベントへの対応（1 件）となっています。

【仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じていること（MA）】

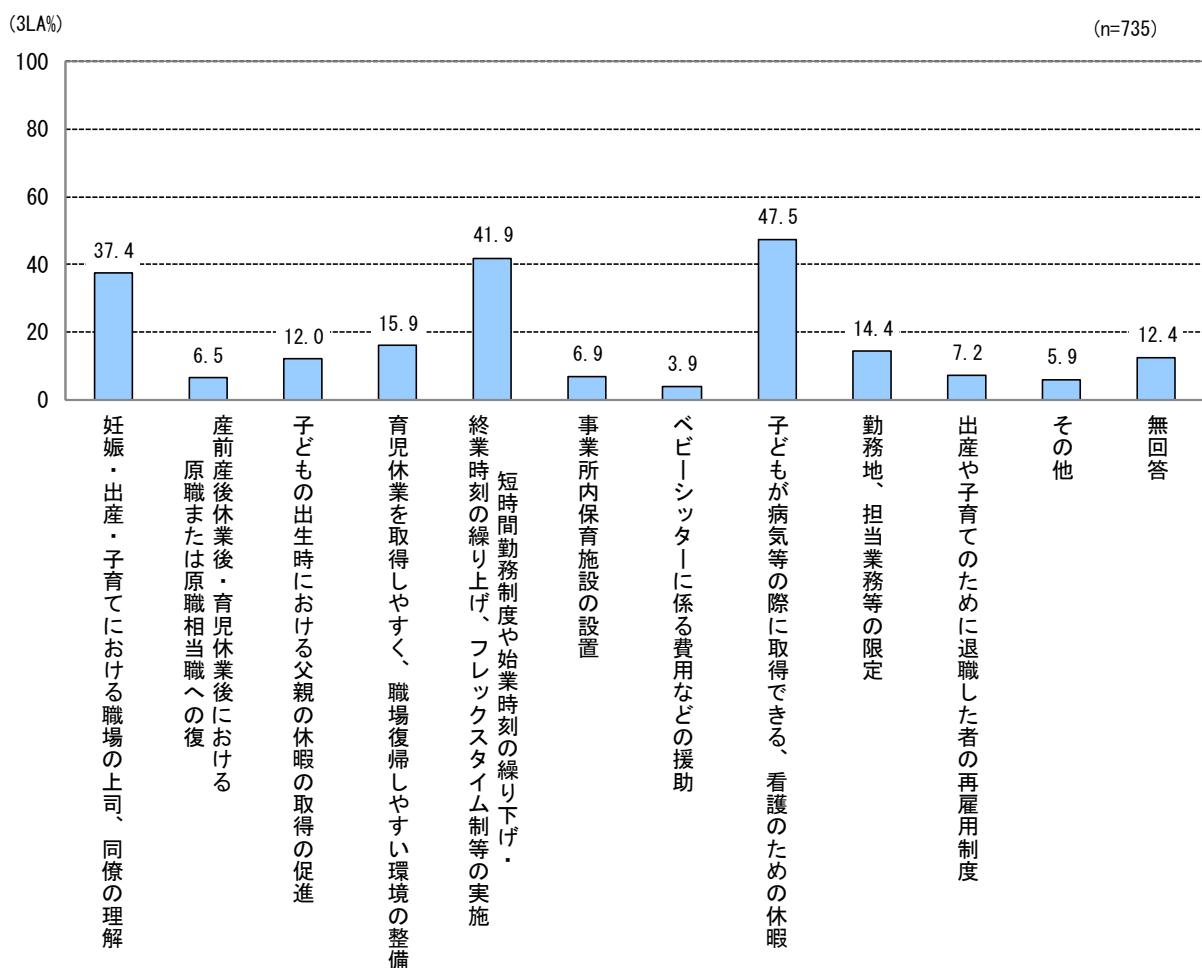


問34 仕事と子育てを両立するために、職場環境に求めることは何ですか。（3LA）

【全体】

- 仕事と子育てを両立するために職場環境に求めることについて、「子どもが病気等の際に取得できる、看護のための休暇」が47.5%で最も多く、次いで「短時間勤務制度や始業時刻の繰り下げ・終業時刻の繰り上げ、フレックスタイム制等の実施」が41.9%、「妊娠・出産・子育てにおける職場の上司、同僚の理解」が37.4%となっています。
- その他の意見として、休暇（6件）、意識改革（5件）、賃金向上・保障（4件）、在宅勤務（3件）、長期休暇時の対応（3件）、経済支援（3件）、人員確保（2件）、労働時間（2件）、自営業の職場環境（2件）、サービスの充実（1件）、周囲へのフォロー（1件）となっています。

【仕事と子育てを両立するために職場環境に求めること（3LA）】



9. 子育てのストレスについて

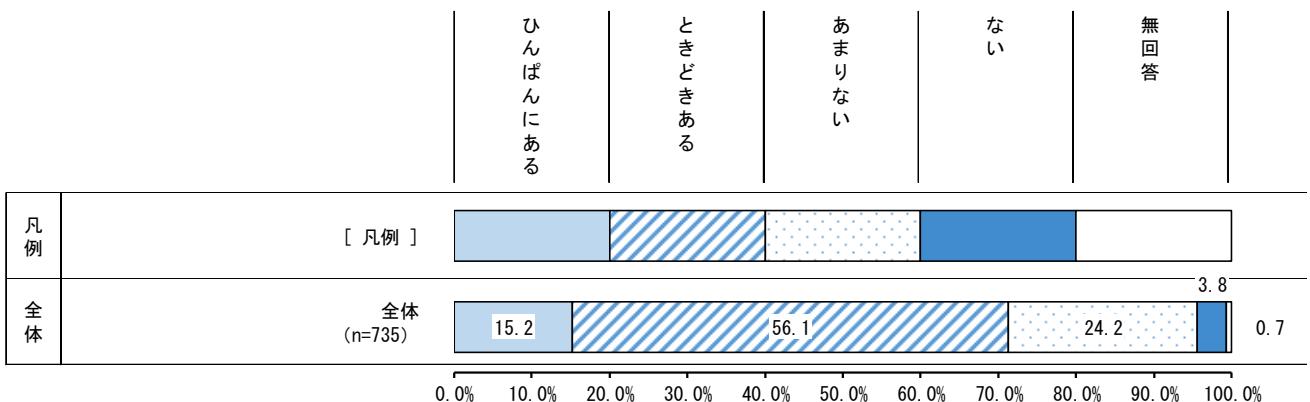
(1) 子育てへのストレス

問35 子育てにストレスを感じることがありますか。

【全体】

- 子育てにストレスを感じことがあるかについて、「ときどきある」が 56.1%で最も多く、次いで「あまりない」が 24.2%、「ひんぱんにある」が 15.2%となっています。
- 「ひんぱんにある」「ときどきある」を合わせた“ストレスを感じる人”は 71.3%となっています。

【子育てにストレスを感じることがあるか】

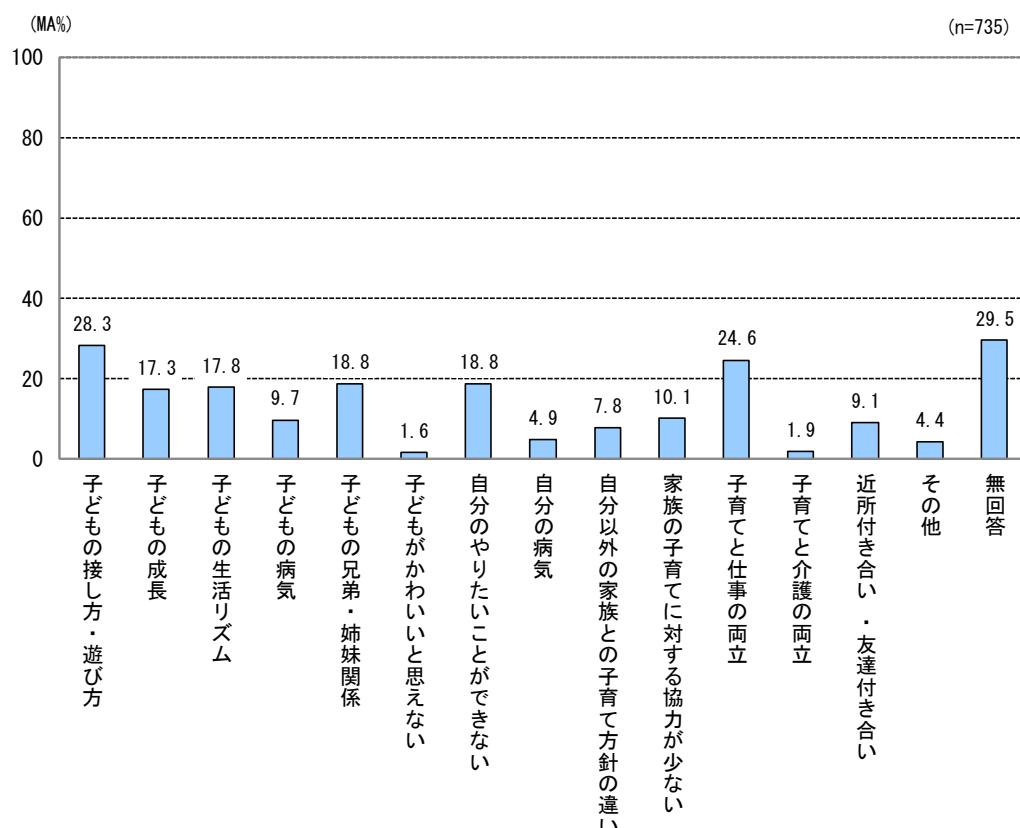


問35-1 ストレスを感じる時はどんな時や、どんなことですか。 (MA) (問35で「1. ひんぱんにある」「2. ときどきある」を選んだ方)

【全体】

- どんな時や、どんなことについて、「子どもの接し方・遊び方」が 28.3%で最も多く、次いで「子育てと仕事の両立」が 24.6%、「子どもの兄弟・姉妹関係」「自分のやりたいことができない」が 18.8%となっています。
- その他の内訳として、家族関係・親子関係（6件）、家事（5件）、学業（4件）、思春期・反抗期（3件）、発達（3件）、忙しさ（3件）、疲労（3件）、学校（2件）、子どもの友人関係（1件）、将来（1件）、ゲーム（1件）、仕事（1件）、すべきことをしないとき（1件）となっています。

【どんな時や、どんなこと(MA)】



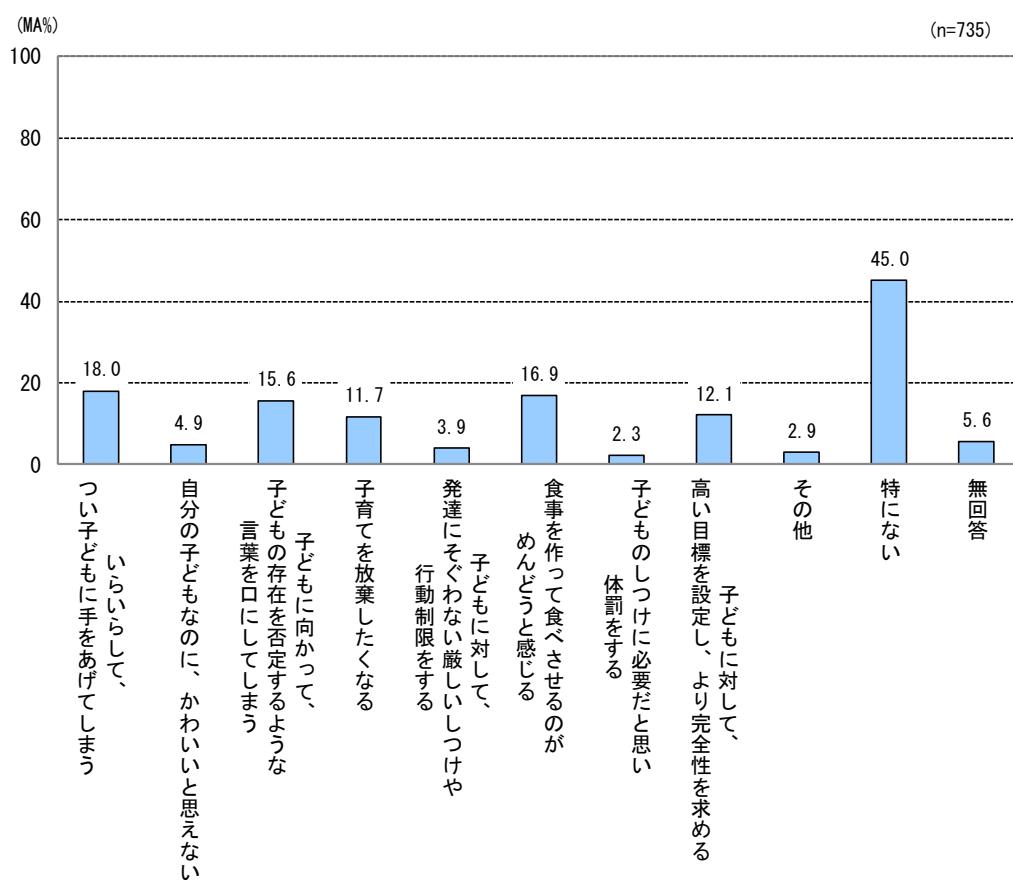
(2) 虐待や不安に感じること

問36 あなたを含め、家族の誰かが、次のようなことをしたことがありますか。(MA)

【全体】

- あなたを含め、家族の誰かが、次のようなことをしたことがあるかについて、「特にない」が45.0%で最も多く、次いで「いらいらして、つい子どもに手をあげてしまう」が18.0%、「食事を作って食べさせるのがめんどうと感じる」が16.9%となっています。
- その他の内訳として、不機嫌・不適な発言(8件)、叱る(8件)、家事の押し付け(3件)、無視(1件)、学校からの連絡(1件)、習い事をやめさせた(1件)、完璧を求める(1件)となってています。

【あなたを含め、家族の誰かが、次のようなことをしたことがあるか(MA)】

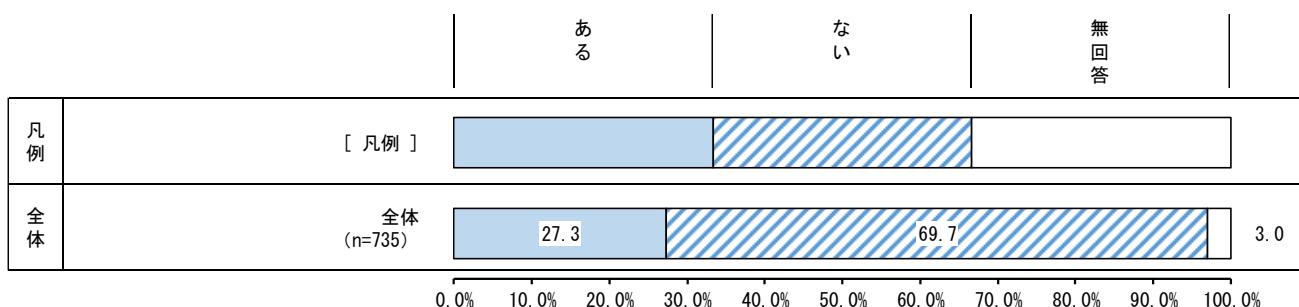


問37 あなた自身が、子どもの頃に保護者から問36のような行為を受けたことがありますか。

【全体】

- 子どもの頃に保護者から問36のような行為を受けたことがあるかについて、「ある」が27.3%、「ない」が69.7%となっています。

【子どもの頃に保護者から問36のような行為を受けたことがあるか】

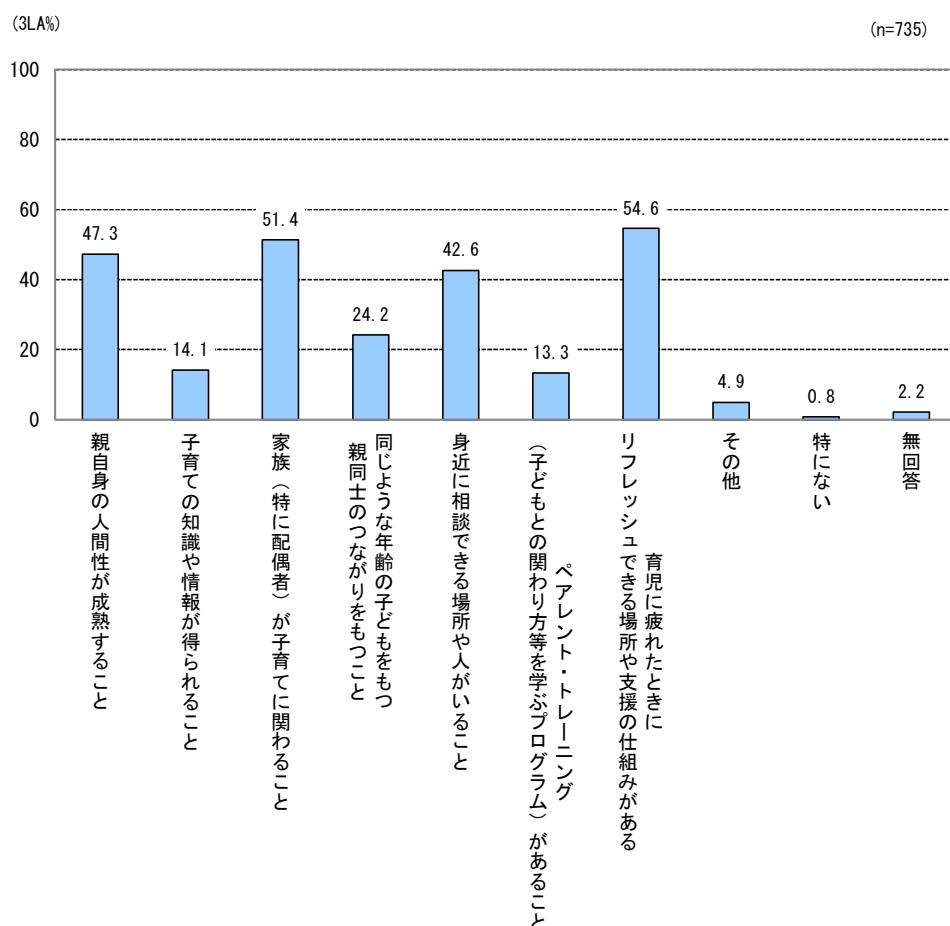


問38 子どもの虐待を防止するために、何が必要だと思いますか。（3LA）

【全体】

- 子どもの虐待防止のために必要だと思うことについて、「育児に疲れたときにリフレッシュできる場所や支援の仕組みがある」が 54.6%で最も多く、次いで「家族（特に配偶者）が子育てにかかわること」が 51.4%、「親自身の人間性が成熟すること」が 47.3%となっています。
- その他の内訳として、経済的支援（13 件）、精神的ゆとり（6 件）、子供から離れる環境（3 件）、学校との連携（3 件）、社会全体の意識（3 件）、時間的余裕（3 件）、仕事の休暇（2 件）、対応してくれる機関（2 件）、教育（1 件）、仕事と育児を両立できる環境（1 件）、親の自己肯定感（1 件）、食事を与える環境（1 件）、社会保険料の負担減（1 件）となっています。

【子どもの虐待防止のために必要だと思うこと（3LA）】

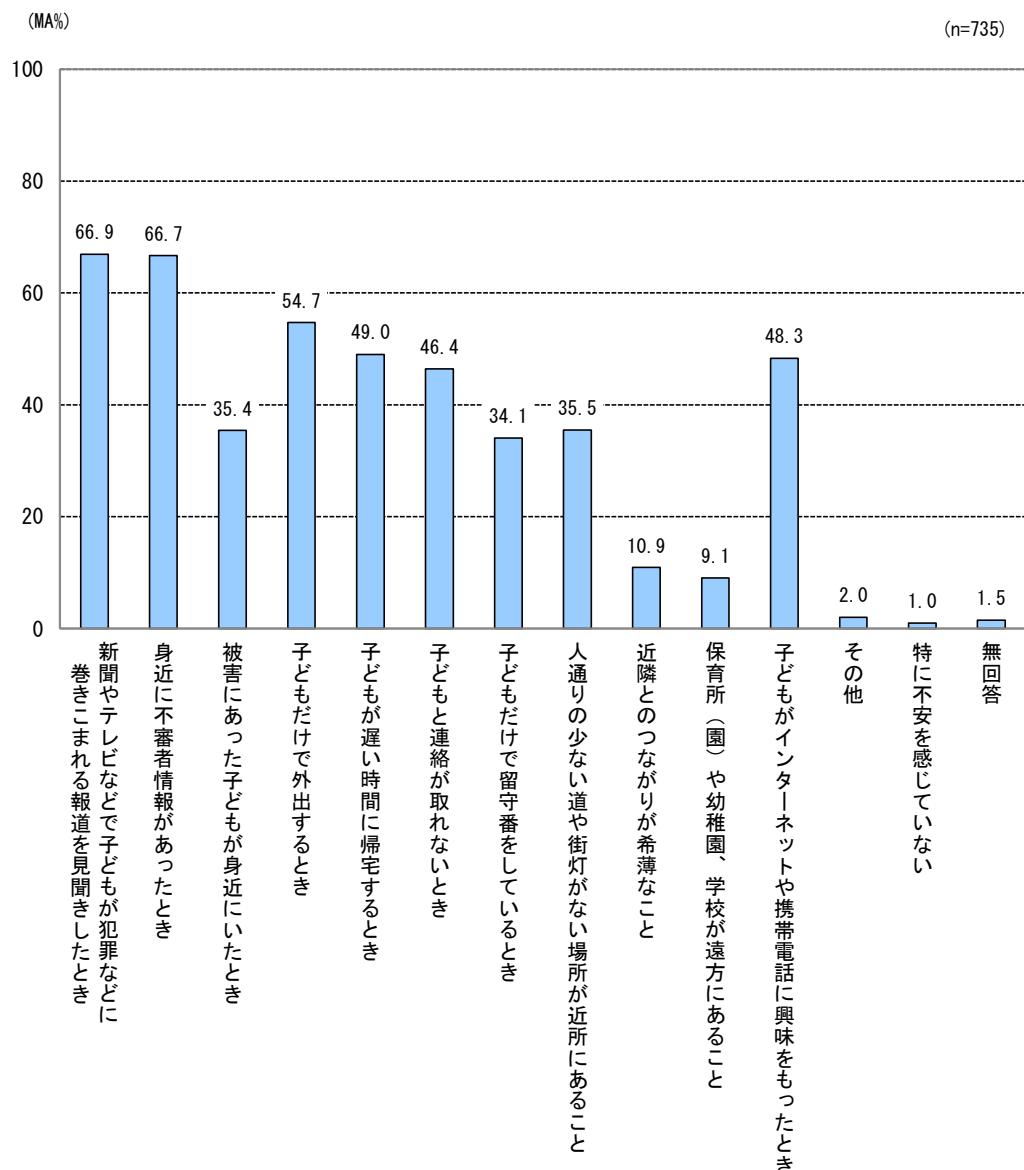


問39 あなたは、どのようなことで子どもの安心・安全がおびやかされるのではないかと不安に感じますか。 (MA)

【全体】

- 子どもの安心・安全がおびやかされるのではないかと不安に感じることについて、「新聞やテレビなどで子どもが犯罪などに巻きこまれる報道を見聞きしたとき」が 66.9%で最も多く、次いで「身近に不審者情報があったとき」が 66.7%、「子どもだけで外出するとき」が 54.7%となってています。
- その他の内訳として、道路・交通（3件）、災害・戦争（3件）、電子機器（2件）、インターネット（2件）、防犯（2件）、食の安全（1件）、LGBT（1件）、暴力（1件）となっています。

【子どもの安心・安全がおびやかされるのではないかと不安に感じること(MA)】



10. 子育て支援対策の全般について

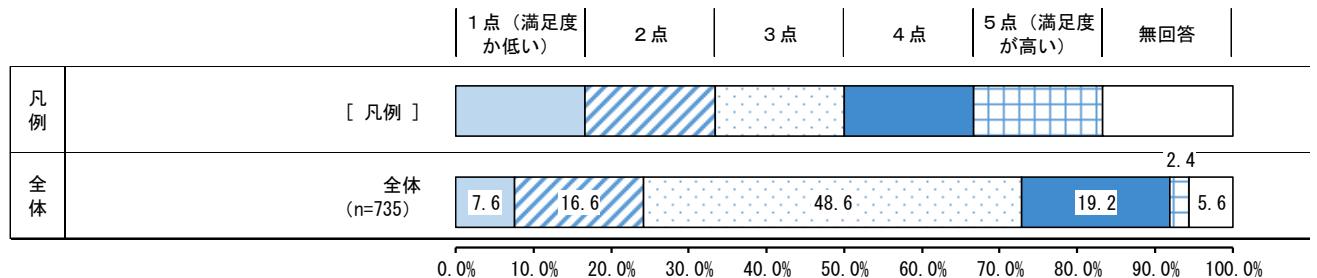
(1) 子育て支援

問40 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。

【全体】

- お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、「3点」が48.6%で最も多く、次いで「4点」が19.2%、「2点」が16.6%となっています。

【お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度】



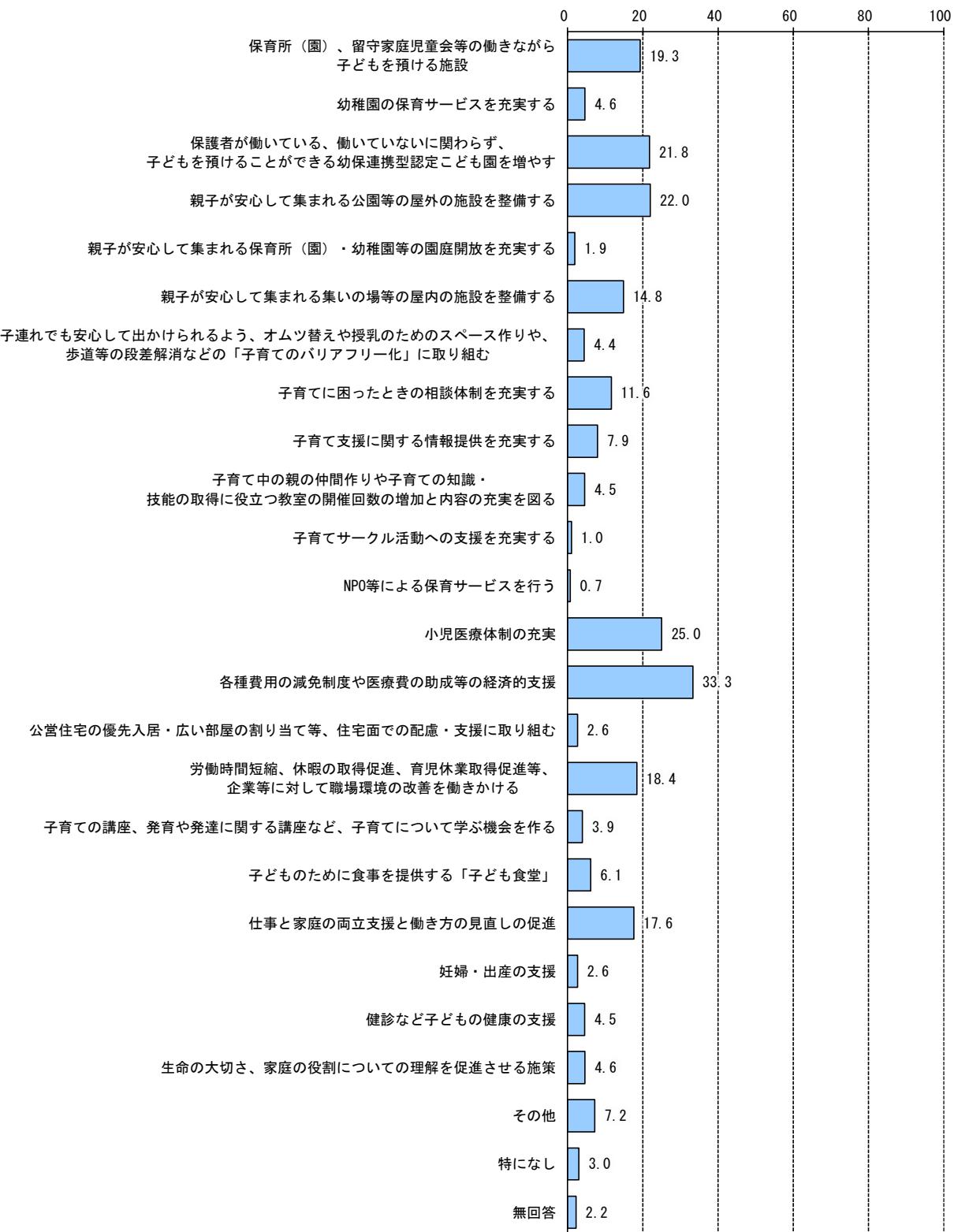
問41 あなたにとって望ましい子育て支援施策は何ですか。（3LA）

【全体】

- 望ましい子育て支援施策について、「各種費用の減免制度や医療費の助成等の経済的支援」が33.3%で最も多く、次いで「小児医療体制の充実」が25.0%、「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」が22.0%となっています。
- その他の内訳として、経済的支援（14件）、学校・教育の環境整備（11件）、育児・保育（11件）、道路・通学路の整備（7件）、子どもが遊ぶ・集まれる場所の充実（3件）防犯対策（2件）、駐車場の確保（2件）、行事・イベントの充実（2件）、医療（2件）、発達に不安がある子どもに関すること（2件）となっています。また、家事、知識、地域、保護者の負担減（PTAなど）、保育士の待遇、助産師の活躍、保護者の環境、放置子の対策などの意見も挙がっています。

【望ましい子育て支援施策（3LA）】

(n=735) (3LA%)

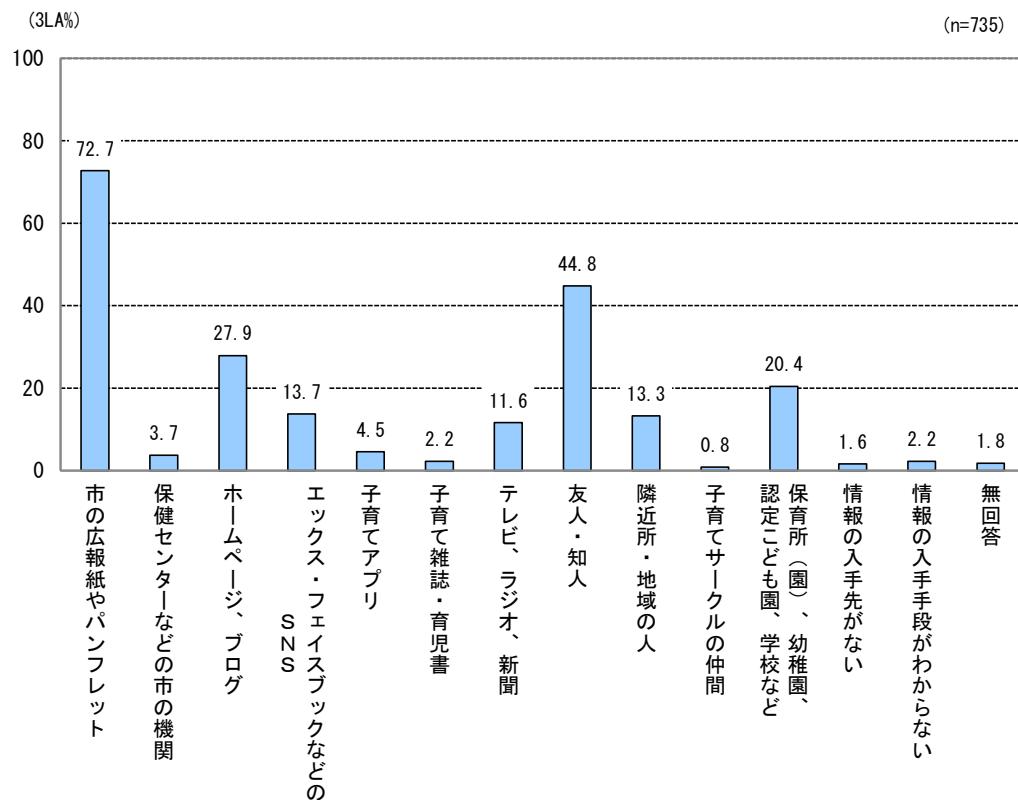


問42 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手していますか。(3LA)

【全体】

- 子育てに必要な施策などの情報の入手先について、「市の広報紙やパンフレット」が 72.7%で最も多く、次いで「友人・知人」が 44.8%、「ホームページ、ブログ」が 27.9%となっています。

【子育てに必要な施策などの情報の入手先(3LA)】

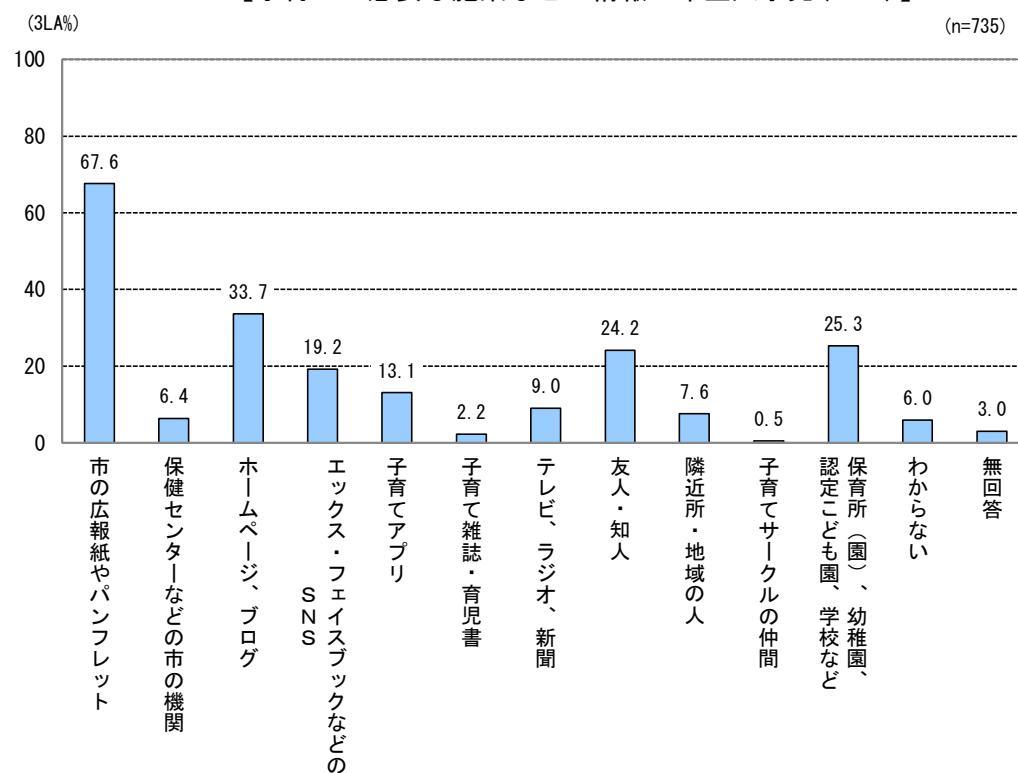


問43 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手したいですか。(3LA)

【全体】

- 子育てに必要な施策などの情報の希望入手先について、「市の広報紙やパンフレット」が 67.6%で最も多く、次いで「ホームページ、ブログ」が 33.7%、「保育所（園）、幼稚園、認定こども園、学校など」が 25.3%となっています。

【子育てに必要な施策などの情報の希望入手先(3LA)】



問44 教育・保育環境の充実など、子育て支援全般について、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

【全体】

- 子育て支援全般のご意見の分類について、学校・教育（94件）、経済的支援・補助（65件）、公園・市内施設（46件）、学童・留守家庭児童会（37件）、交通安全（31件）、防犯・防災（20件）、給食・お弁当（19件）、子育て・保育（18件）、医療・病児保育（16件）、地域行事・イベント（15件）、仕事・職場（12件）、アンケート（12件）、子どもの預け先（11件）、広報（10件）、相談体制（9件）、市政（8件）となっています。

III 調査結果からの分析

1. ご家族の生活状況について

生活の状況について、約5割の家庭が普通と感じているものの、約4割の家庭は苦しい（「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた割合）と感じています。また、この一年間に家計のやりくりができないことがあったと回答しています。

「悩みや不安を感じていることについては、約4分の1は特に困っていることはないと回答したもの、「子どもの教育（進学）やしつけのことで困っている」「経済的に困っている」状況です。このような状況から、最も必要とされている支援は「生活や就学のための経済的補助」であり、次いで「保護者が家にいないときの子どもの預かりサービス」や「子どもが仲間と交流できる場所の提供」が求められています。

2. お子さんの育ちをめぐる状況について

子育てに最も影響を与える環境は、家庭、小学校と回答した人が多く、地域も重要とされています。

緊急時には祖父母等の親族が子どもをみてくれる家庭が多いものの、身体的な負担をかけることを心配されていることがうかがえます。また、友人や知人も協力してくれることもありますが、心苦しさを感じる親もいます。

子育てを楽しんでいる親が多い一方で、教育費やしつけ、子育ての出費に関する悩みが多くあります。相談相手としては友人や知人、配偶者が多くなっています。

子育てで重視する点は他人の立場に立つことや、お金やものを大切にすること、子どもの個性を伸ばすことが多く挙がっています。学校に期待することとしては、基礎的な学力につける授業の提供や、こころの教育の充実が求められています。

近所づきあいがある人も一定数存在しますが、地域の催しへの参加は少なくなっています。休日や夜間の急な発病時には応急診療所や救急外来が主な対応先となっています。

3. お子さんの保護者の就労状況について

パートタイムやアルバイトで働いている母親が最も多く、次いでフルタイムで働いている人が続きます。一方、父親はほとんどがフルタイムで働いています。母親、父親ともに理想の出勤時間は8時から9時、母親の理想の帰宅時間は17時から18時、父親は18時から19時となっています。

パートタイム、アルバイトで就労している母親のうちパートタイムで働き続けることを望んでいる人もいますが、一部はフルタイムへの転換を希望しながらも実現の見込みがないと感じています。母親の就労希望形態もパートタイムが最も多く、週3日、5時間の労働を希望する人が多いです。母親の多くは、子どもが12歳以上になった頃に働き始めることを望んでいますが、父親に有効な回答はありませんでした。

4. 留守家庭児童会の利用について

放課後の主な過ごし方は、自宅や習い事が多く、留守家庭児童会は 24.1%となっています。留守家庭児童会の利用時間は主に放課後から 18 時までで、2~3 時間が最も一般的ですが、土曜日の利用は少なくなっています。利用者の多くは現在就労中であり、利用満足度は利用継続の意向が強い一方、時間延長や施設改善の要望もあります。また、今後の利用意向は低く、利用しないと回答する人もいます。また、放課後子ども教室の利用意向も 23.3%と少なくなっています。小学 5 年生以降の放課後の過ごす場所も自宅や習い事ですが、留守家庭児童会の利用希望では、1 週間の平日のうちの半分以上（「週 3 日」と「週 4 日」と「週 5 日」を合わせた割合）と回答した人は 67.8%と多くなっています。また、長期休暇中は利用希望が多い一方で、土曜日や日曜日・祝日は少なくなっています。

5. お子さんの病気の際の対応について

病気やケガで学校を休む場合の対応は、父親が仕事を休む場合もありますが、母親が仕事を休むケースが最も多いです。

また、多くの親は病児・病後児保育事業を利用することに消極的ですが、利用希望がある中では病院に併設された施設が最も好まれています。親が仕事を休むことができるという理由から病児・病後児保育施設を利用したいと思わない意見もありますが、利用料の高さなども原因となっているようです。

仕事を休んで子どもの看病を希望する親も多いですが、仕事の忙しさや休暇日数の不足がその妨げとなっているほか、病児・病後児を他人に預けることに不安を感じる親も多くいます。

6. お子さんの不定期の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

保護者の用事で不定期に事業を利用している人は少なく、利用する場合はファミリー・サポート・センターが多くなっています。また、保護者の用事での利用希望も少なく、利用する場合は冠婚葬祭や学校行事、子供や親の通院などが主な目的です。

泊りがけで保護者以外に子どもを預けることも少なく、預ける場合は親族や知人に頼むことが多くなっています。頼みやすさについては、頼みやすいと感じる保護者が多いため、宿泊保育（こどもショートステイ）の利用希望が少なくなっていると推測されます。

7. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

家庭生活を最優先とし、次いで仕事が重要と考えている人が多くいます。また、仕事と子育ての両立に関しては、病気やケガの際の世話をする人がいないことや、子どもと接する時間が少ないことが大変だと感じられています。

職場環境に求める改善点としては、子どもの病気時に取得できる看護休暇や、短時間勤務制度、フレックスタイム制の実施、そして妊娠・出産・子育てにおける職場の理解が挙げられています。

8. 子育てのストレスについて

子育てにストレスを感じている保護者も多く、その原因是子どもの接し方や遊び方、仕事との両立、兄弟姉妹関係、自分のやりたいことができないことなどが挙げられます。いらいらして子どもに手をあげてしまうことや、食事を作って食べさせるのがめんどうに感じることがあるということも一部あり、保護者自身が子どもの頃に虐待を経験したことがある人も一定数存在します。

虐待防止のためにはリフレッシュできる場所や支援の仕組み、家族が子育てに関わること、親の人間性の成熟が必要とされています。さらに、子どもの犯罪被害や不審者情報、子どもだけの外出に不安を感じる保護者も多いです。

9. 子育て支援対策の全般について

地域の子育て環境や支援に対して満足度は、半数程度が5点満点中3点と回答しており、経済的支援や小児医療体制の充実、屋外施設の整備を求めています。

情報の入手先として市の広報紙やパンフレットが最も多く利用されており、ホームページやブログからの情報提供も望まれています。